

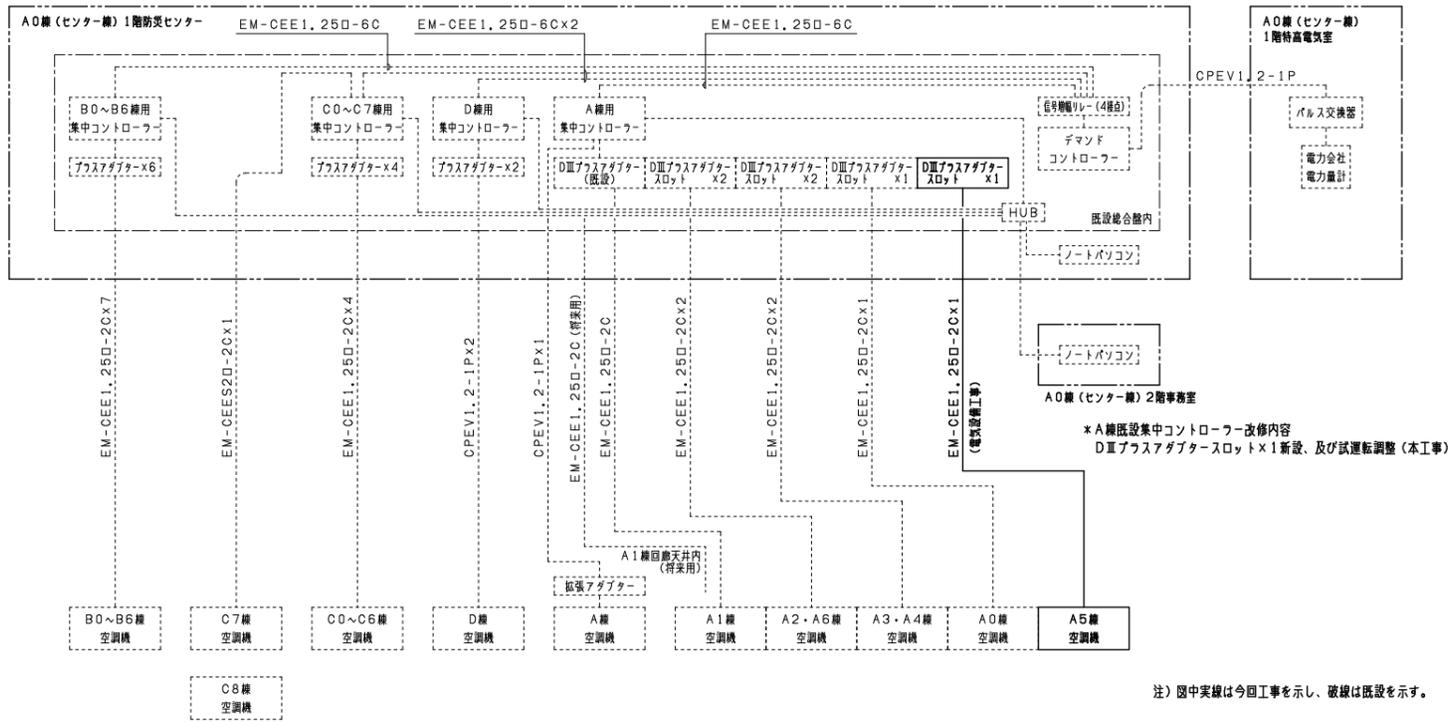
滋賀県立大学 A5棟空調設備改修工事

図面リスト

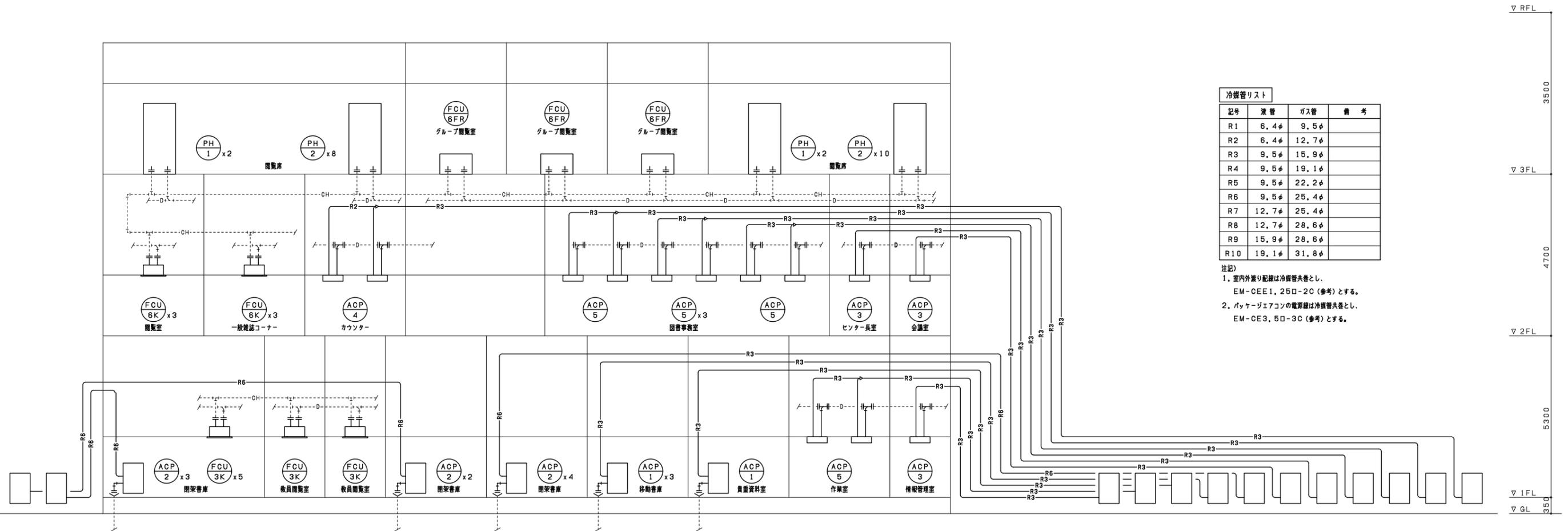
図番	表紙・図面リスト	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺
00	表紙・図面リスト		—	E01	電気設備工事特記仕様書	—	A01	特記仕様書1	—
M01	機械設備工事特記仕様書1		—	E02	配置図	1/1500	A02	特記仕様書2	—
M02	機械設備工事特記仕様書2		—	E03	A棟特高電気室 受変電設備改修図	—	A03	特記仕様書3	—
M03	機械設備工事特記仕様書3		—	E04	動力盤単線結線図(1)	—	A04	配置図	1/1500
M04	配置図	1/1500		E05	動力盤単線結線図(2)	—	A05	1階天井伏図	1/100
M05	空調機器表(改修)	—		E06	動力盤単線結線図(3)	—	A06	2階天井伏図	1/100
M06	空調配管系統図(改修)・制御システム構成図	—		E07	幹線・動力設備 A5棟1階平面図	1/200	A07	3階平面図	1/100
M07	空調配管 1階平面図(改修)	1/200		E08	幹線・動力設備 A5棟2階平面図	1/200	A08	部分詳細図1	1/50
M08	空調配管 2階平面図(改修)	1/200		E09	幹線・動力設備 A5棟3階平面図	1/200	A09	部分詳細図2	1/50・30・20
M09	空調配管 3階平面図(改修)	1/200		E10	動力設備 A5棟1階空調熱源室平面詳細図(改修)	1/50			
M10	熱源機械室 平面詳細図(改修)	1/50		E11	動力設備 A5棟1階空調熱源室平面詳細図(撤去)	1/50			
M11	リモコン 1階平面図	1/200		E12	空調集中制御設備 A5棟1階平面図	1/200			
M12	リモコン 2階平面図	1/200		E13	空調集中制御設備 A5棟2階平面図	1/200			
M13	ガス設備 1階平面図(改修)	1/200		E14	電灯・弱電・自火報設備 A5棟1階平面図	1/200			
M14	ガス設備 1階平面図(撤去)	1/200		E15	電灯・弱電・自火報設備 A5棟2階平面図	1/200			
M15	ガスメーター廻り詳細図・系統図(改修・撤去)	1/50							
M16	空調機器表(撤去)	—							
M17	空調配管 1階平面図(撤去)	1/200							
M18	空調配管 2階平面図(撤去)	1/200							
M19	空調配管 3階平面図(撤去)	1/200							
M20	熱源機械室 平面詳細図(撤去)	1/50							
M21	自動制御設備 システム構成図	—							
M22	自動制御設備 入出力回路図	—							
M23	中央管理点一覧表	—							
M24	自動制御設備 計装図	—							
M25	自動制御設備 熱源機械室平面詳細図(改修)	1/50							
M26	自動制御設備 1階平面図(撤去)	1/200							

滋賀県立大学財務課
株式会社 TORI 設備計画

空調集中制御及びデマンド制御システム構成図

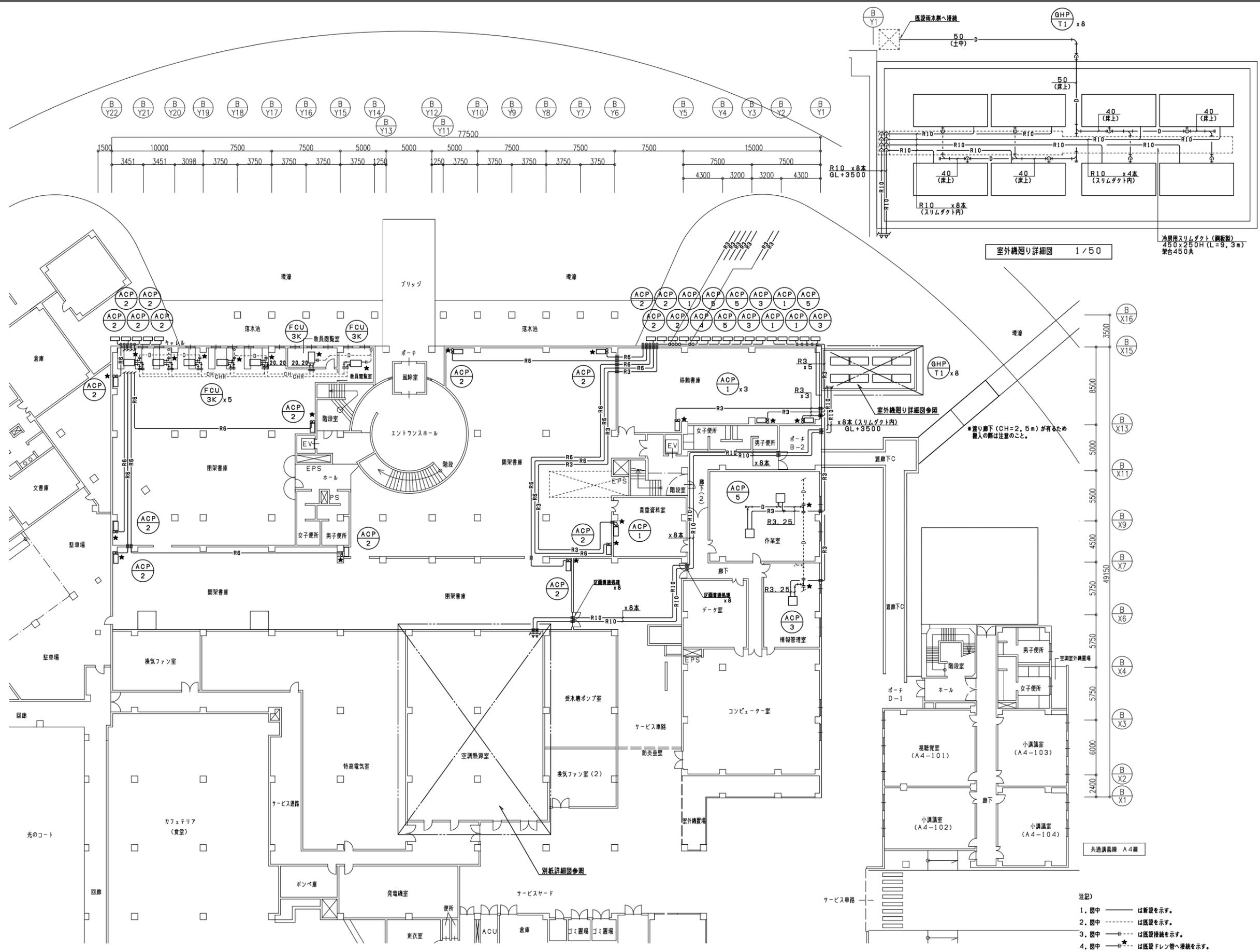


注) 図中実線は今回工事を示し、破線は既設を示す。



- 注記)
 1. 図中 ——— は新設を示す。
 2. 図中 - - - - は既設を示す。
 3. 図中 -|--- は既設接続を示す。

空調配管系統図 (改修)



記号	液管	ガス管	備考
R1	6.4φ	9.5φ	
R2	6.4φ	12.7φ	
R3	9.5φ	15.9φ	
R4	9.5φ	19.1φ	
R5	9.5φ	22.2φ	
R6	9.5φ	25.4φ	
R7	12.7φ	25.4φ	
R8	12.7φ	28.6φ	
R9	15.9φ	28.6φ	
R10	19.1φ	31.8φ	

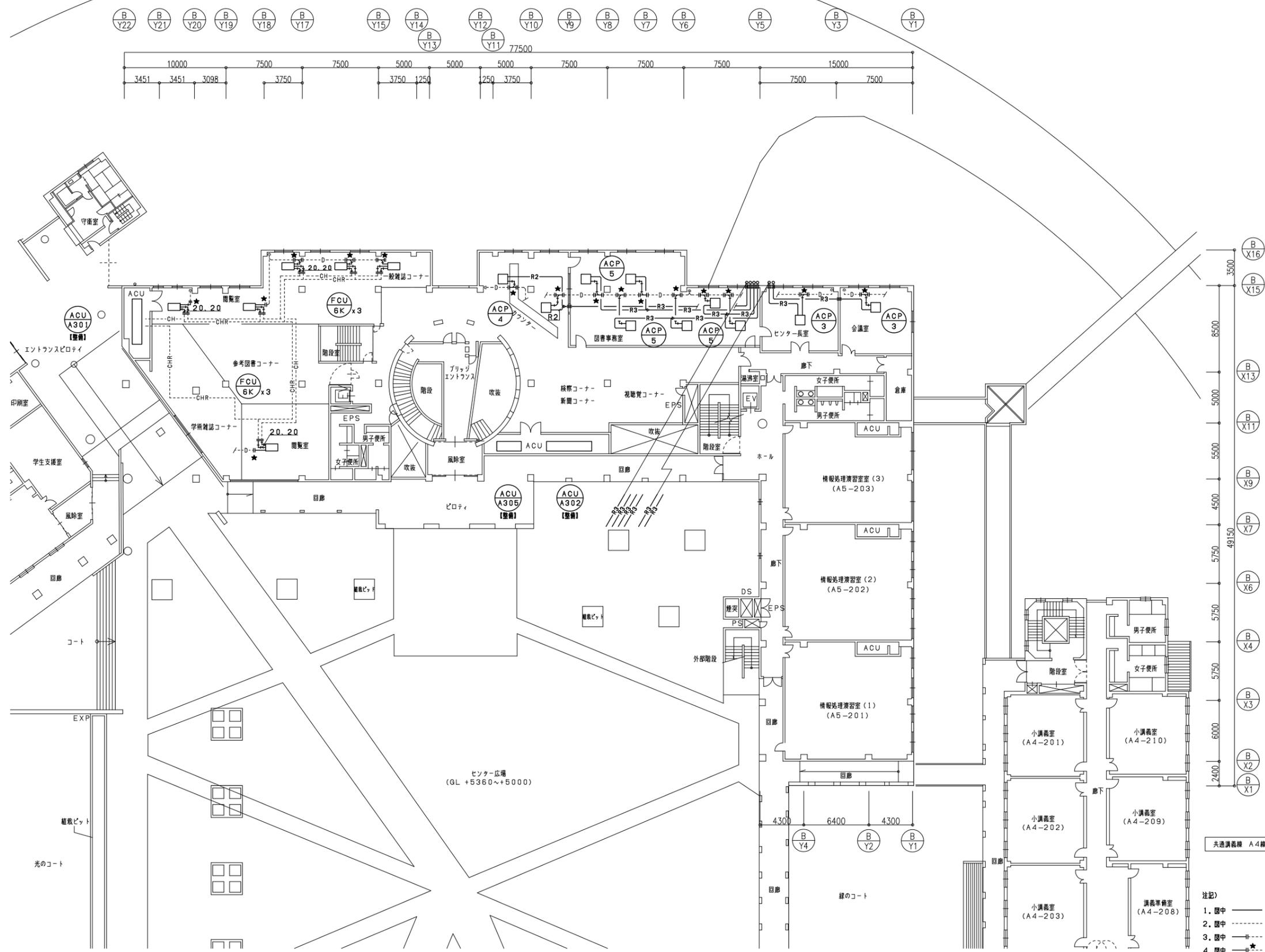
- 注記)
- 室内外配管は冷媒管共巻とし、EM-CEE1.250-2C(参考)とする。
 - パッケージエアコンの電源線は冷媒管共巻とし、EM-CE3.50-3C(参考)とする。

- 注記)
- 図中 ——— は新設を示す。
 - 図中 - - - - は既設を示す。
 - 図中 - - - - は既設接続を示す。
 - 図中 —★— は既設ドレン管へ接続を示す。
 - 図中 ——— は既設壁貫通を示す。
 - ファンコイルの制御線は既設再利用(配線・結線工事)とする。

空調配管 1階平面図(改修) 1/200

室外機廻り詳細図 1/50

冷房用スリムダクト(銅板製)
450×250H(L=9.3m)
架台460夫

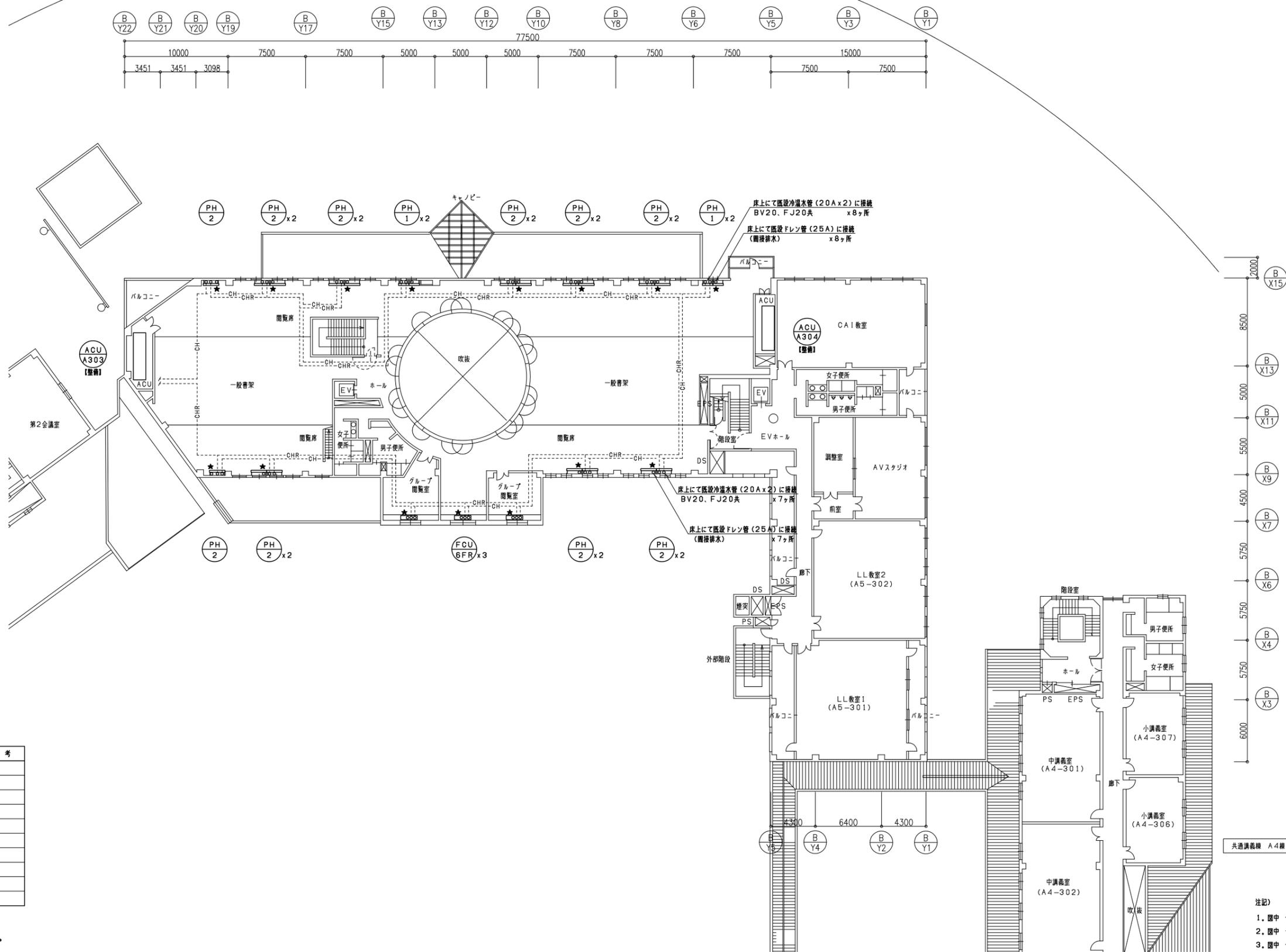


記号	液管	ガス管	備考
R1	6.4φ	9.5φ	
R2	6.4φ	12.7φ	
R3	9.5φ	15.9φ	
R4	9.5φ	19.1φ	
R5	9.5φ	22.2φ	
R6	9.5φ	25.4φ	
R7	12.7φ	25.4φ	
R8	12.7φ	28.6φ	
R9	15.9φ	28.6φ	
R10	19.1φ	31.8φ	

注記)
 1. 室内外張り配線は冷媒管共巻とし、
 EM-CEE1, 250-20 (参考) とする。
 2. パッケージエアコンの電源線は冷媒管共巻とし、
 EM-CE3, 50-30 (参考) とする。

注記)
 1. 図中 ——— は新設を示す。
 2. 図中 - - - - - は既設を示す。
 3. 図中 - - - - - は既設接続を示す。
 4. 図中 —+— は既設フレソ管へ接続を示す。
 5. 図中 ——— は既設変更を示す。
 6. ファンコイルの制御線は既設再利用 (継接・結線工事) とする。

空調配管 2階平面図 (改修) 1/200



冷媒管リスト

記号	液管	ガス管	備考
R1	6.4φ	9.5φ	
R2	6.4φ	12.7φ	
R3	9.5φ	15.9φ	
R4	9.5φ	19.1φ	
R5	9.5φ	22.2φ	
R6	9.5φ	25.4φ	
R7	12.7φ	25.4φ	
R8	12.7φ	28.6φ	
R9	15.9φ	28.6φ	
R10	19.1φ	31.8φ	

- 注記)
- 室内外張り配管は冷媒管共巻とし、EM-CEE1, 250-20 (参考) とする。
 - パッケージエアコンの電源線は冷媒管共巻とし、EM-CE3, 50-30 (参考) とする。

- 注記)
- 図中 ——— は新設を示す。
 - 図中 - - - - - は既設を示す。
 - 図中 —+— は既設接続を示す。
 - 図中 —+*— は既設フレソ管へ接続を示す。
 - 図中 —+— は既設壁貫通を示す。

空調配管 3階平面図(改修) 1/200

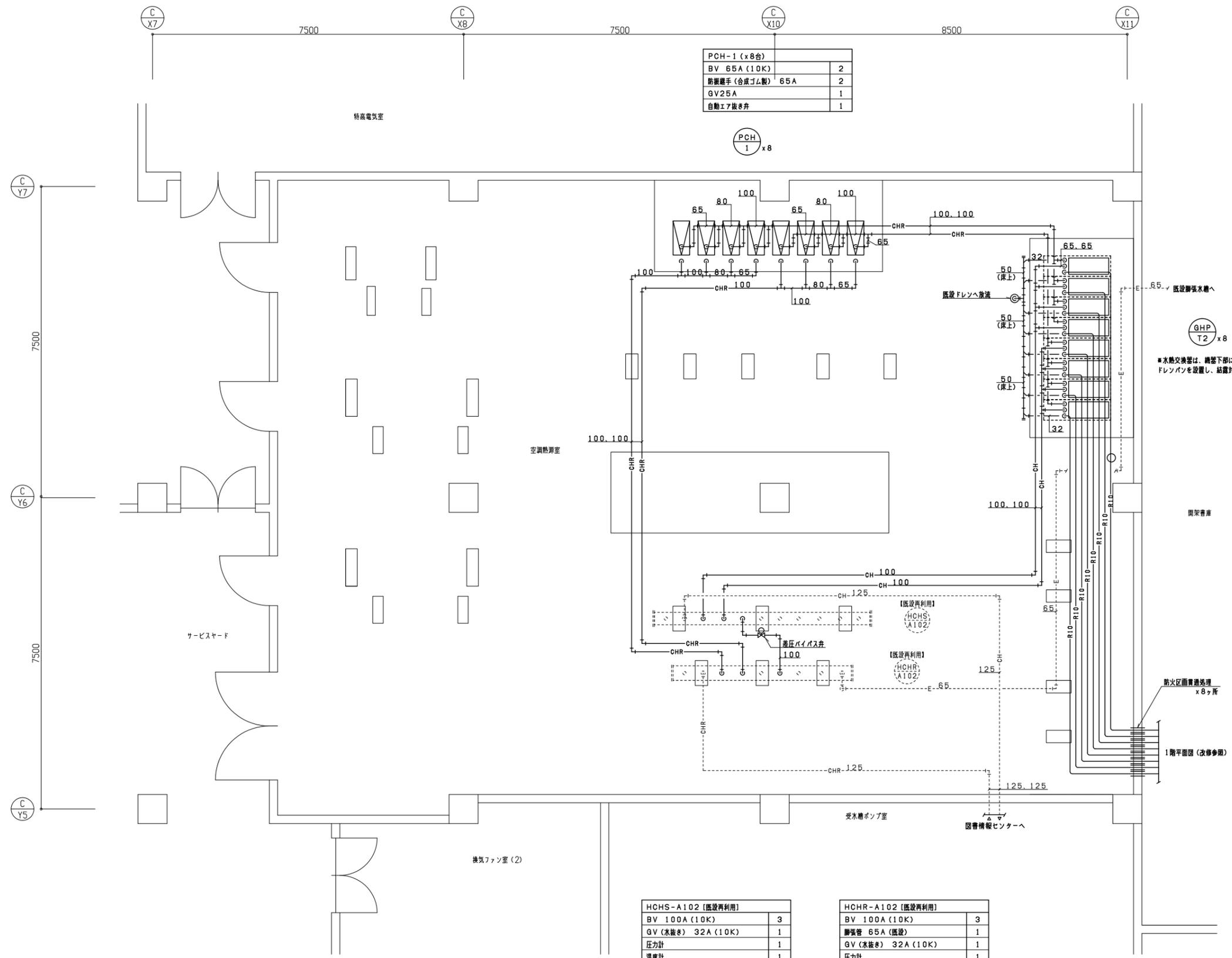
令和6年3月 日 滋賀県立大学財務課

TORI 株式会社 TORI 設備計画
〒542-0081 大阪市中央区南船場2の7の14 (大阪写真会館)

工事名称 滋賀県立大学 A5棟空調設備改修工事
図面名称 空調配管 3階平面図(改修)

図面No. M09
設計日 2024年3月

S=1/200



PCH-1 (x8台)	
BV 65A (10K)	2
防振継手 (合成ゴム製) 65A	2
GV25A	1
自動エ7抜き弁	1

PCH
1 x 8

GHP-T2 (x8台)	
BV 65A (10K)	2
防振継手 (合成ゴム製) 65A	2
Yスト 65A	1
圧力計	2
温度計	2
明開流量計	1

GHP
T2 x 8

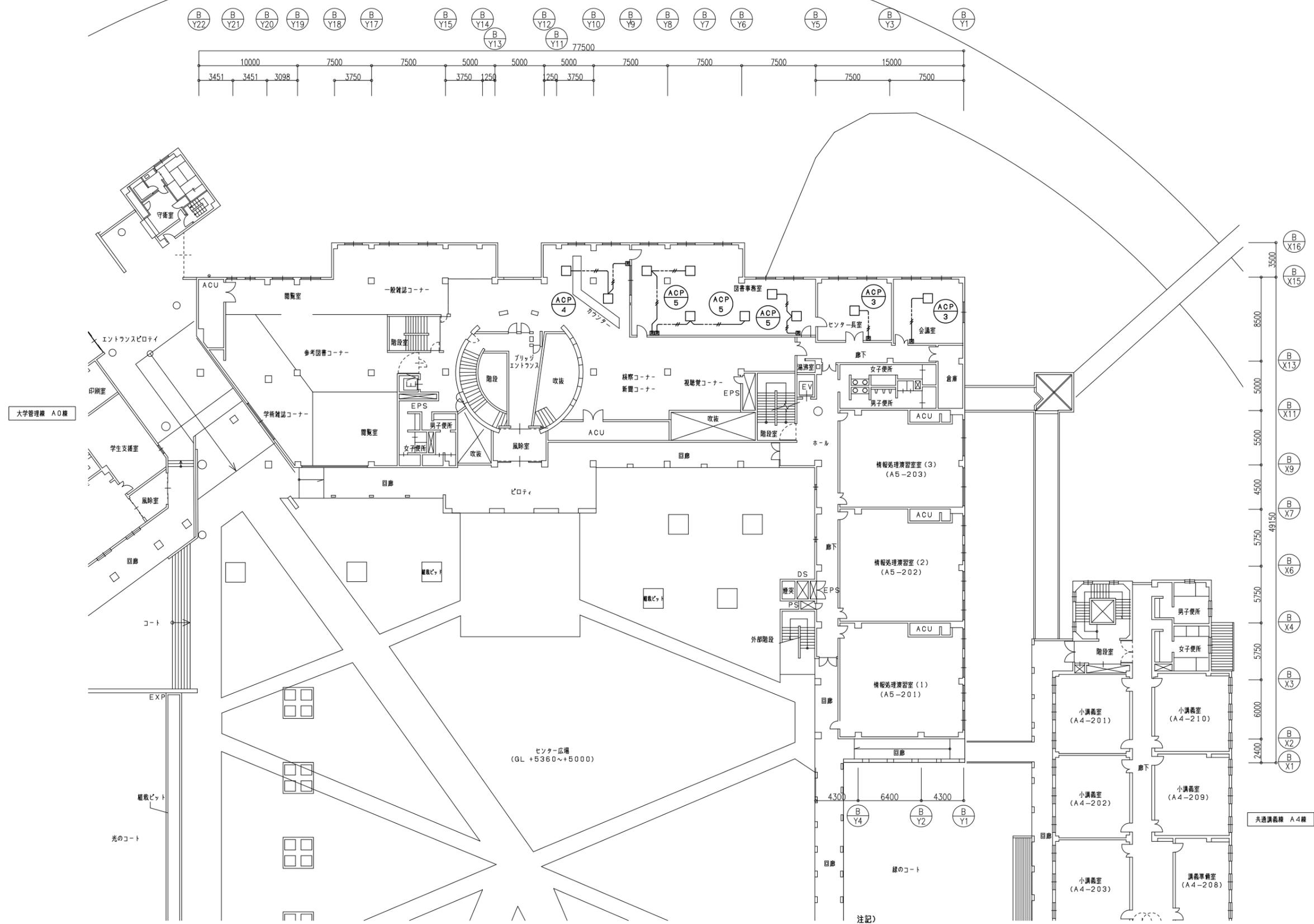
■水熱交換器は、機器下部に
フレソレを設置し、結露対策を行うこと

HCHS-A102 [既設再利用]	
BV 100A (10K)	3
GV (水抜き) 32A (10K)	1
圧力計	1
温度計	1

HCHR-A102 [既設再利用]	
BV 100A (10K)	3
脚管 65A (既設)	1
GV (水抜き) 32A (10K)	1
圧力計	1
温度計	1

- 注記)
1. 図中 ——— は新設を示す。
 2. 図中 - - - - - は既設を示す。
 3. 図中 - · - · - は既設接続を示す。
 4. 図中 ≡ ≡ ≡ は既設管継ぎを示す。

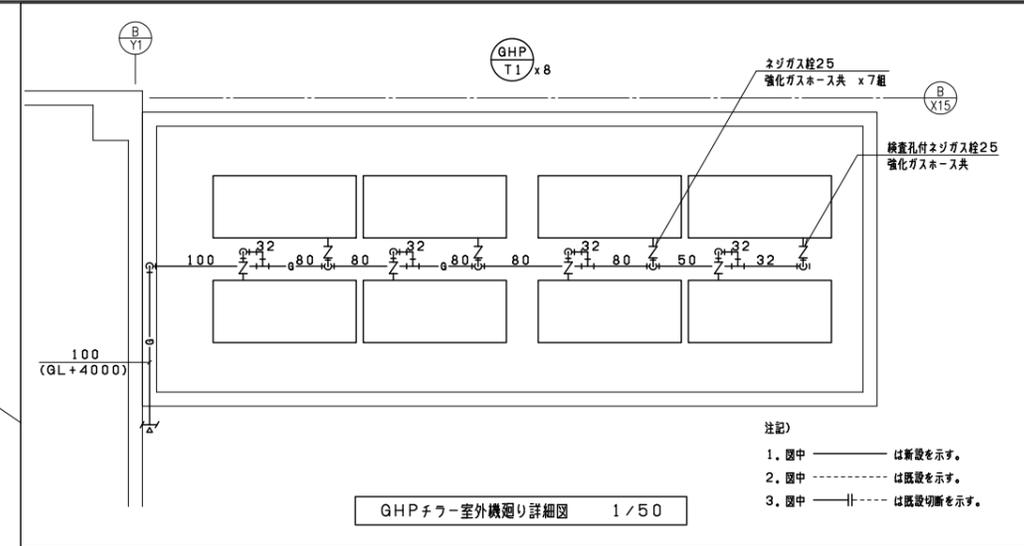
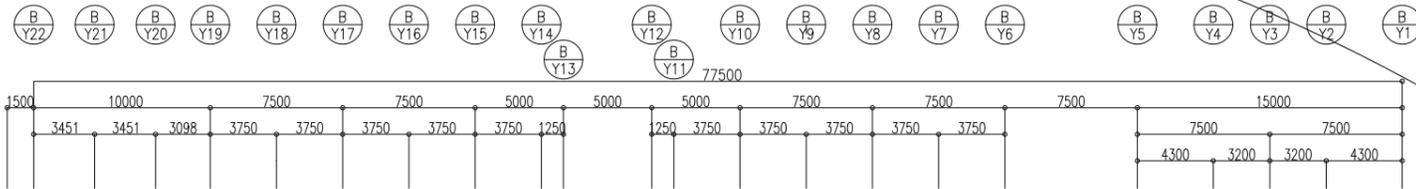
熱源機械室 平面詳細図 (改修) 1 / 50



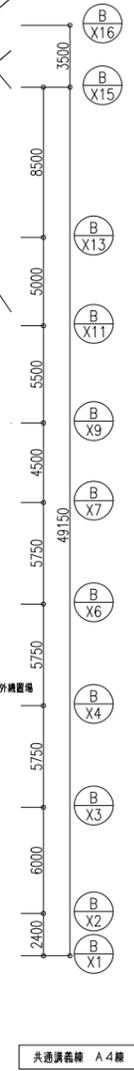
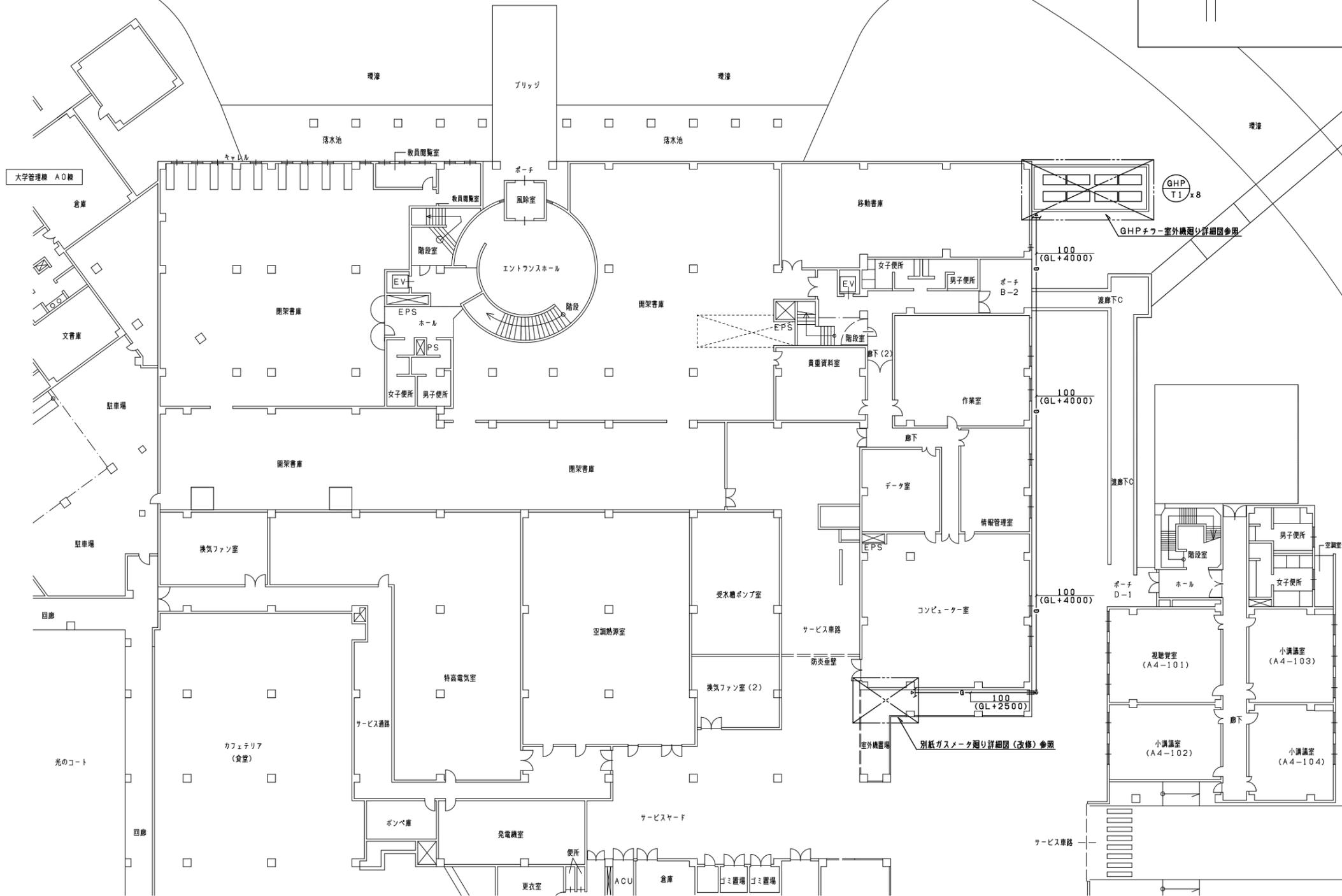
リモコン 2階平面図 1/200

- 注記)
1. 図中 田 は空調機リモコンを示す。(2層用スイッチボックス外)
 2. リモコン線は EM-CEE1. 250-2Cとし、屋内壁露出立下り部分はメタルモールとする。

令和6年3月 日	滋賀県立大学財務課					株式会社 TORI 設備計画 〒542-0081 大阪市中央区南船場2の7の14 (大阪写真会館)	工事名称 滋賀県立大学 A5棟空調設備改修工事 図面名称 リモコン 2階平面図	図面No. M12 S=1/200 設計日 2024年3月
----------	-----------	--	--	--	--	--	--	-------------------------------------



GHP T1-室外機廻り詳細図 1/50



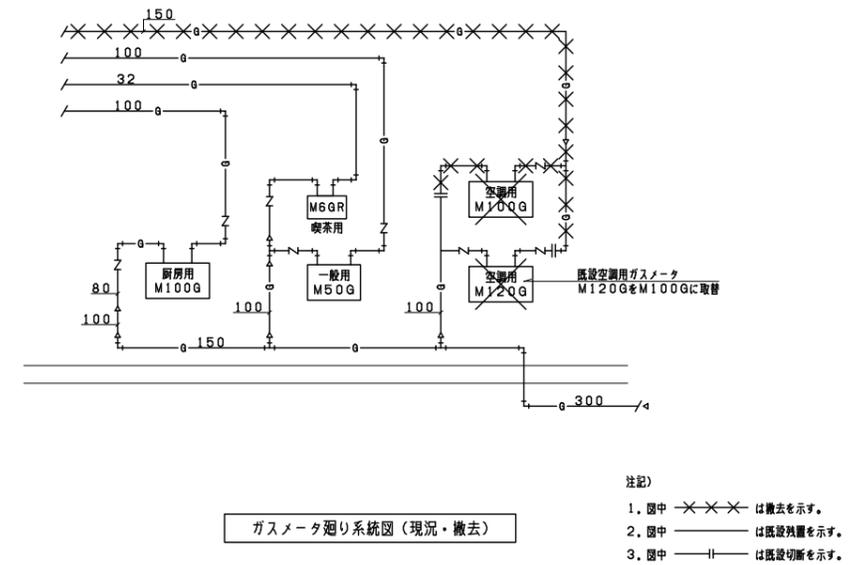
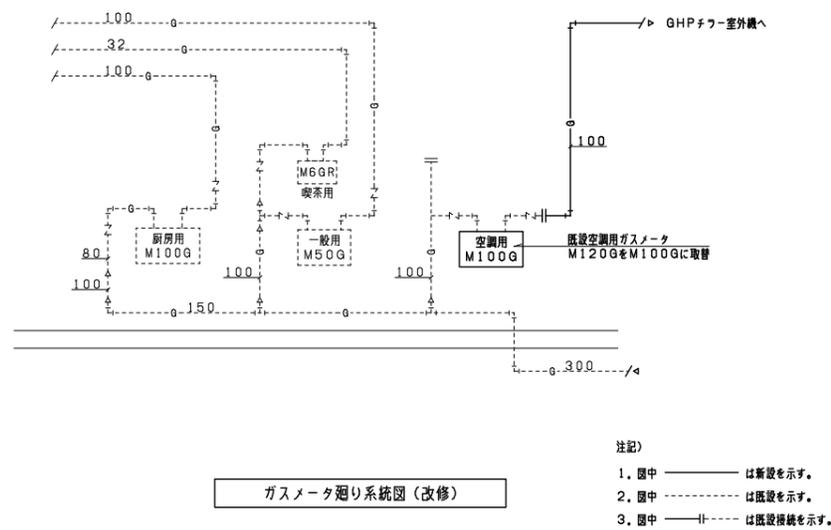
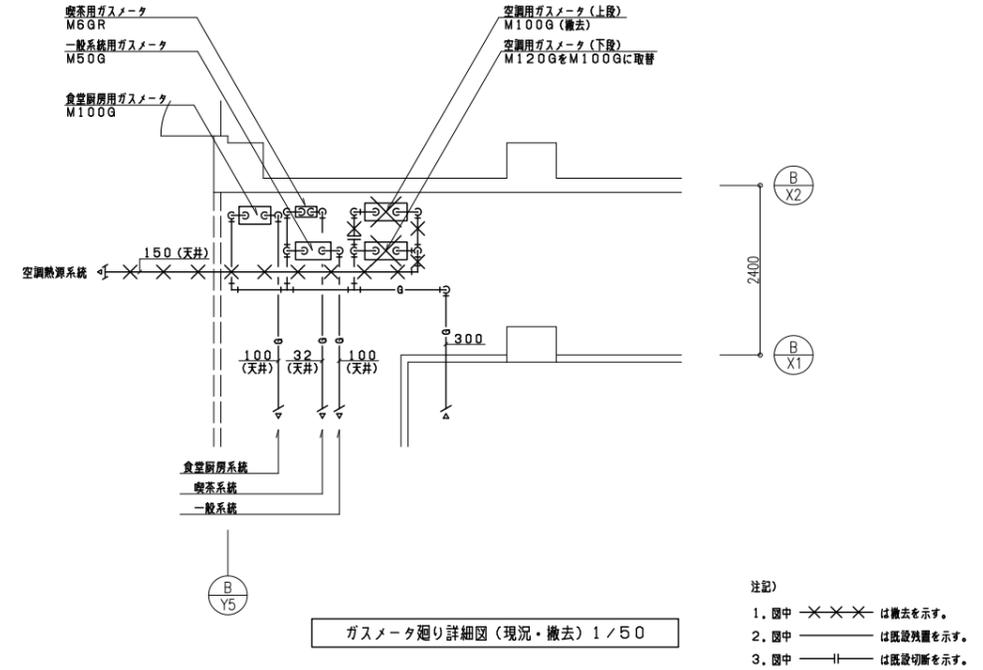
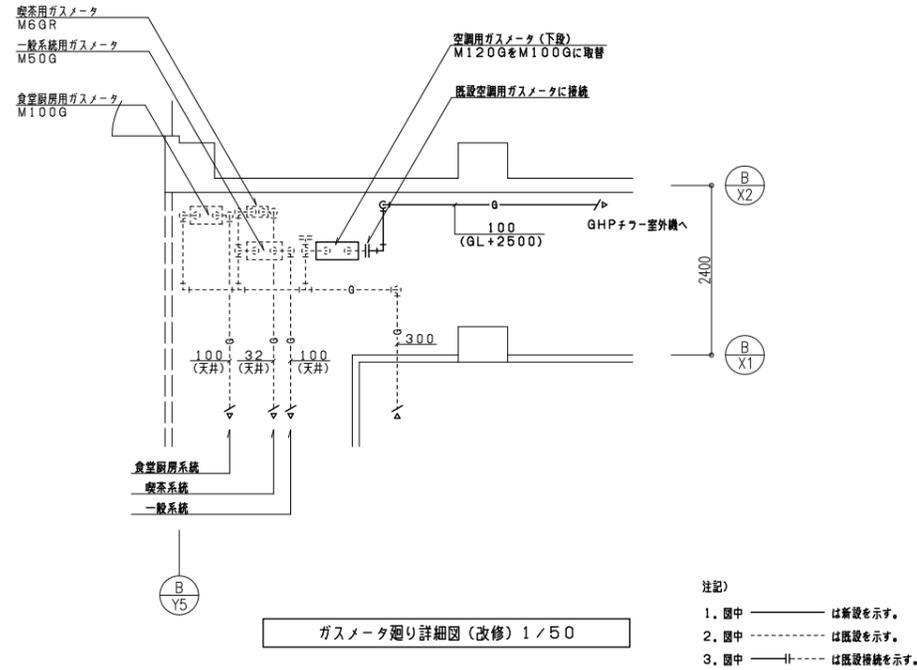
- 注記)
1. 図中 ——— は新設を示す。
 2. 図中 - - - - - は既設を示す。
 3. 図中 ≡ ≡ ≡ は既設壁貫通を示す。
 4. 図中 || - - - - - は既設切断を示す。

ガス設備 1階平面図 (改修) 1/200

令和6年3月 日 滋賀県立大学財務課

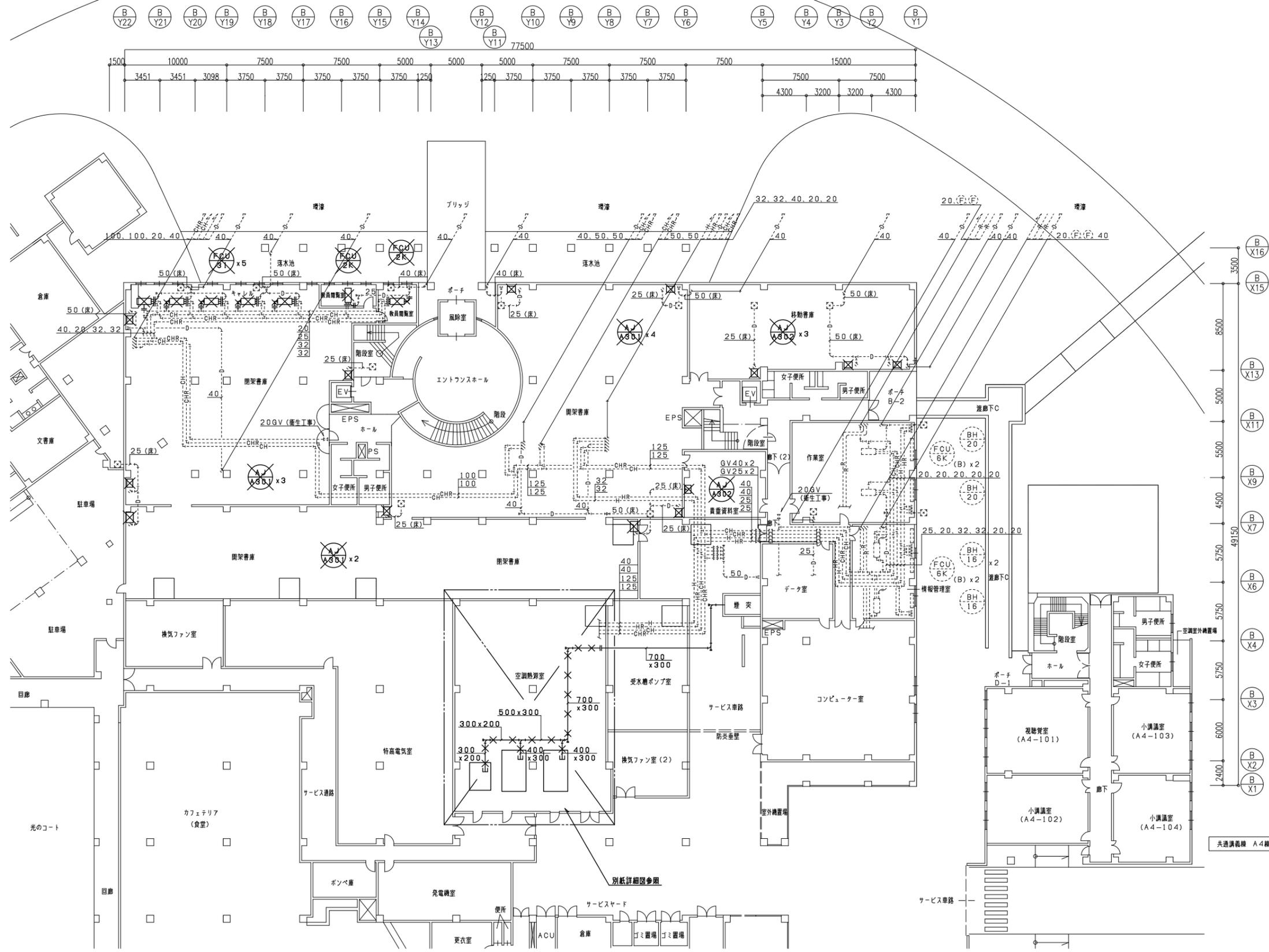
TORI 株式会社 TORI 設備計画
〒542-0081 大阪市中央区南船場2の7の14 (大阪写真会館)

工事名称	滋賀県立大学 A5棟空調設備改修工事	図面No.	M13
図面名称	ガス設備 1階平面図 (改修)	S=1/200	設計日 2024年3月





大学管理棟 A0棟



記号	液管	ガス管
A	9.5φ	15.9φ
B	9.5φ	19.1φ
C	9.5φ	19.1φ
D	12.7φ	25.4φ
E	12.7φ	28.6φ
F	15.9φ	25.4φ
G	15.9φ	19.1φ
H	9.5φ	19.1φ
I	9.5φ	19.1φ
J	9.5φ	22.2φ
K	12.7φ	31.8φ
L	6.4φ	12.7φ

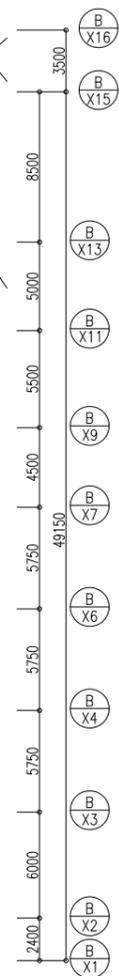
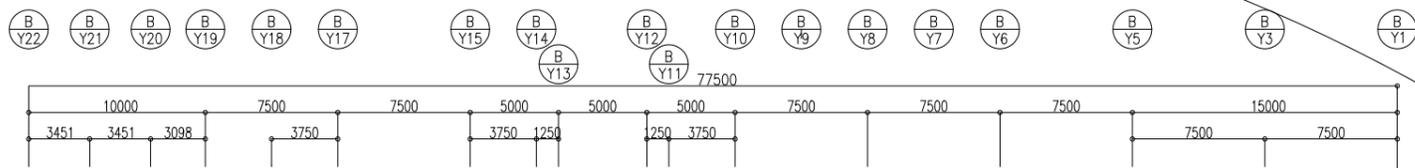
- 注記)
1. 図中 $\times\times\times$ は撤去を示す。
 2. 図中 $\cdots\cdots$ は既設残置を示す。
 3. 図中 ---|--- は既設切断を示す。

空調配管 1階平面図(撤去) 1/200

令和6年3月 日 滋賀県立大学財務課

TORI 株式会社 TORI 設備計画
〒542-0081 大阪市中央区南船場2の7の14 (大阪写真会館)

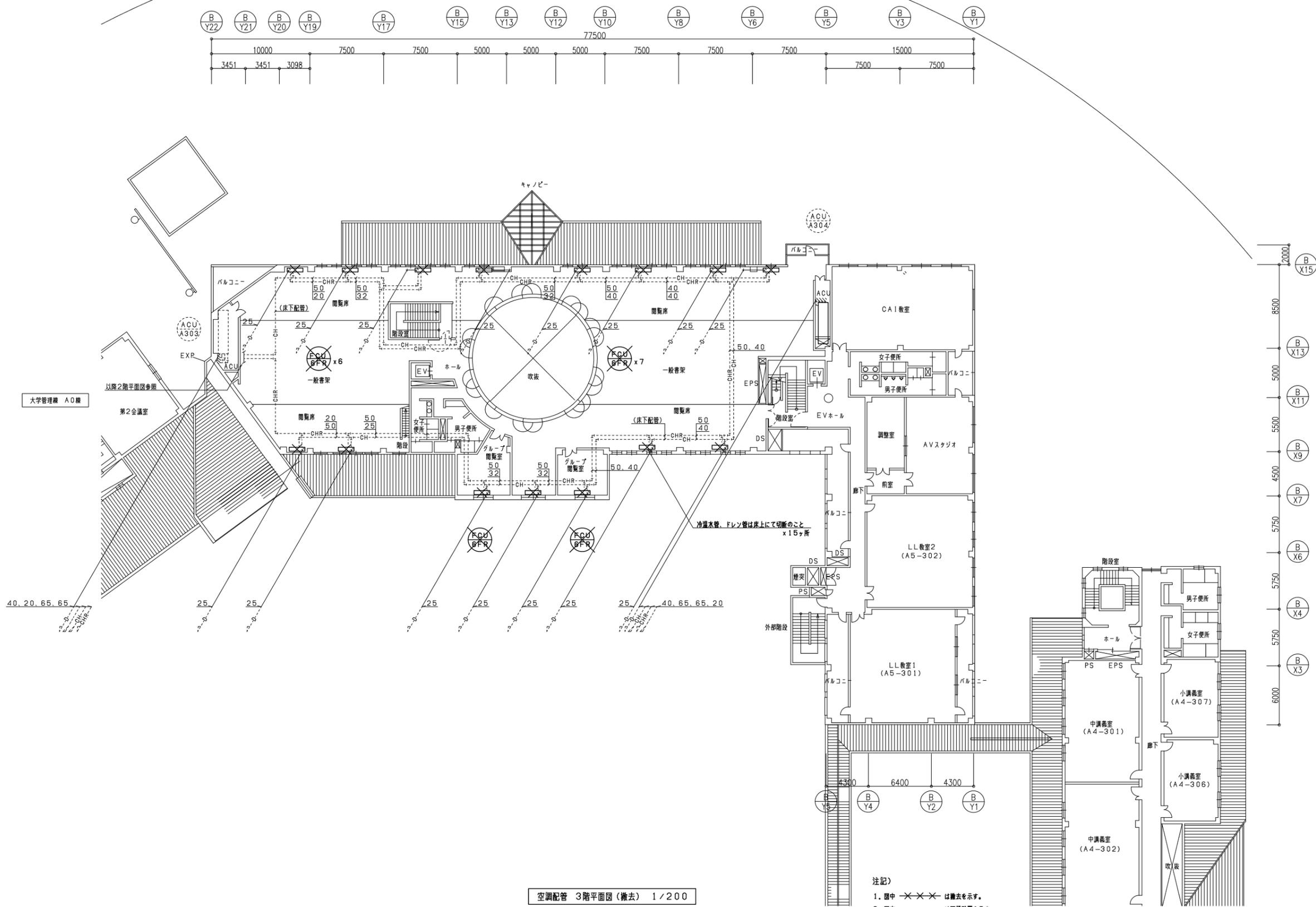
工事名称 滋賀県立大学 A5棟空調設備改修工事
図面名称 空調配管 1階平面図(撤去) S=1/200
図面No. M17 設計日 2024年3月

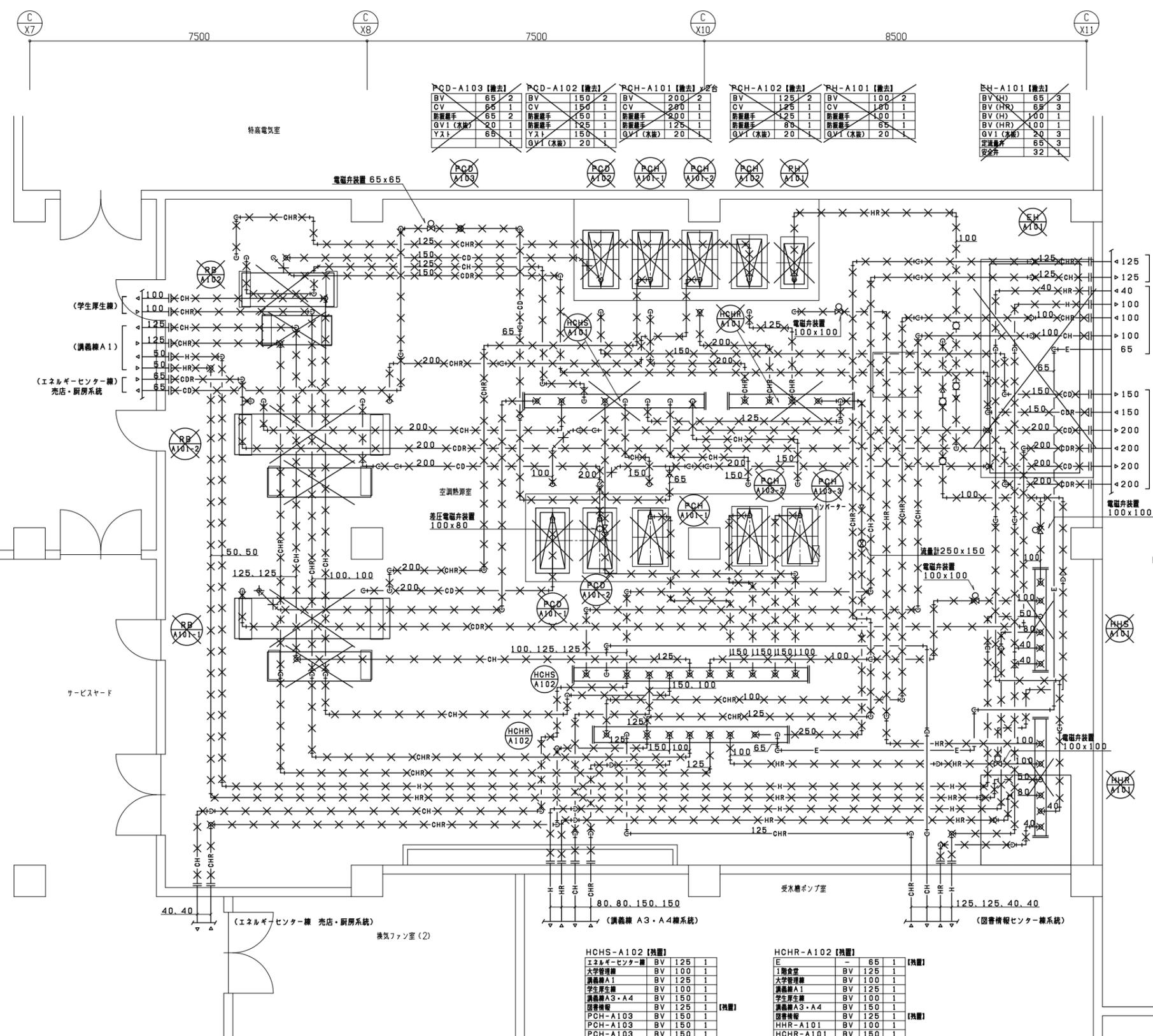


記号	液管	ガス管
(A)	9.5φ	15.9φ
(B)	9.5φ	19.1φ
(C)	9.5φ	19.1φ
(D)	12.7φ	25.4φ
(E)	12.7φ	28.6φ
(F)	15.9φ	25.4φ
(G)	15.9φ	19.1φ
(H)	9.5φ	19.1φ
(I)	9.5φ	19.1φ
(J)	9.5φ	22.2φ
(K)	12.7φ	31.8φ
(L)	6.4φ	12.7φ

- 注記)
1. 図中 は撤去を示す。
 2. 図中 は既設残置を示す。
 3. 図中 は既設切断を示す。

空調配管 2階平面図 (撤去) 1/200





RB-A102【撤去】			
BV (CHR)	125	2	
防震継手	180	2	
BV (CDR)	150	2	
防震継手	125	2	
GV1 (水抜)	40	2	

RB-A101-2【撤去】			
BV (CHR)	200	2	
防震継手	125	2	
BV (CDR)	200	2	
防震継手	150	2	
GV1 (水抜)	20	2	

RB-A101-1【撤去】			
BV (CHR)	200	2	
防震継手	125	2	
BV (CDR)	200	2	
防震継手	150	2	
GV1 (水抜)	20	2	

PCH-A103【撤去】			
BV	65	2	
CV	65	1	
防震継手	65	2	
GV1 (水抜)	20	1	
Yスト	65	1	

PCH-A102【撤去】			
BV	150	2	
CV	150	1	
防震継手	150	1	
GV1 (水抜)	150	1	
Yスト	150	1	

PCH-A101【撤去】			
BV	200	2	
CV	200	1	
防震継手	200	1	
GV1 (水抜)	20	1	

PCH-A102【撤去】			
BV	125	2	
CV	125	1	
防震継手	125	1	
GV1 (水抜)	20	1	

PCH-A101【撤去】			
BV	100	2	
CV	100	1	
防震継手	100	1	
GV1 (水抜)	20	1	

EH-A101【撤去】			
BV (H)	65	3	
BV (HR)	65	3	
BV (H)	100	1	
BV (HR)	100	1	
GV1 (水抜)	20	3	
定置継手	65	3	
安全弁	32	1	

HCHS-A101【撤去】			
RB-A102	BV	125	1
RB-A101	BV	200	1
PCH-A103	BV	150	1
PCH-A103	GV	150	1
PCH-A103	BV	150	1
HCHS-A102	BV	100	1
HCHR-A101	BV	125	1
(水抜)	GV	32	1

HCHR-A101【撤去】			
HCHS-A101	BV	125	1
PCH-A102	BV	200	1
PCH-A101	BV	200	1
PCH-A101	BV	150	1
HCHR-A102	BV	250	1

PCH-A101【撤去】x2台			
BV	200	2	
GV	200	1	
防震継手	200	1	
防震継手	150	1	
Yスト	200	1	
GV1 (水抜)	20	1	

PCH-A103【撤去】x2台			
BV	150	2	
GV	150	1	
防震継手	150	1	
防震継手	125	1	
GV1 (水抜)	20	1	

HHS-A101【撤去】			
EHA-101	BV	100	1
HCHA-102	BV	100	1
大学管理棟	BV	40	1
講義棟A1	GV	50	1
講義棟A3・A4	BV	80	1
図書館	BV	40	1
(水抜)	GV	32	1

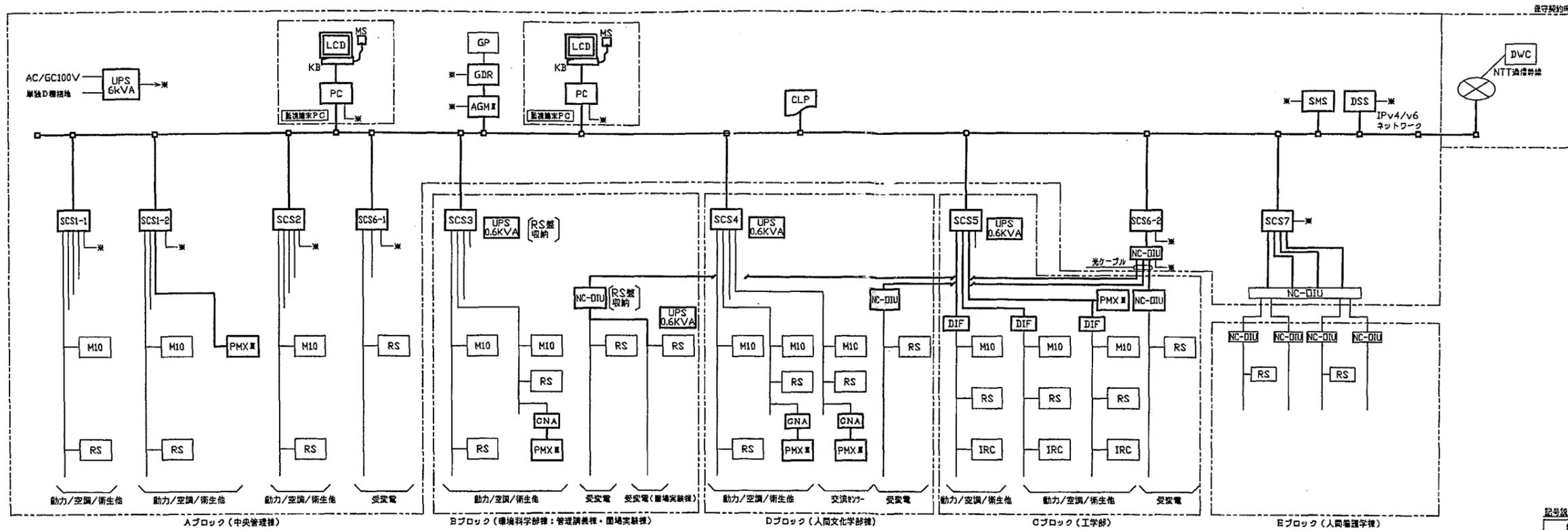
HHR-A101【撤去】			
PHR-I01	BV	100	1
HCHR-A102	BV	100	1
予備	BV	50	1
大学管理棟	BV	40	1
講義棟A1	BV	50	1
講義棟A3・A4	BV	80	1
図書館	BV	40	1
(水抜)	GV	32	1

HCHS-A102【残置】			
エネルギーセンター	BV	125	1
大学管理棟	BV	100	1
講義棟A1	BV	125	1
学生厚生課	BV	100	1
講義棟A3・A4	BV	150	1
図書館	BV	125	1
PCH-A103	BV	150	1
PCH-A103	BV	150	1
PCH-A103	BV	150	1
HCHS-A101	BV	100	1
HHS-A101	BV	100	1
(水抜)	GV	32	1

HCHR-A102【残置】			
E	-	65	1
1階食堂	BV	125	1
大学管理棟	BV	100	1
講義棟A1	BV	125	1
学生厚生課	BV	100	1
講義棟A3・A4	BV	150	1
図書館	BV	125	1
HHR-A101	BV	100	1
HCHR-A101	BV	150	1
(水抜)	GV	32	1

- 注記)
1. 図中 ~~×××~~ は撤去を示す。
 2. 図中 ~~—~~ は既設残置を示す。
 3. 図中 ~~—~~ は既設残置を示す。
 4. 機器・配管・ダクト等の撤去後のアンカ跡等は補修のこと。

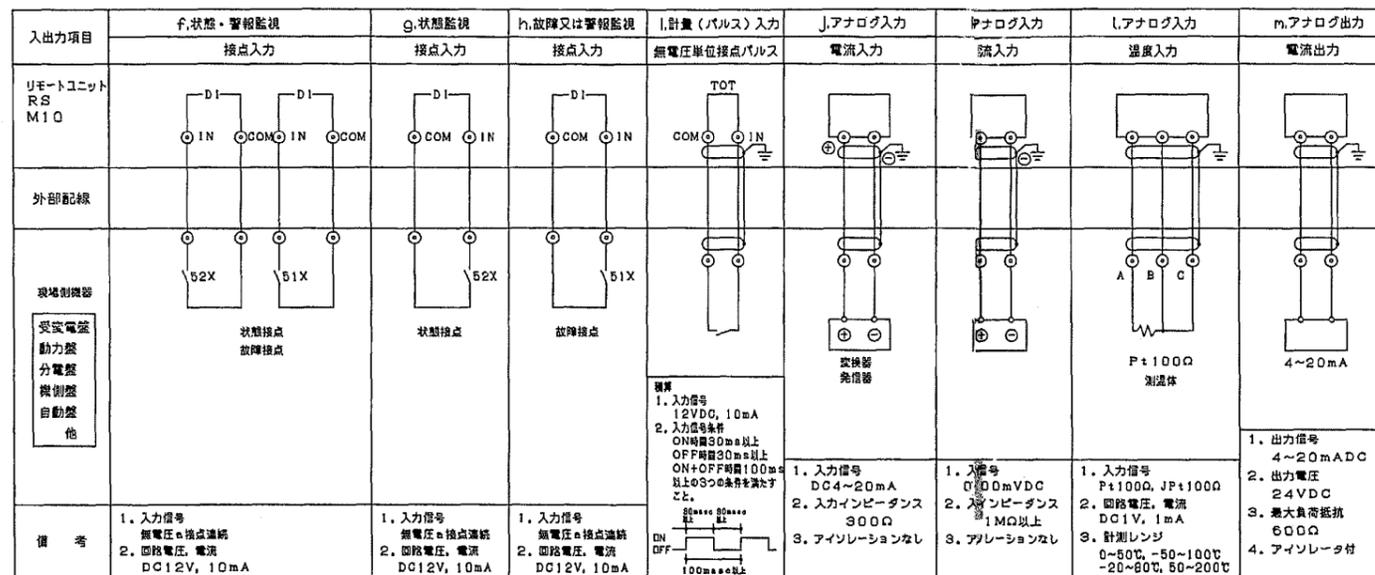
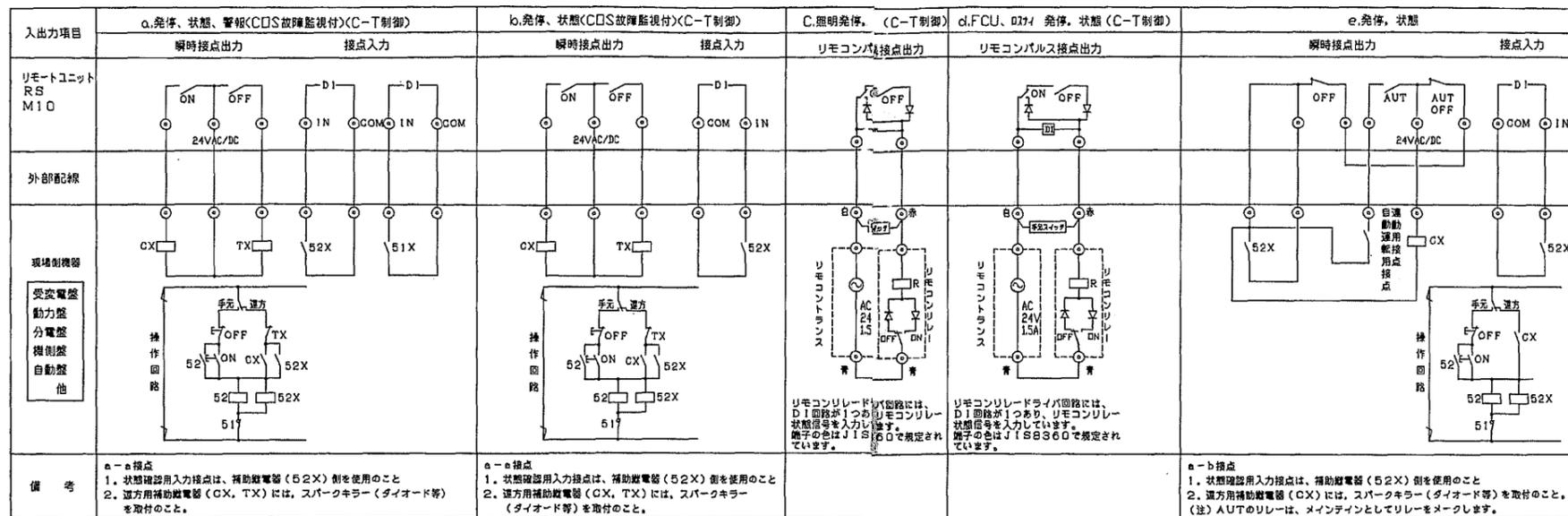
熱源機械室 平面詳細図(撤去) 1/50

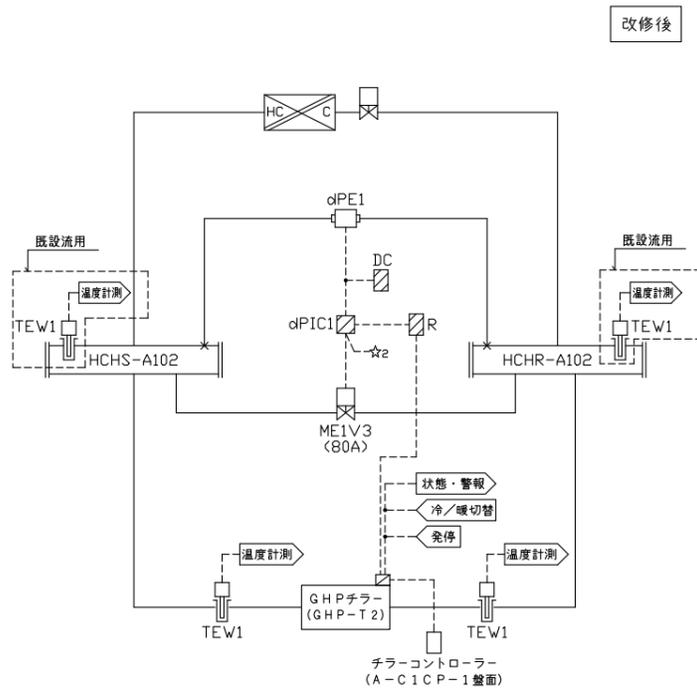
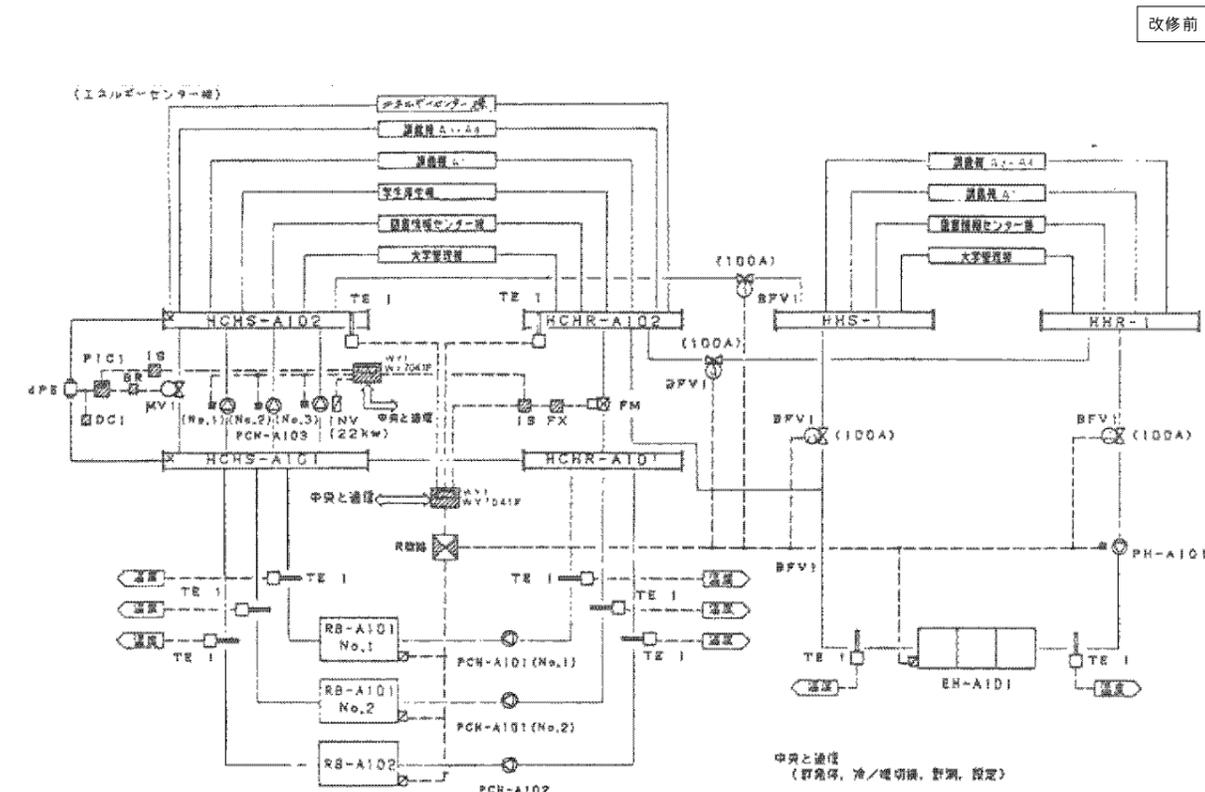


<工事概要>

- ・既存SMSの改造 (サマリグラフの編集、ポイント追加及び削除)
- ・既存中央管理点一覧表のハッチング部分のポイント削除
- ・新規中央管理点一覧表のポイント追加
- ・A-C1CP-1の盤改造 (チャラコントローラーの盤面設置、ポイント追加)

記号	名称
MCU	主制御装置
CPU	中央処理装置
MD	マグネットディスク
FD	フロッピーディスク
CMT	カセットマグネットテープ
PRT	プリンタ
CRT	カラーディスプレイ
KB	キーボード
MS	マウス
GDR	クラシックドライバ
AGBU	GDRバックアップユニット
SCU	サブセントラルユニット
C-DIU	光インターフェースユニット (IB)
DRU	光リピータユニット
CNA	CNAアダプター
NC-DIU	光インターフェースユニット
EC-NET	コントロールネット
DIF	コントローラインターフェース
DWC	データウェアセンター (遠隔監視センター)



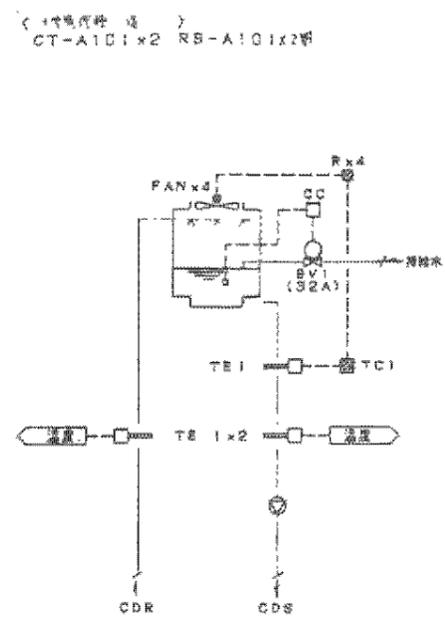


	RB-A101 No.1	RB-A101 No.2	RB-A102	PCH-A101 No.1	PCH-A102 No.2	PH-A101	EH-A101	BFV1	BFV2	BFV3	PH-A101
冷源機(巻機)	※1			※2		OFF	OFF	閉	閉	閉	閉
暖源機(自然運転)	※1			※2		ON	※5	閉	閉	閉	閉
暖源機(自然停止)	※1			※2		OFF	※5	閉	閉	閉	閉
暖源機(夜間)	OFF	OFF	ON	※3		OFF	※4	閉	閉	閉	閉

- ※1: 負荷熱量による暖源式温水発生機3台の巻機制御
- ※2: 負荷熱量による温水2次ポンプ3台の巻機制御
- ※3: 暖源機(夜間)スケジュールによる温水2次ポンプ1台の巻機制御
- ※4: 夜間電力による巻機運転
- ※5: 暖源機(巻機)は暖機運転を行うが定時間内に暖機完了した場合はEH-A101を停止する(制御対象外)

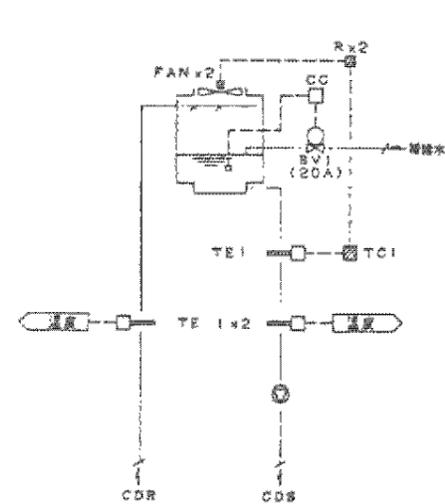
HEX2次側温水温度による3台巻機の比例制御

放棄
(冷却塔、自動制御機器ともに残置)



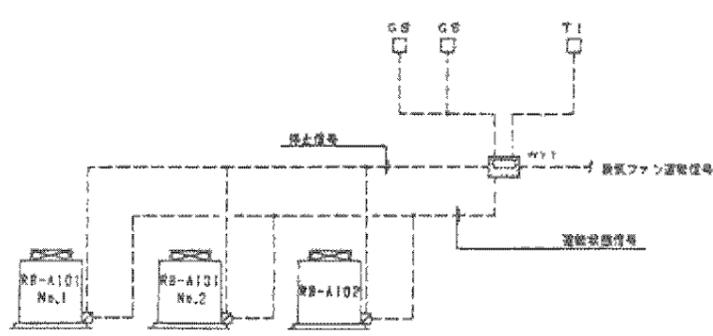
- ・冷却塔行き温度による冷却器ファンのON-OFF4台制御
- ・凝電室凝結水制御1台巻機制御

放棄
(冷却塔、自動制御機器ともに残置)



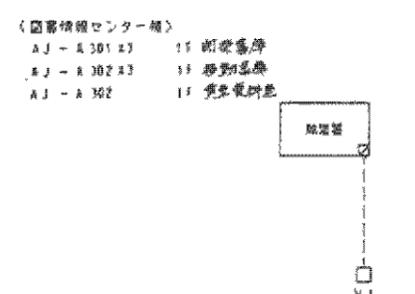
- ・冷却塔行き温度による冷却器ファンのON-OFF2台制御
- ・凝電室凝結水制御

撤去
(冷温水発生機の撤去に伴い、自動制御機器/配線を撤去)



- ・ガス漏れ検知器(GS)、室内異常温度検知器(TI)による冷温水発生機停止制御

撤去
(除湿器の撤去に伴い、自動制御機器/配線を撤去)



- ・室内湿度による除湿器のON-OFF制御

自動制御機器表

記号	名称	形番	備考
dPE1	差圧センサ	JTD	
DC	DC24V電源	RY792D	
dPIC1	指示調節器	R36	
ME1V3	電動2方弁	VY5113J	
R	リレー	-	
TEW1	配管用温度センサ	TY7830B	

盤寸法表

盤名	既設参考寸法			備考
	W	H	D	
A-C1CP-1	1400	2150	350	盤改造

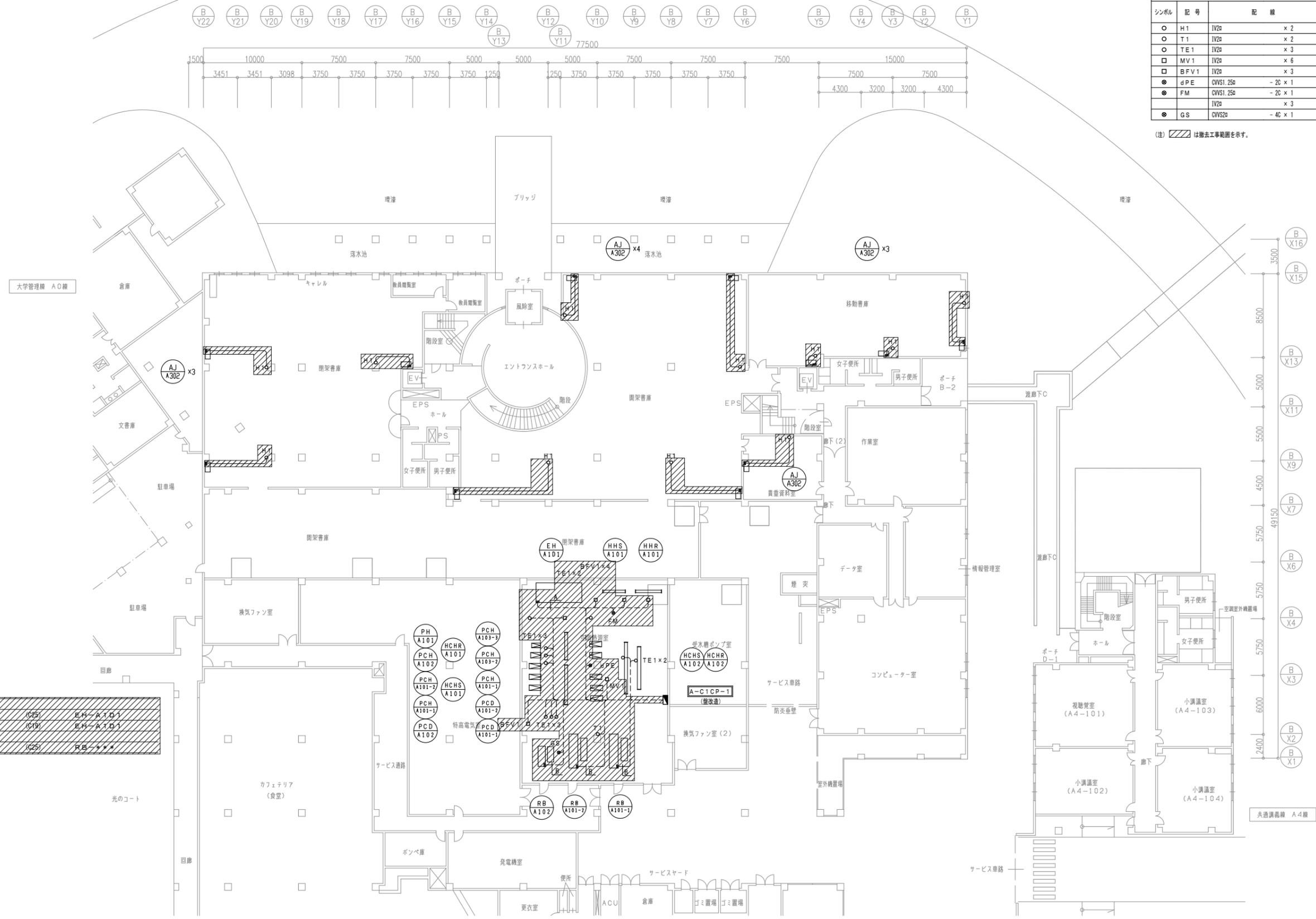
- 凡例
- ☆2: AC24V電源供給(一般用)
 - : 現場盤内取付機器
 - ◁: 監視盤との信号受渡し



記号凡例	
平面図記号	内容
---	隠蔽配管
---	露出配管

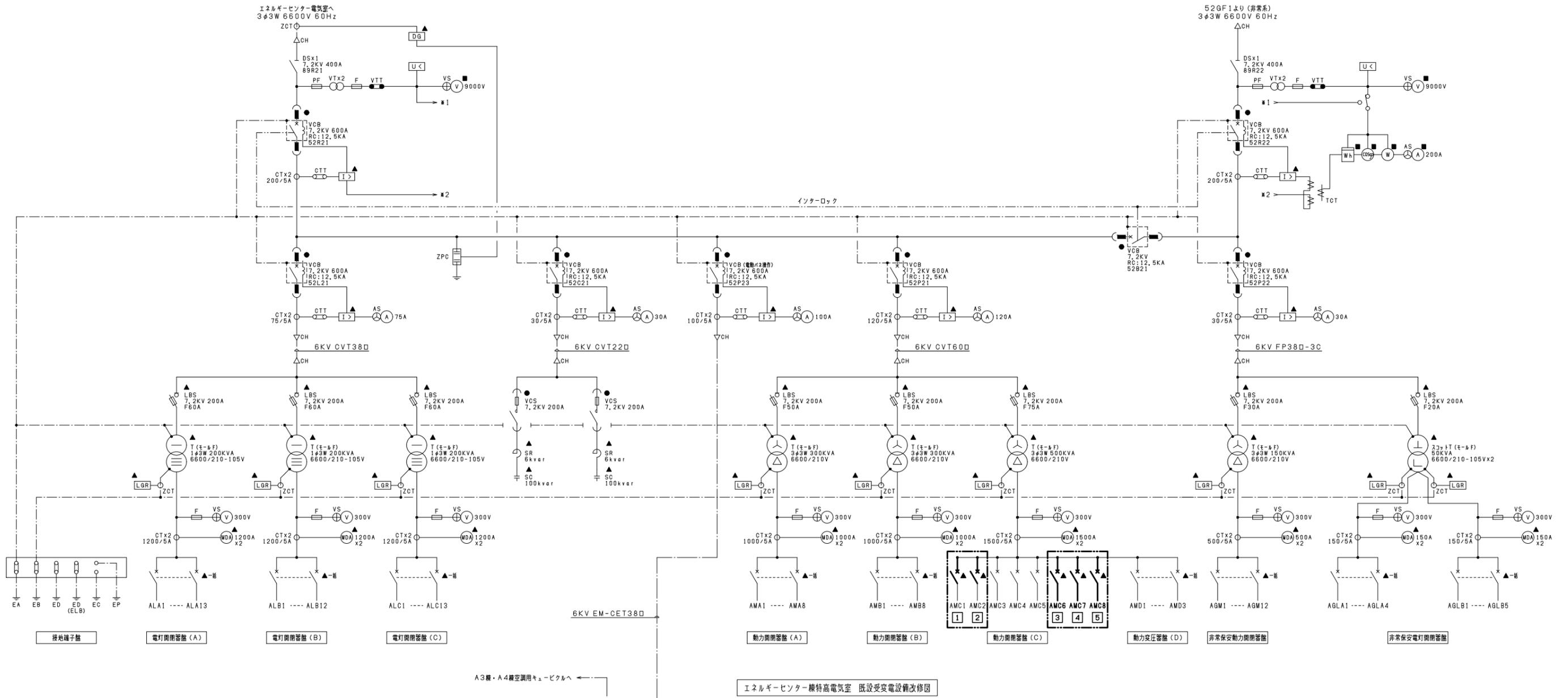
機器凡例				
シンボル	記号	配線	配管	
			(屋内)	(屋外)
○	H1	IV2φ	× 2	(PF16)
○	T1	IV2φ	× 2	(C19)
○	TE1	IV2φ	× 3	(C19)
□	MV1	IV2φ	× 6	(C25)
□	B F V 1	IV2φ	× 3	(C19)
●	d P E	CVIS1.25φ	- 2φ × 1	(C19)
●	FM	CVIS1.25φ	- 2φ × 1	(C19)
●	G S	CVIS2φ	× 3	(C19)
●	G S	CVIS2φ	- 4φ × 1	(C25)

(注) 斜線は撤去工事範囲を示す。



IV2φ	×6	(C25)	EH-A10-1
φPEVD 9mm	-3φ	×1	EH-A1B-1
B			
φPEVD 9mm	-5φ	×1	FB-***

自動制御設備 1階平面図 (撤去) 1/200

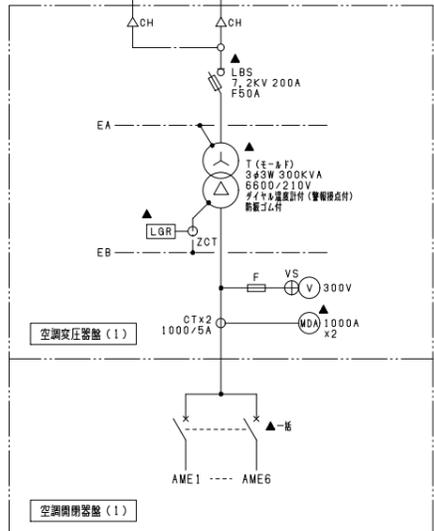


改修内容 *配線用遮断器は全てAL付

番号	内容
1	既設遮断器MCCB 3P 400AF/250ATをMCCB 3P 100AF/100ATに取替える。
2	既設遮断器MCCB 3P 400AF/350ATをMCCB 3P 100AF/100ATに取替える。
3	スペースにMCCB 3P 225AF/175ATを新設し、新設幹線AMC6 (EM-CET1000) を接続する。 (負荷名称: M-A5-1)
4	スペースにMCCB 3P 400AF/300ATを新設し、新設幹線AMC7 (EM-CET2000) を接続する。 (負荷名称: M-A5-2)
5	スペースにMCCB 3P 225AF/175ATを新設し、新設幹線AMC8 (EM-CET1000) を接続する。 (負荷名称: M-A5-3)

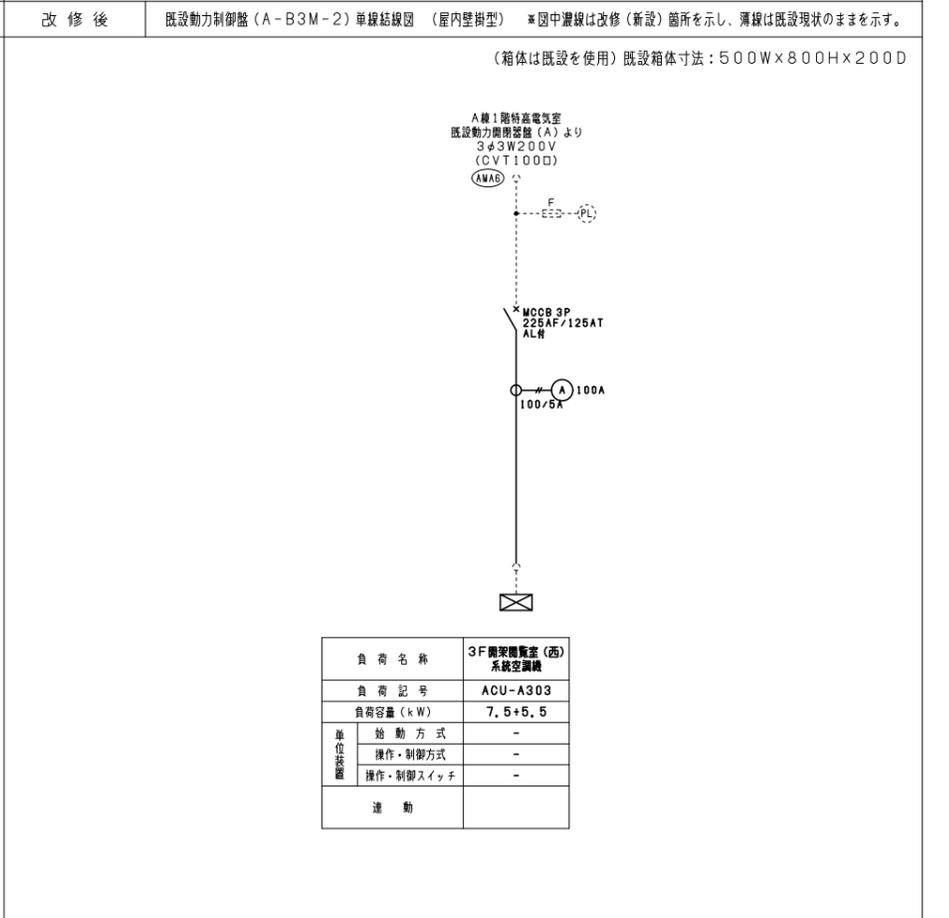
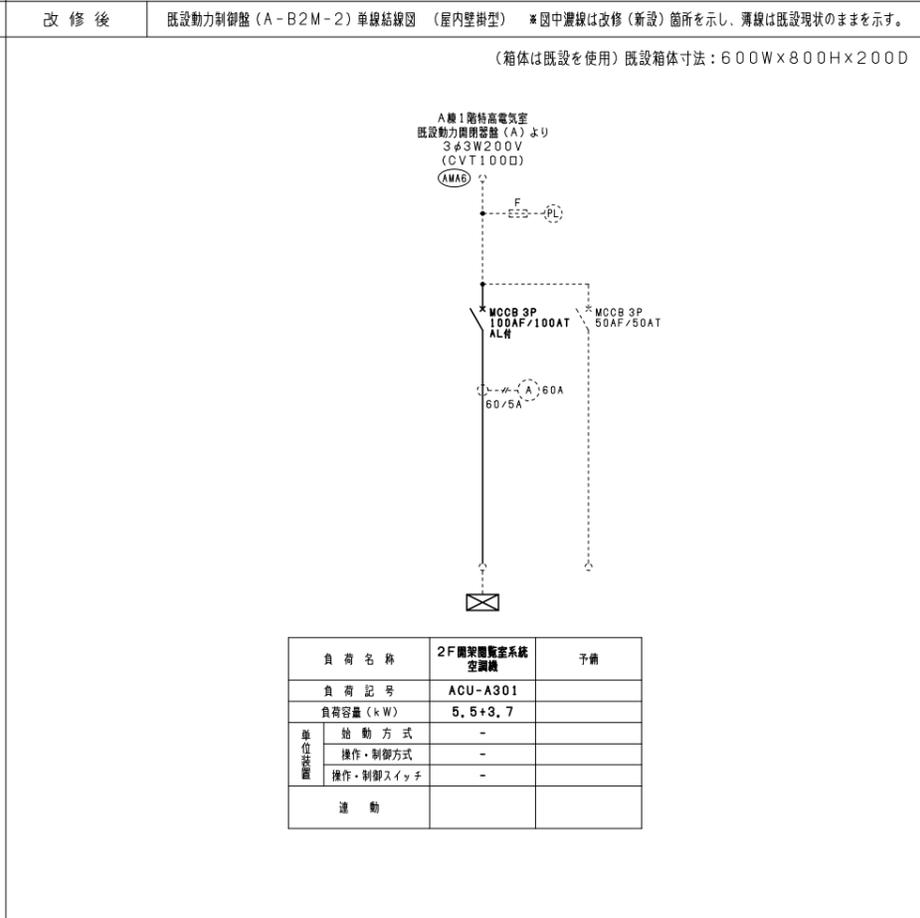
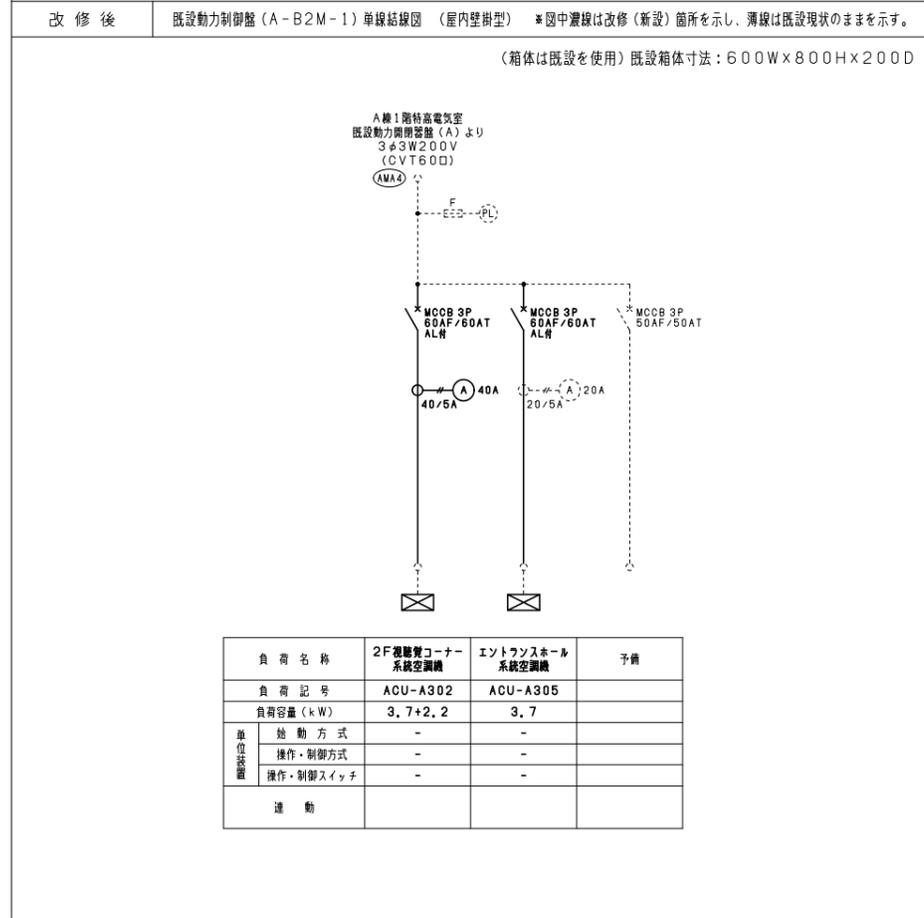
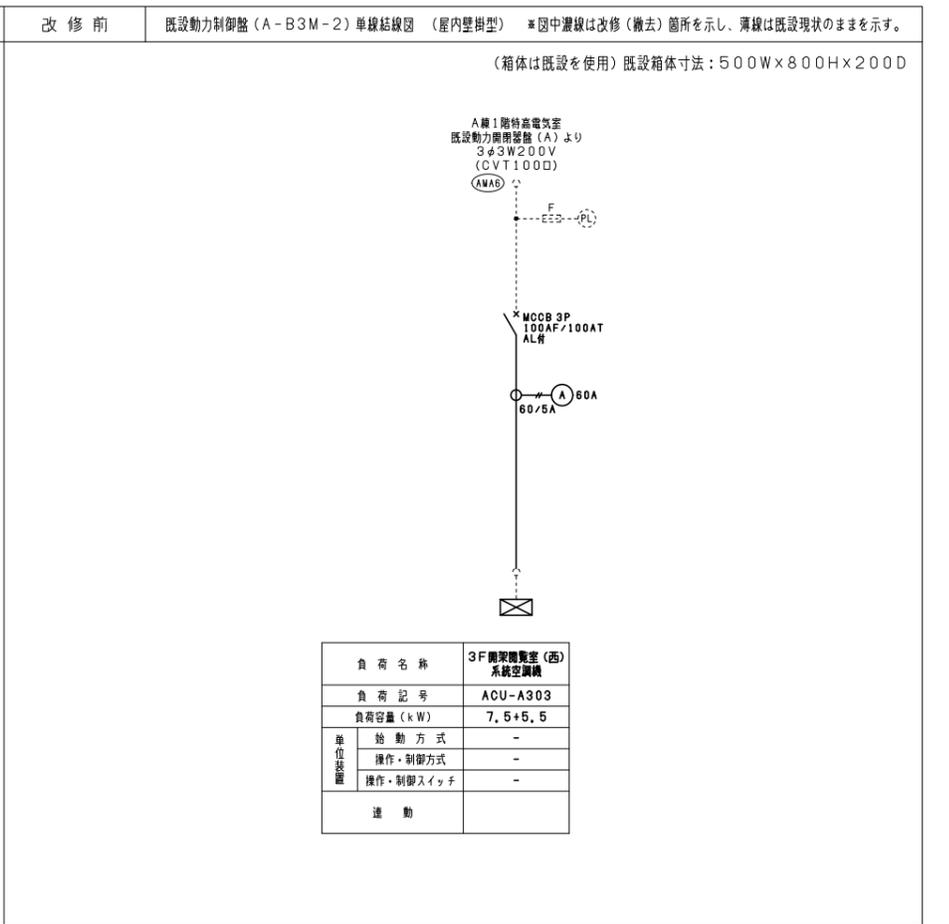
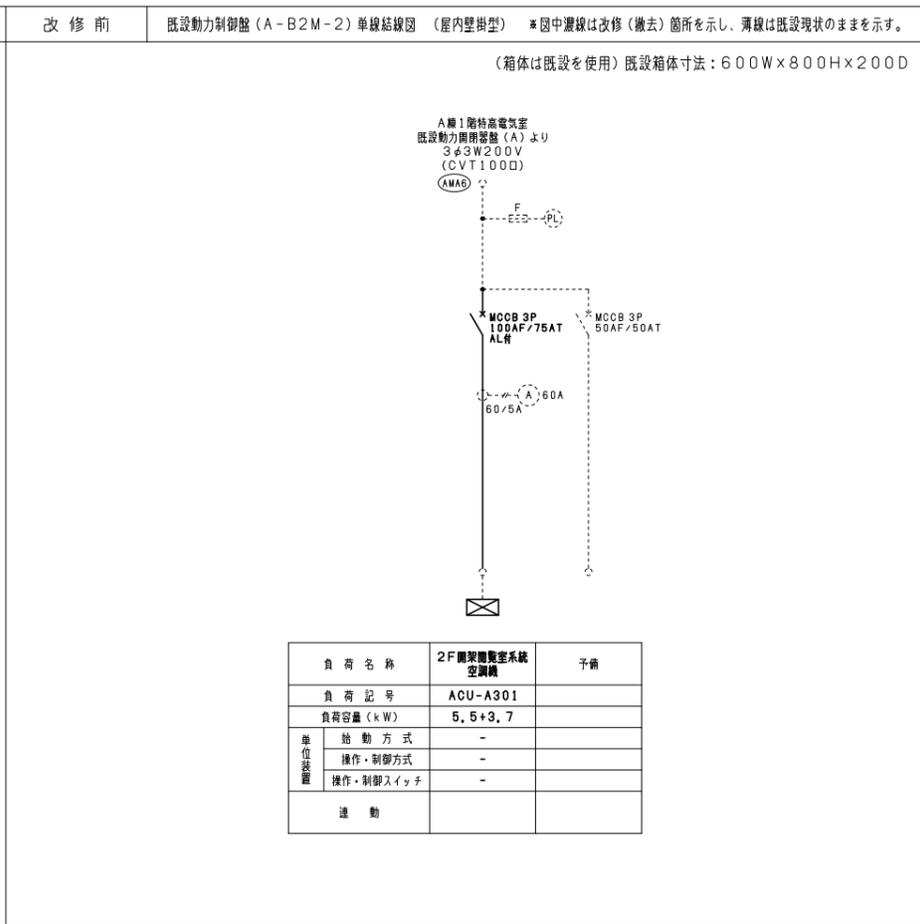
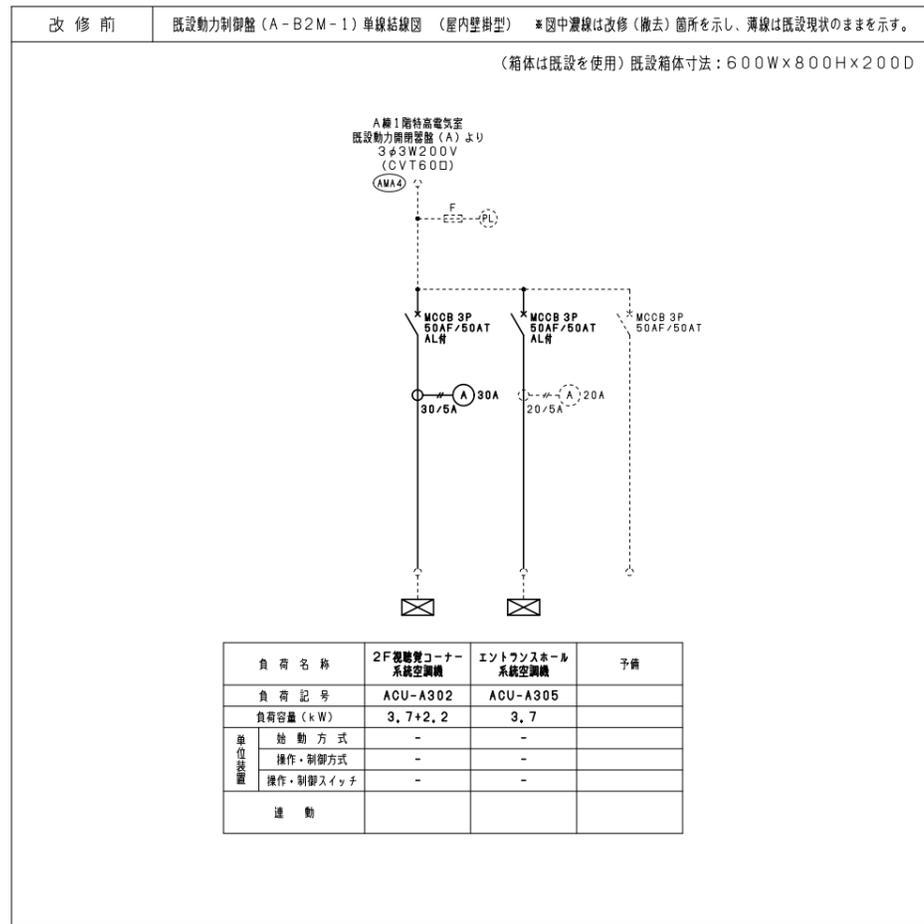
- (注記)
1. 図中濃線は改修箇所を示し、薄線は既設現状のままを示す。
 2. 中央監視盤送り機器仕様は下記による。
●印 操作及び状態表示
▲印 故障又は警報表示
■印 計測・計量
 3. 工事にあたっては、施設の電気主任技術者立会いのもと、停電作業にて施工すること。
 4. 停電作業の日時については、事前に監督員及び施設管理者と十分に協議、調整の上決定すること。
 5. 立会いに要する費用及び各種試験検査費用も本工事に含むものとする。

A3棟・A4棟空調用キュービクルへ
エネルギーセンター棟特高電気室 既設受変電設備改修図



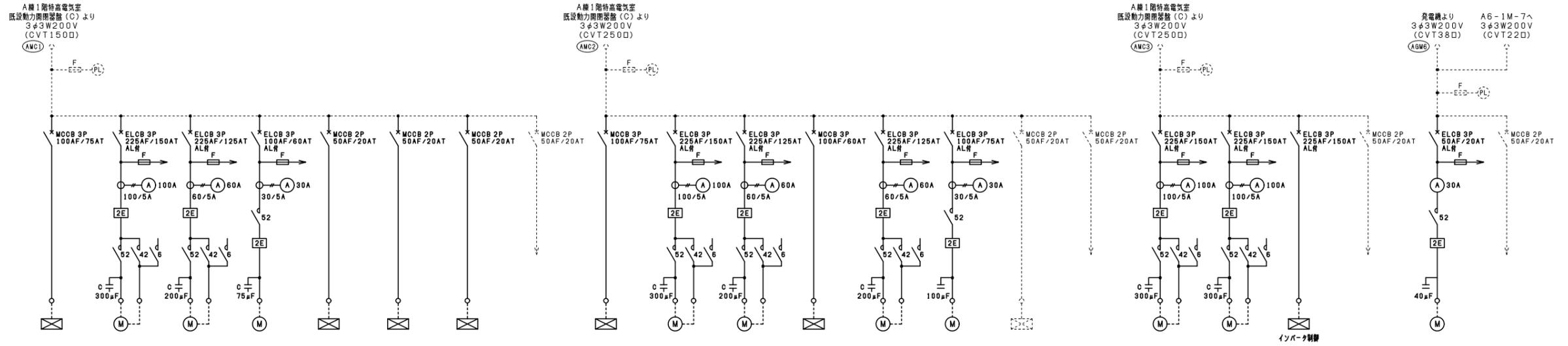
低圧配電盤リスト *配線用遮断器は全てAL付

盤名称	幹線番号	負荷名称	負荷容量		配線用遮断器		幹線(配線)サイズ
			改修前	改修後	改修前	改修後	
動力変圧器盤(C)	AMC1	C1M-6	46.70 KW	22.048 KW	MCCB 3P 400/250AT	MCCB 3P 100/100AT	CVT1500
	AMC2	C1M-6	66.70 KW	22.00 KW	MCCB 3P 400/350AT	MCCB 3P 100/100AT	CVT2500
	AMC3	C1M-6	66.00 KW	0 KW	MCCB 3P 400/350AT	MCCB 3P 400/350AT	CVT2500
	AMC4	M-A2/A6 (1)	33.70 KW	33.70 KW	MCCB 3P 225/200AT	MCCB 3P 225/200AT	EM-CET1000
	AMC5	M-A2/A6 (2)	29.854 KW	29.854 KW	MCCB 3P 225/200AT	MCCB 3P 225/200AT	EM-CET1000
	AMC6	M-A5-1		26.62 KW		MCCB 3P 225/175AT	EM-CET1000
	AMC7	M-A5-2		41.504 KW		MCCB 3P 400/300AT	EM-CET2000
	AMC8	M-A5-3		28.864 KW		MCCB 3P 225/175AT	EM-CET1000



改修前 既設動力制御盤(A-C1M-6)単線結線図 (屋内自立型) ※ 図中濃線は改修(撤去)箇所を示し、薄線は既設現状のままを示す。

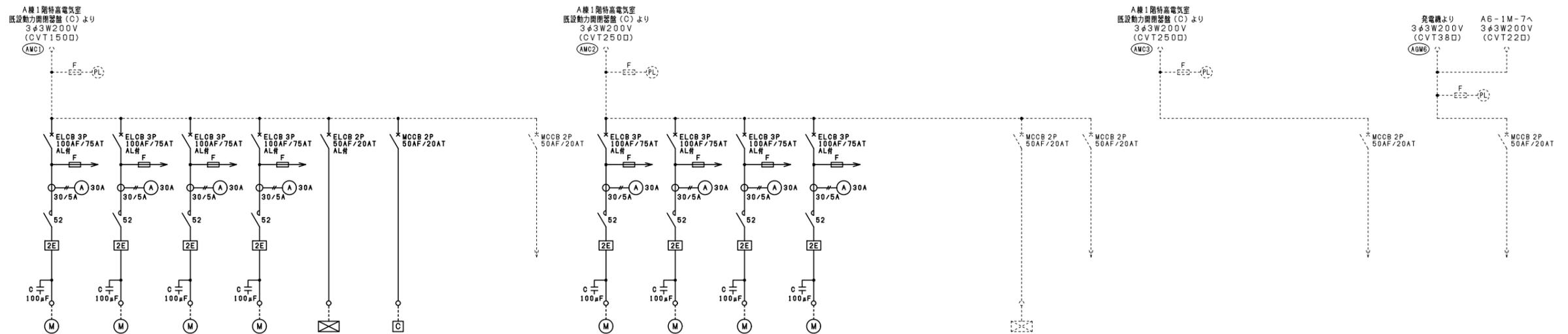
(箱体は既設を使用) 既設箱体寸法: 3600W×2150H×350D (3面体)



負荷名称	吸収式冷凍水機 No. 1	冷却水ポンプ No. 1	冷凍水一次ポンプ No. 1	温水ポンプ	個体蓄熱式電気暖房機 操作電源No. 1	個体蓄熱式電気暖房機 操作電源No. 2	個体蓄熱式電気暖房機 操作電源No. 3	操作電源(1)	吸収式冷凍水機 No. 2	冷却水ポンプ No. 2	冷凍水一次ポンプ No. 2	吸収式冷凍水機 No. 3	冷却水ポンプ No. 3	冷凍水一次ポンプ No. 3	自動制御電源	操作電源(2)	冷凍水二次ポンプ No. 1	冷凍水二次ポンプ No. 2	冷凍水二次ポンプ No. 3	操作電源(3)	発電機用バックアップ用冷却水ポンプ	操作電源(4)
負荷記号	RB-A101-1	PCD-A101-1	PCH-A101-1	PH-A101	EH-A101-1	EH-A101-2	EH-A101-3		RB-A101-2	PCD-A101-2	PCH-A101-2	RB-A102	PCD-A102	PCH-A102			PCH-A103-1	PCH-A103-2	PCH-A103		PCD-A103	
負荷容量(kW)	9.0	22	15	5.5	-	-	-		9.0	22	15	6.7	15	7.5			22	22	22		2.2	
始動方式	-	Y	Y	L	-	-	-		-	Y	Y	-	Y	L	-	-	Y	Y	-	-	L	
操作・制御方式	-	3AB	3AB	3AB	-	-	-		-	3AB	3AB	-	3AB	3AB	-	-	2-1αAB	2-1αAB	-	-	3AB	
操作・制御スイッチ	-	B.1	B.1	B.1	-	-	-		-	B.1	B.1	-	B.1	B.1	-	-	B	B	-	-	B.1	
連動																						

改修後 既設動力制御盤(A-C1M-6)単線結線図 (屋内自立型) ※ 図中濃線は改修(新設)箇所を示し、薄線は既設現状のままを示す。

(箱体は既設を使用) 既設箱体寸法: 3600W×2150H×350D (3面体)

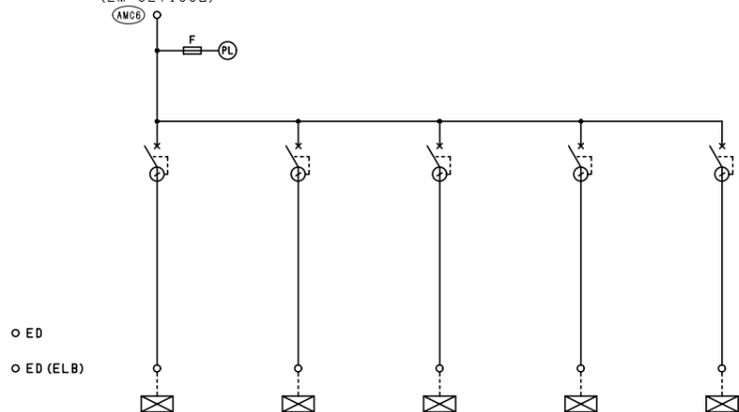


負荷名称	冷凍水ポンプ	冷凍水ポンプ	冷凍水ポンプ	冷凍水ポンプ	GHPチラー水機交換器ユニット x8台	チラーコントロール	操作電源(1)	冷凍水ポンプ	冷凍水ポンプ	冷凍水ポンプ	冷凍水ポンプ	自動制御電源	操作電源(2)	操作電源(3)	操作電源(4)
負荷記号	PCH-1	PCH-1	PCH-1	PCH-1	GHP-T2 x8	(1φ200V)		PCH-1	PCH-1	PCH-1	PCH-1				
負荷容量(kW)	5.5	5.5	5.5	5.5	0.048(1φ200V)			5.5	5.5	5.5	5.5				
始動方式	L	L	L	L	-			L	L	L	L				
操作・制御方式	4-1AB	4-1AB	4-1AB	4-1AB	-			4-1AB	4-1AB	4-1AB	4-1AB				
操作・制御スイッチ	I	I	I	I	-			I	I	I	I				
連動															

※ 盤更新や盤内機器総入れ替による対応も可能とする。

M-A5-1 新設空調動力盤単線結線図 (屋外壁掛防水型ステンレス製) 製造者標準品可

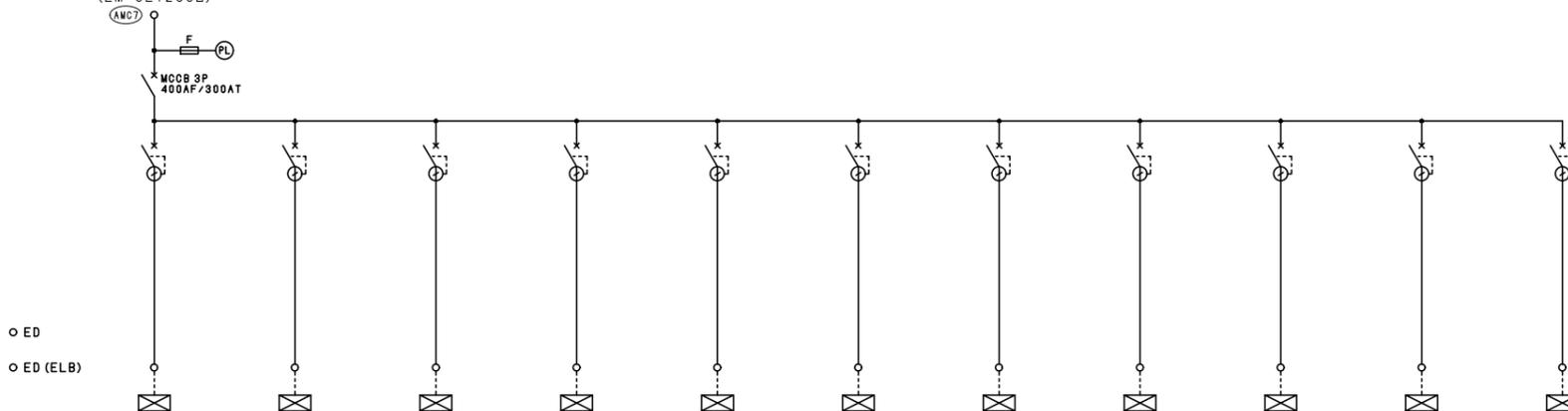
A種1階特高電気室
既設動力開閉器盤(C)より
3φ3W200V
(EM-CET1000)



負荷名称	空調室外機	空調室外機	空調室外機	空調室外機	空調室外機
負荷記号	ACP-2	ACP-2	ACP-2	ACP-2	ACP-2
配線用遮断器	種類	ELCB	ELCB	ELCB	ELCB
	P	3	3	3	3
電気方式	AF/AT	50/40	50/40	50/40	50/40
	電圧	3φ3W200V	3φ3W200V	3φ3W200V	3φ3W200V
定格出力(kW)	圧縮機	4.61	4.61	4.61	4.61
	送風機(外)	0.227+0.227	0.227+0.227	0.227+0.227	0.227+0.227
	送風機(内)	0.26	0.26	0.26	0.26
入力電力(kVA)	冷房	9.18	9.18	9.18	9.18
	暖房	7.79	7.79	7.79	7.79

M-A5-2 新設空調動力盤単線結線図 (屋外壁掛防水型ステンレス製) 製造者標準品可

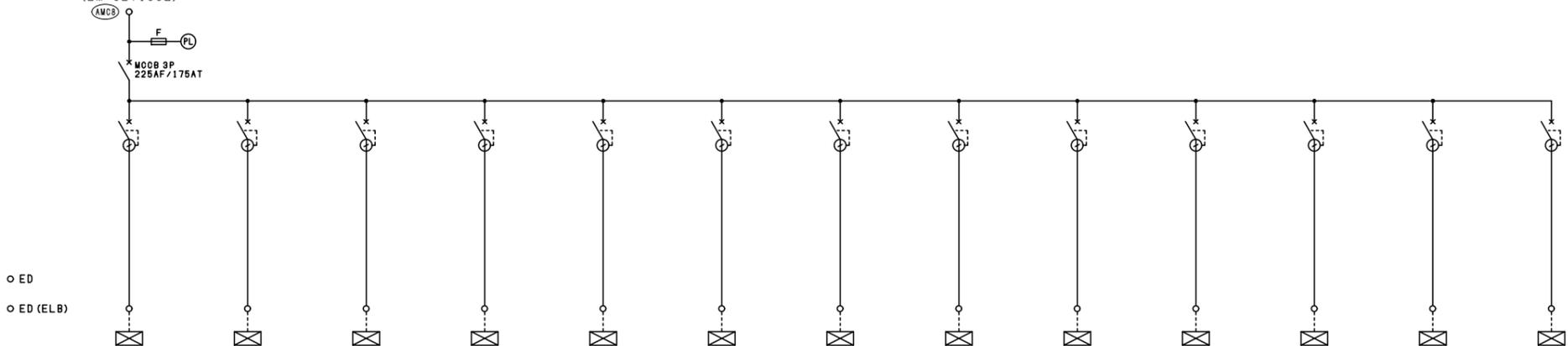
A種1階特高電気室
既設動力開閉器盤(C)より
3φ3W200V
(EM-CET2000)



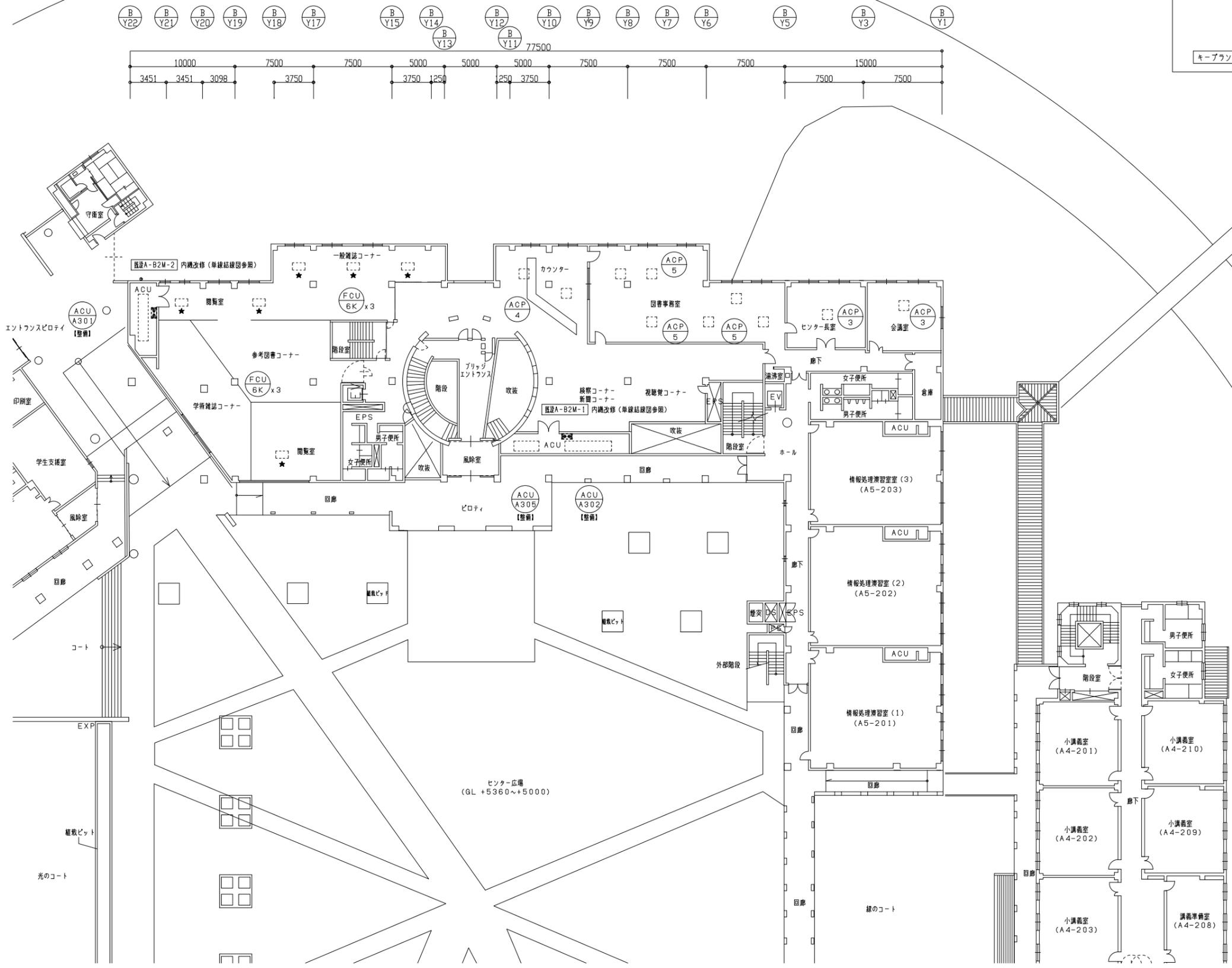
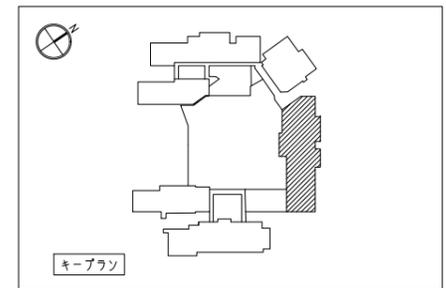
負荷名称	空調室外機	空調室外機	空調室外機	空調室外機	空調室外機	空調室外機	空調室外機	空調室外機	空調室外機	空調室外機	空調室外機	空調室外機
負荷記号	ACP-1	ACP-2	ACP-2	ACP-2	ACP-2	ACP-3	ACP-3	ACP-4	ACP-5	ACP-5	ACP-5	ACP-5
配線用遮断器	種類	ELCB	ELCB	ELCB	ELCB	ELCB	ELCB	ELCB	ELCB	ELCB	ELCB	ELCB
	P	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
電気方式	AF/AT	50/30	50/40	50/40	50/40	50/40	50/30	50/30	50/15	50/30	50/30	50/30
	電圧	3φ3W200V	3φ3W200V	3φ3W200V	3φ3W200V	3φ3W200V	3φ3W200V	3φ3W200V	3φ3W200V	3φ3W200V	3φ3W200V	3φ3W200V
定格出力(kW)	圧縮機	2.45	4.61	4.61	4.61	4.61	2.45	2.45	1.7	3.08	3.08	3.08
	送風機(外)	0.186	0.227+0.227	0.227+0.227	0.227+0.227	0.227+0.227	0.186	0.186	0.07	0.186	0.186	0.186
	送風機(内)	0.152	0.26	0.26	0.26	0.26	0.106	0.106	0.046x2	0.046x2	0.046x2	0.046x2
入力電力(kVA)	冷房	4.71	9.18	9.18	9.18	9.18	4.71	4.71	2.04	4.4	4.4	4.4
	暖房	4.68	7.79	7.79	7.79	7.79	4.16	4.16	2.08	4.4	4.4	4.4

M-A5-3 新設空調動力盤単線結線図 (屋外壁掛防水型ステンレス製) 製造者標準品可

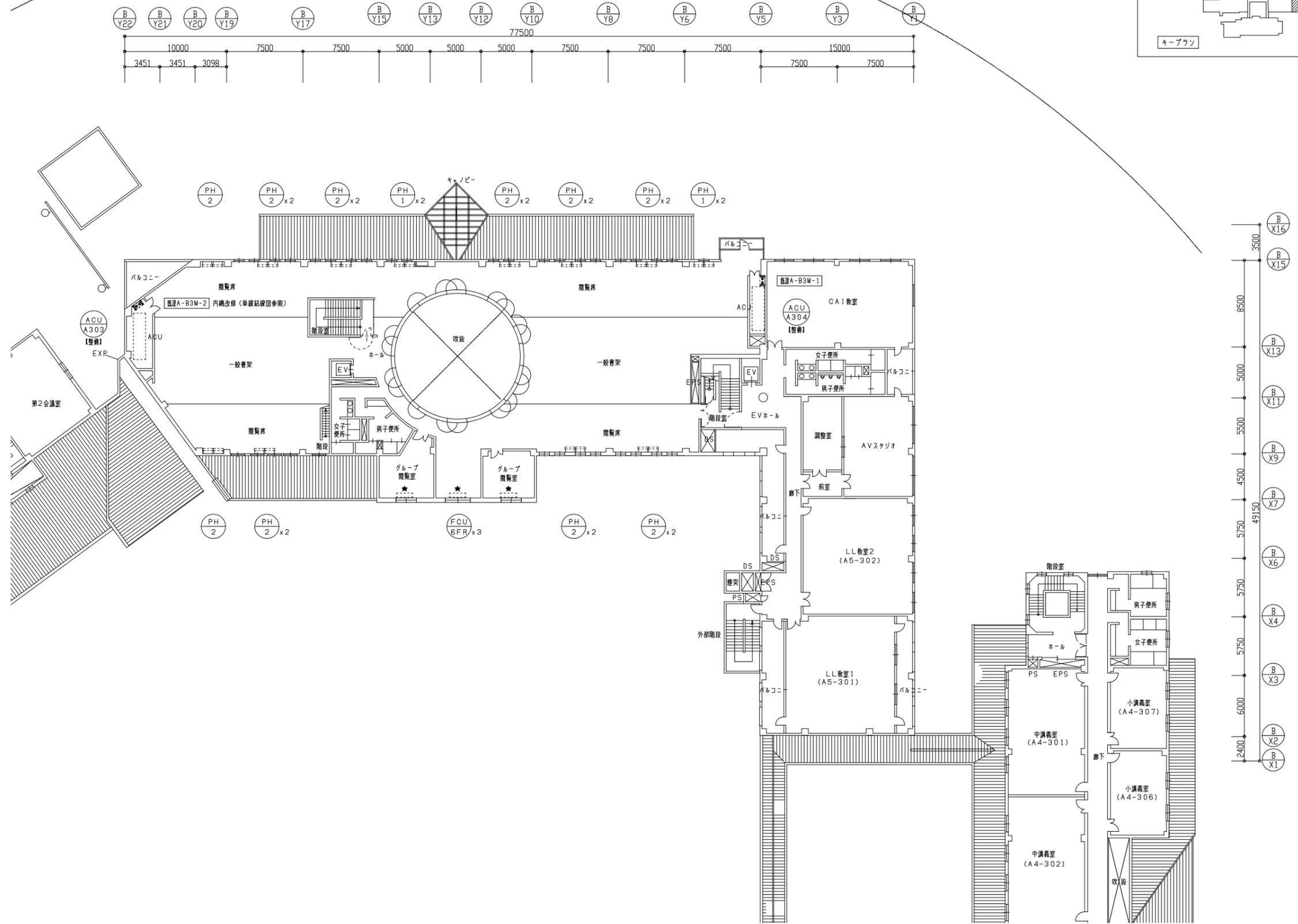
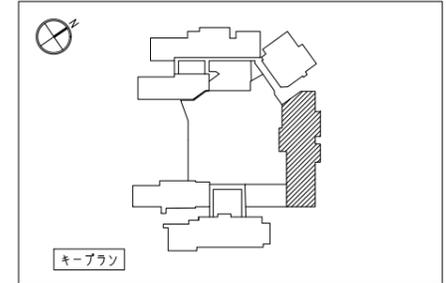
A種1階特高電気室
既設動力開閉器盤(C)より
3φ3W200V
(EM-CET1000)



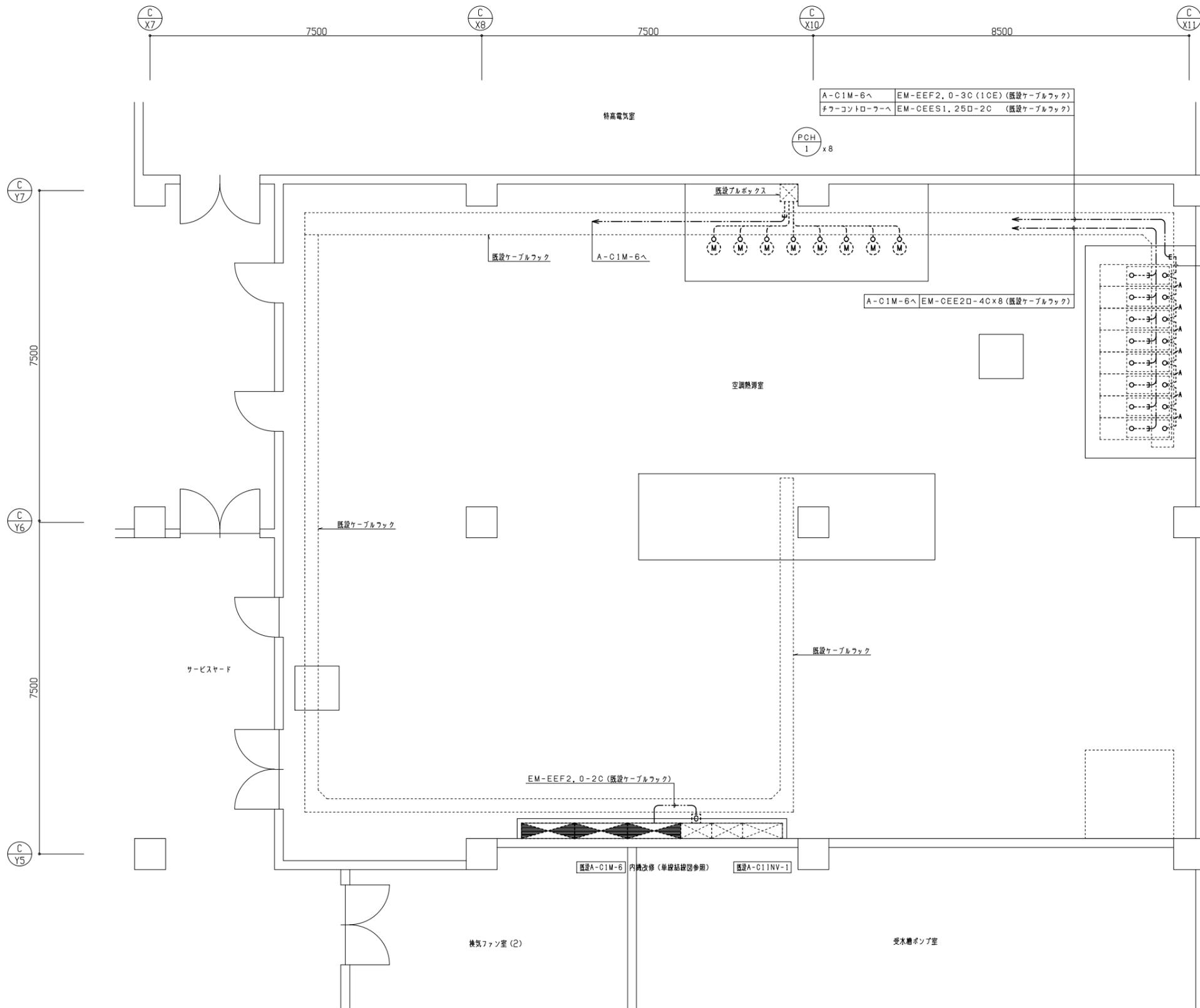
負荷名称	空調室外機	空調室外機	空調室外機	空調室外機	空調室外機	GHPチラー室外ユニット							
負荷記号	ACP-1	ACP-1	ACP-1	ACP-3	ACP-5	GHP-T1							
配線用遮断器	種類	ELCB	ELCB	ELCB	ELCB	ELCB	ELCB	ELCB	ELCB	ELCB	ELCB	ELCB	ELCB
	P	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
電気方式	AF/AT	50/30	50/30	50/30	50/30	50/20	50/20	50/20	50/20	50/20	50/20	50/20	50/20
	電圧	3φ3W200V	3φ3W200V	3φ3W200V	3φ3W200V	3φ3W200V	3φ3W200V	3φ3W200V	3φ3W200V	3φ3W200V	3φ3W200V	3φ3W200V	3φ3W200V
定格出力(kW)	圧縮機	2.45	2.45	2.45	2.45	3.08	3.08	3.08	3.08	3.08	3.08	3.08	3.08
	送風機(外)	0.186	0.186	0.186	0.186	0.186	消費電力:1.8						
	送風機(内)	0.152	0.152	0.152	0.106	0.046x2							
入力電力(kVA)	冷房	4.71	4.71	4.71	4.71	4.4	1.84	1.84	1.84	1.84	1.84	1.84	1.84
	暖房	4.68	4.68	4.68	4.16	4.4	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8



A5棟2階平面図 1/200



A5棟3階平面図 1/200



動力盤2次側配線リスト

動力盤	負荷記号	配管 配線 サイズ
A-C1M-6	PCH-1	EM-CE8D-3C, E5, 5D (HIVE28) 接続部 (F2-30)
	PCH-1	EM-CE8D-3C, E5, 5D (HIVE28) 接続部 (F2-30)
	PCH-1	EM-CE8D-3C, E5, 5D (HIVE28) 接続部 (F2-30)
	PCH-1	EM-CE8D-3C, E5, 5D (HIVE28) 接続部 (F2-30)
	PCH-1	EM-CE8D-3C, E5, 5D (HIVE28) 接続部 (F2-30)
	PCH-1	EM-CE8D-3C, E5, 5D (HIVE28) 接続部 (F2-30)
	PCH-1	EM-CE8D-3C, E5, 5D (HIVE28) 接続部 (F2-30)
	PCH-1	EM-CE8D-3C, E5, 5D (HIVE28) 接続部 (F2-30)

EM-EEF2, 0-3C (1CE) (HIVE22) 接続部 (F2-24)
 EM-CEES1, 25D-2C (HIVE16) 接続部 (F2-17)

GHP
T2 x 8

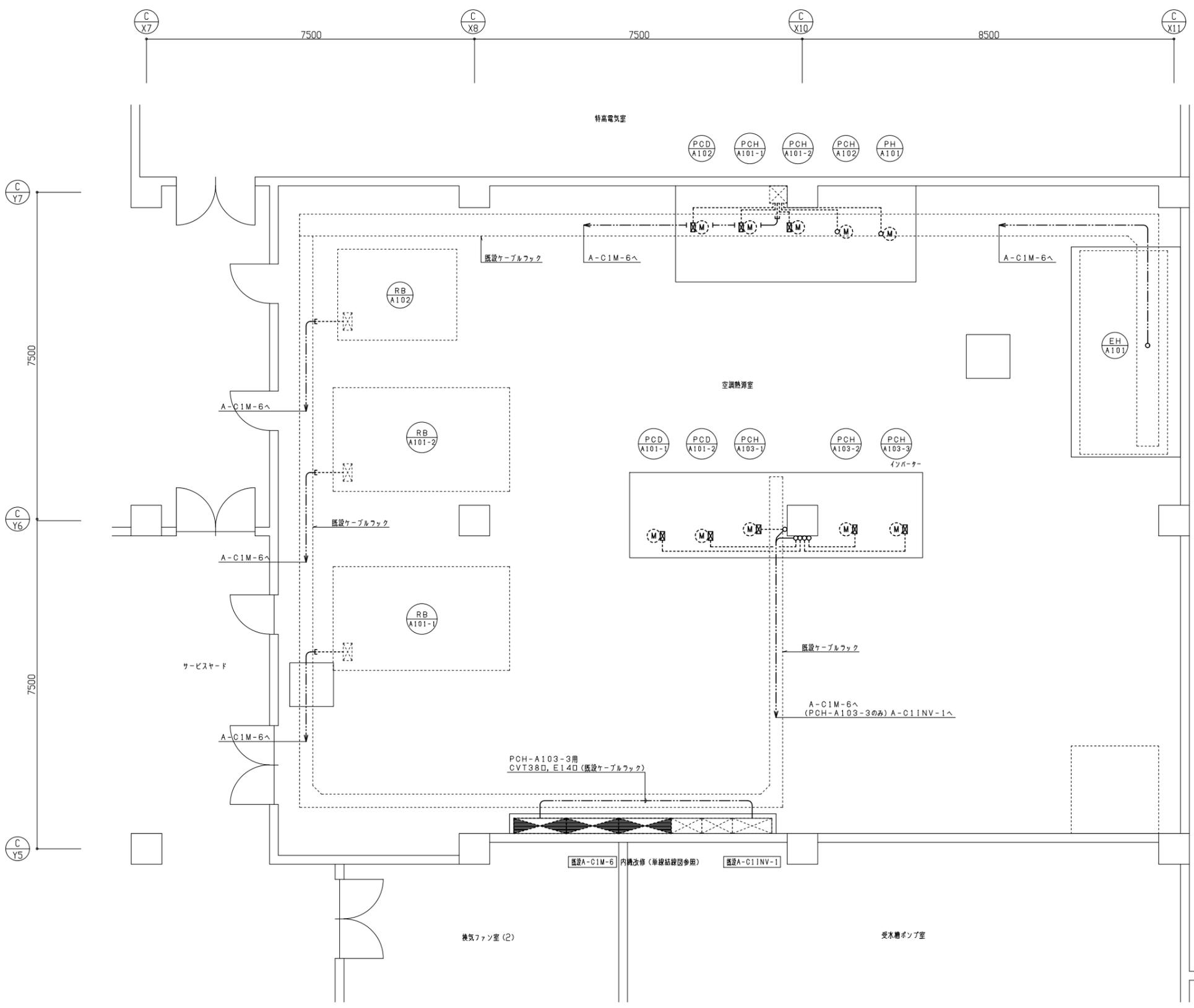
(注記)

- 図中薄線は新設を示し、薄線は既設を示す。
- 図中特記なき配管配線は下記とする。
 A EM-EEF2, 0-3C (1CE) (F2-24) 露出
 EM-CEES1, 25D-2C (F2-17) 露出
- 金属製電線管による空調機への接続部は、金属製可とう電線管を使用すること。

(凡例)

記号	名称	備考
.....	ケーブルラック配線	既設ケーブルラック
.....	露出配管配線	
■	動力盤	
Ⓜ	電動機 (ポンプ)	機械設備工事
Ⓜ	チフコントローラー	機械設備工事

A5棟1階空調熱源室平面詳細図 1/50



動力盤2次側配線リスト

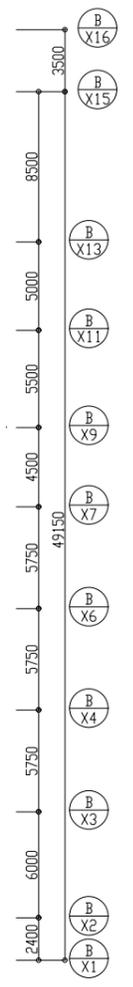
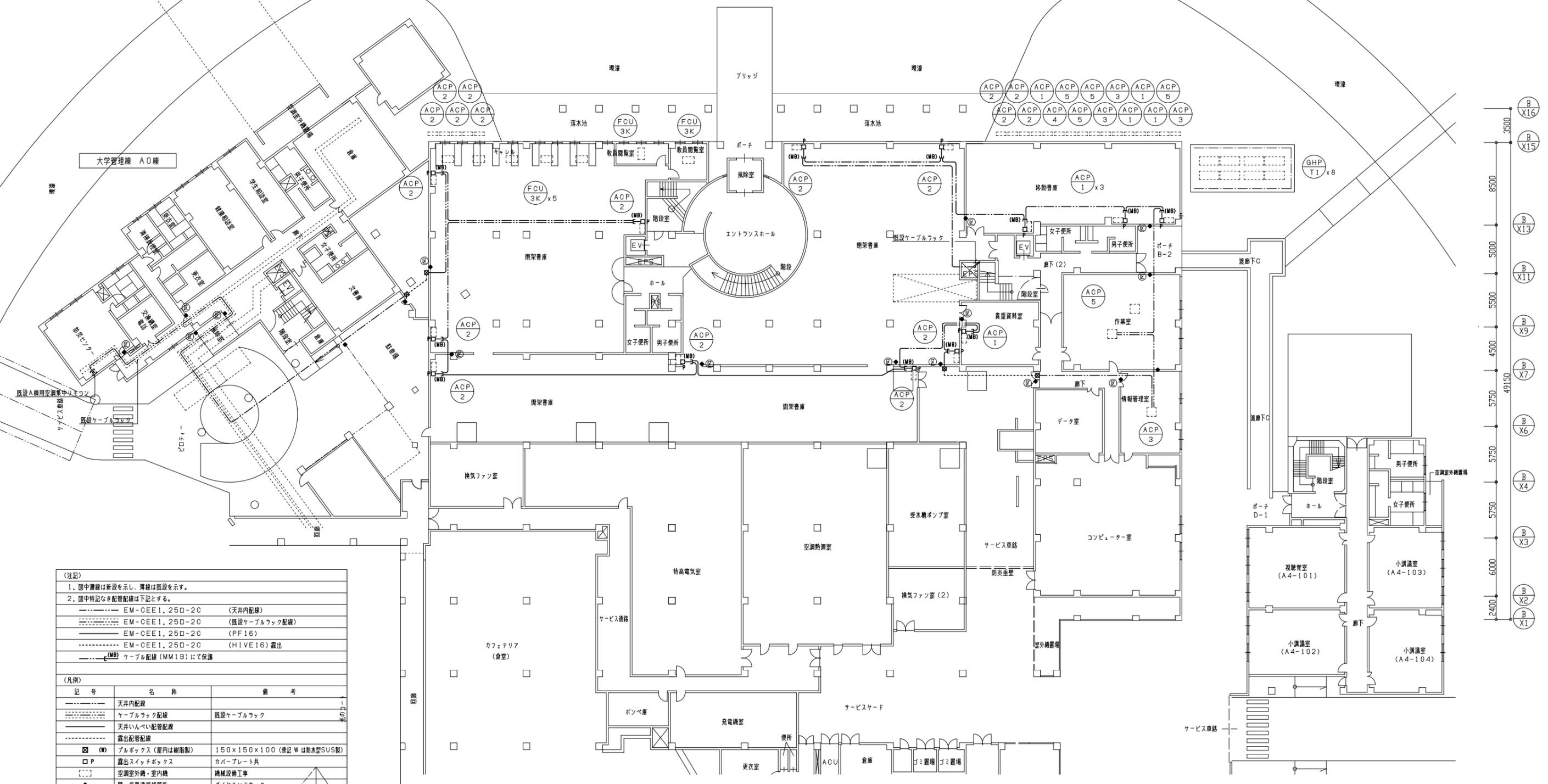
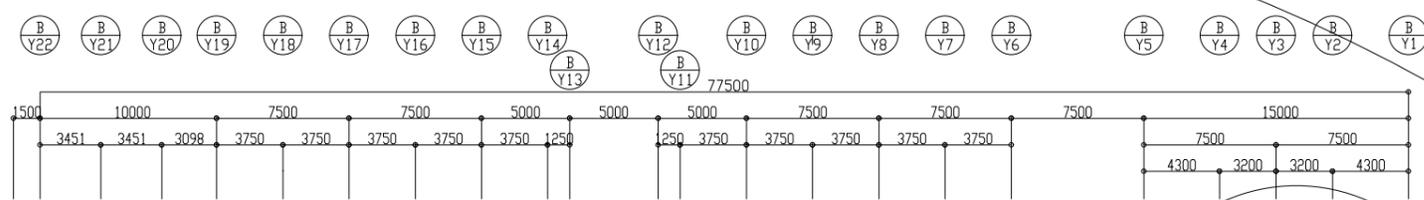
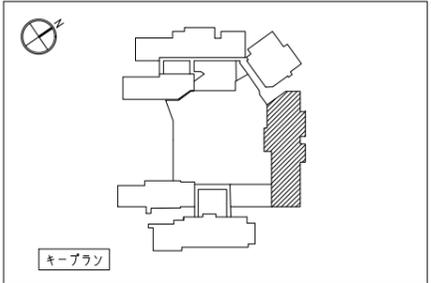
動力盤	負荷記号	配管配線サイズ
A-C1M-6	RB-A101-1	CV140-40 (1CE) (E31) 接続部 (F2-30)
		CVV20-10C (E25) 接続部 (F2-24)
	PCD-A101-1	CVT220, E140 (E39) 接続部 (F2-38)
		CVT220 (E39) 接続部 (F2-38)
	PCH-A101-1	CVT140, E80 (E31) 接続部 (F2-30)
		CVT140 (E31) 接続部 (F2-30)
	PH-A101	CV5, 50-40 (1CE) (E31) 接続部 (F2-30)
	EH-A101-1	CV3, 50-20 (E25) 接続部 (F2-24)
	EH-A101-2	CV3, 50-20 (E25) 接続部 (F2-24)
	EH-A101-3	CV3, 50-20 (E25) 接続部 (F2-24)
RB-A101-2	CV140-40 (1CE) (E31) 接続部 (F2-30)	
	CVV20-10C (E25) 接続部 (F2-24)	
PCD-A101-2	CVT220, E140 (E39) 接続部 (F2-38)	
	CVT220 (E39) 接続部 (F2-38)	
PCH-A101-2	CVT140, E80 (E31) 接続部 (F2-30)	
	CVT140 (E31) 接続部 (F2-30)	
RB-A102	CV80-40 (1CE) (E31) 接続部 (F2-30)	
	CVV20-10C (E25) 接続部 (F2-24)	
PCD-A102	CVT140, E80 (E31) 接続部 (F2-30)	
	CVT140 (E31) 接続部 (F2-30)	
PCH-A102	CVT80, E80 (E31) 接続部 (F2-30)	
PCH-A103-1	CVT220, E80 (E39) 接続部 (F2-38)	
	CVT220 (E39) 接続部 (F2-38)	
PCH-A103-2	CVT220, E80 (E39) 接続部 (F2-38)	
	CVT220 (E39) 接続部 (F2-38)	
A-C1INV-1	PCH-A103-3	CVT380, E220 (E39) 接続部 (F2-38)
		CVT380 (E39) 接続部 (F2-38)

(注記)
1. 図中濃線は撤去を示し、薄線は既設現状のままを示す。

(凡例)

記号	名称	備考
---	ケーブルフック配線	既設ケーブルフック
---	露出配管配線	
■	動力盤	
⊗	電動機 (ポンプ)	機械設備工事

A5棟1階空調熱源室平面詳細図 1/50



(注記)

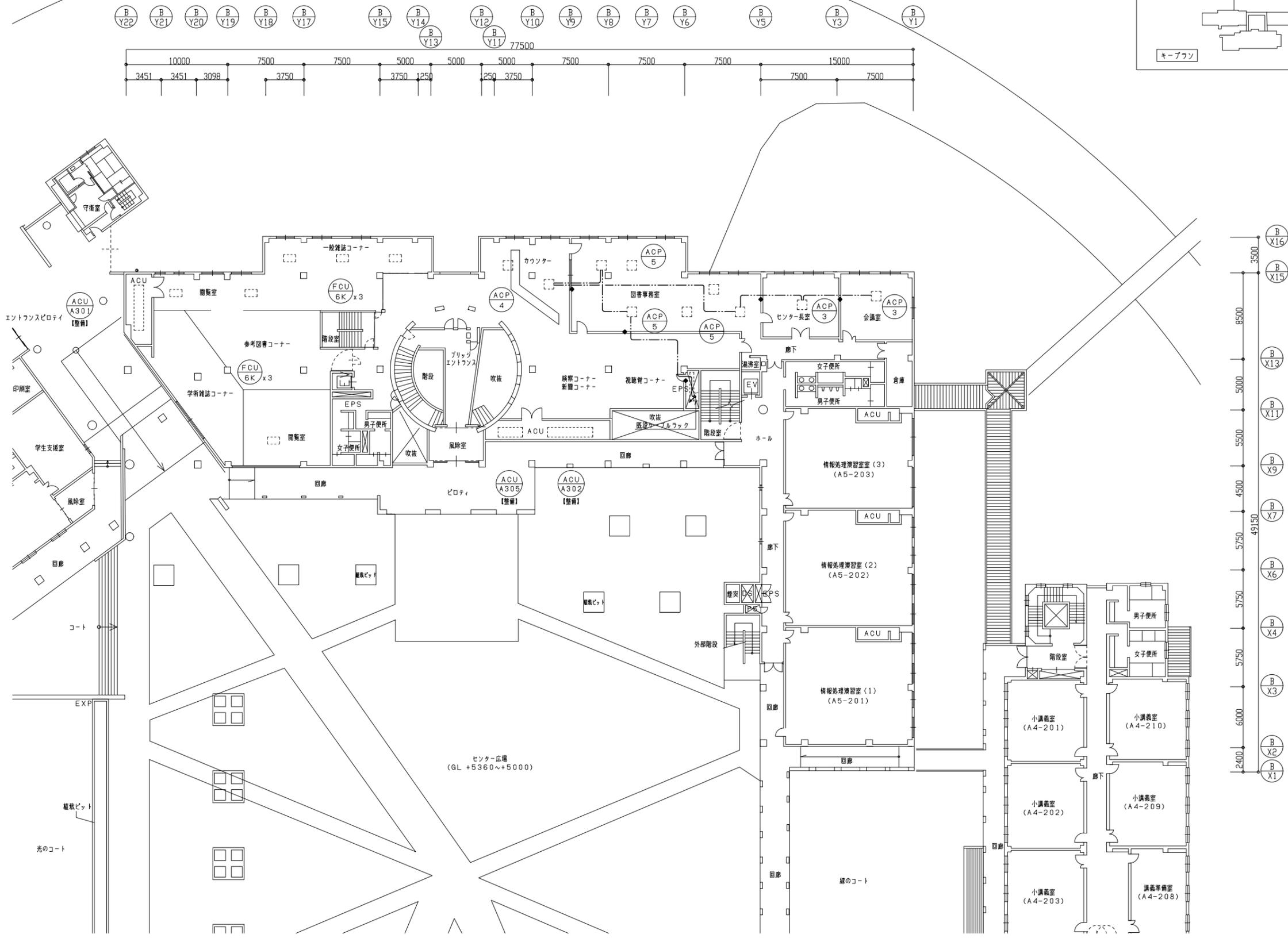
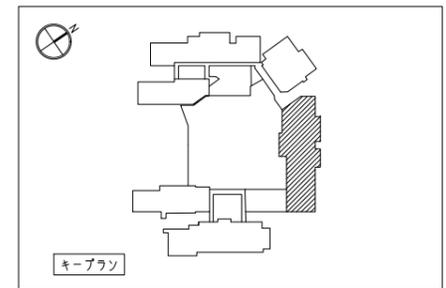
- 図中実線は新設を示し、薄線は既設を示す。
- 図中特記なき配管配線は下記とする。

EM-OEE1.25D-2C	(天井内配線)
EM-OEE1.25D-2C	(既設ケーブルラック配線)
EM-OEE1.25D-2C	(PF16)
EM-OEE1.25D-2C	(HIVE16)露出
(MB) ケーブル配線 (MM1B)にて保護	

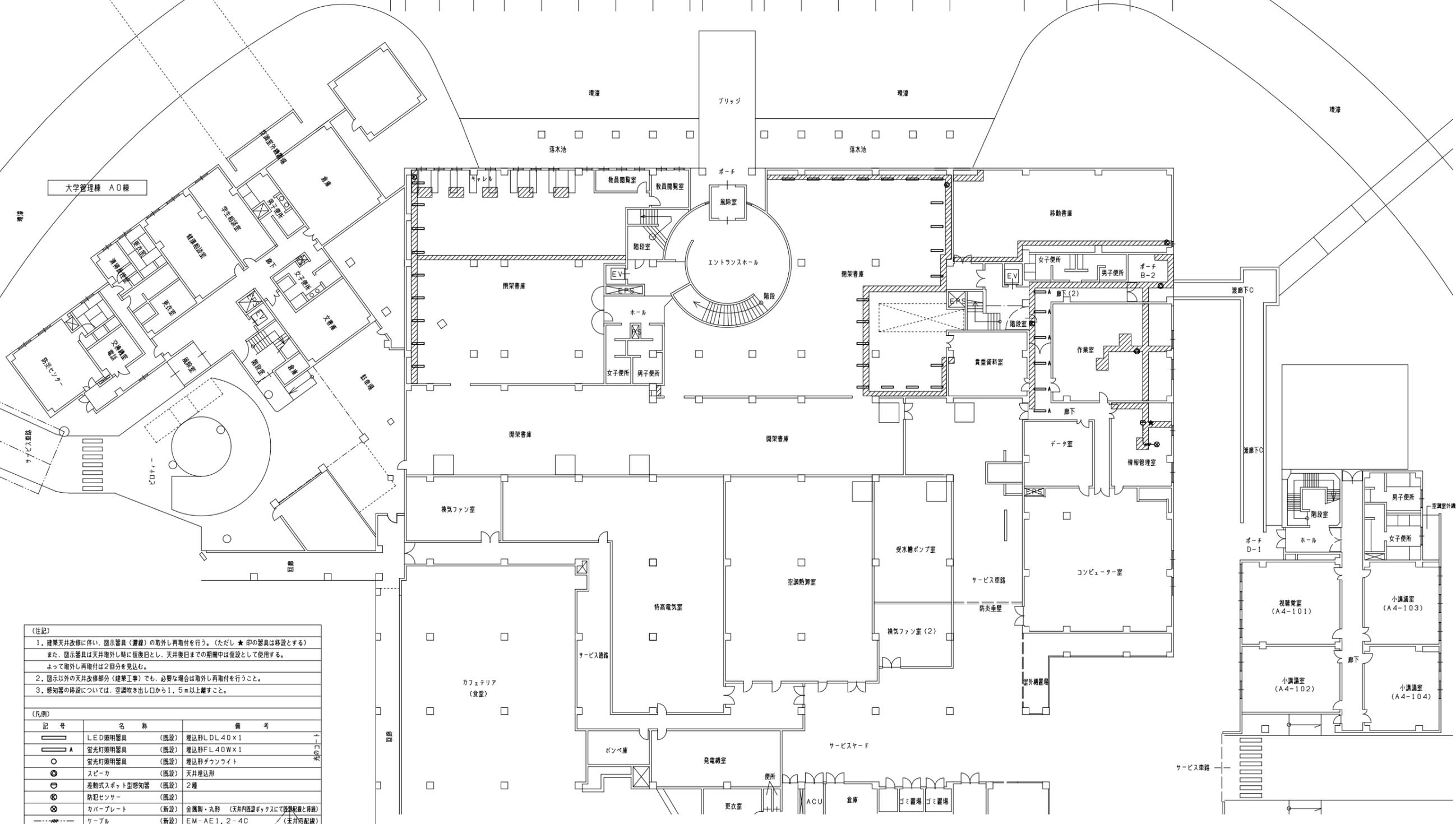
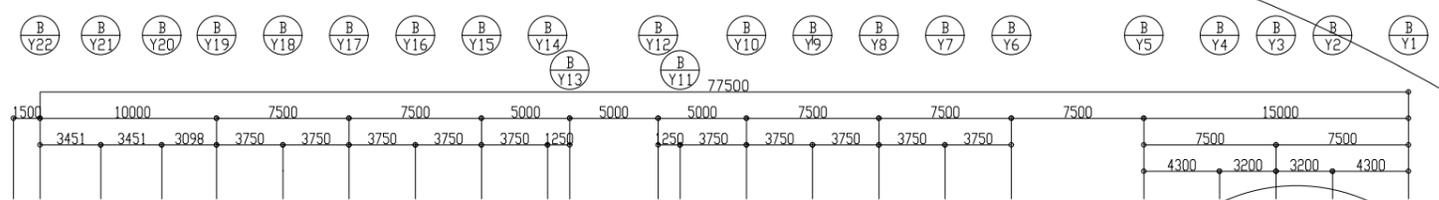
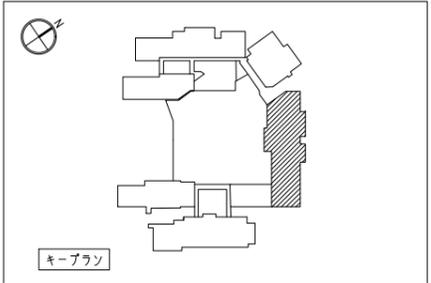
(凡例)

記号	名称	備考
---	天井内配線	
---	ケーブルラック配線	既設ケーブルラック
---	天井いんべい配管配線	
---	露出配管配線	
Ⓜ	プルボックス (屋内は樹脂製)	150×150×100 (特記 W は耐火型SUS製)
□P	露出スイッチボックス	カバープレート共
Ⓜ	空調室外機・室内機	機械設備工事
◆	壁・床貫通補修箇所	ダイヤモンドカッター
Ⓜ	区画貫通処理	

A5棟1階平面図 1/200



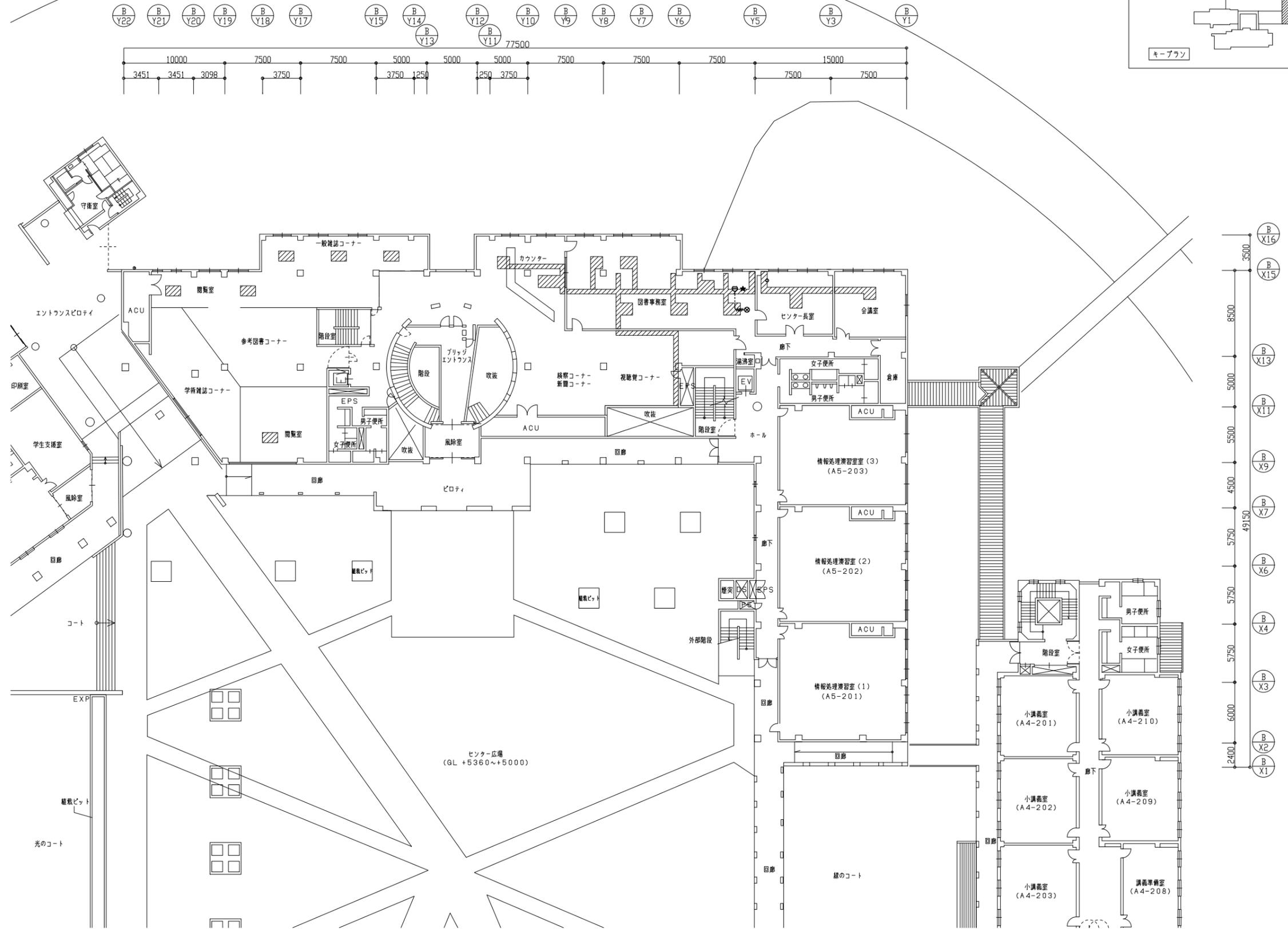
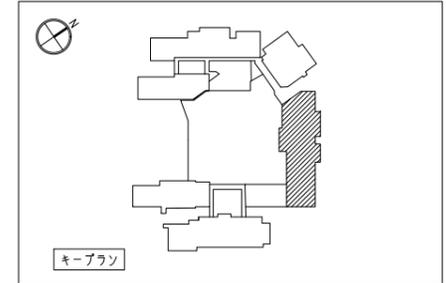
A5棟2階平面図 1/200



- (注記)
1. 建築天井改修に伴い、図示器具（濃線）の取外し再取付を行う。（ただし★印の器具は移設とする）
また、図示器具は天井取外し時に仮復旧とし、天井復旧までの期間中は仮設として使用する。
よって取外し再取付は2回分を見込む。
 2. 図示以外の天井改修部分（建築工事）でも、必要な場合は取外し再取付を行うこと。
 3. 感知器の移設については、空調吹き出し口から1.5m以上離すこと。

記号	名称	備考
—	LED照明器具 (既設)	埋込形LDL40×1
—A	蛍光灯照明器具 (既設)	埋込形FL40W×1
○	蛍光灯照明器具 (既設)	埋込形ダウンライト
⊙	スピーカー (既設)	天井埋込形
⊕	差動式スポット型感知器 (既設)	2種
⊖	防犯センサー (既設)	
⊗	カバープレート (新設)	金属製・丸形 (天井内設置ボックスにて既設配線と接続)
—	ケーブル (新設)	EM-AE1, 2-4C (天井内配線)
▨	天井改修範囲	建築工事

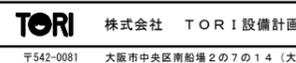
A5棟1階平面図 1/200



A5棟2階平面図 1/200

令和6年3月日	滋賀県立大学財務課					株式会社 TORI 設備計画 〒542-0081 大阪市中央区南船場2の7の14 (大阪写真会館)	工事名称 滋賀県立大学A5棟空調設備改修工事 図面名称 電灯・弱電・自火報設備 A5棟2階平面図 S=1/200	図面No. E15 設計日 2024年3月
---------	-----------	--	--	--	--	--	---	--------------------------

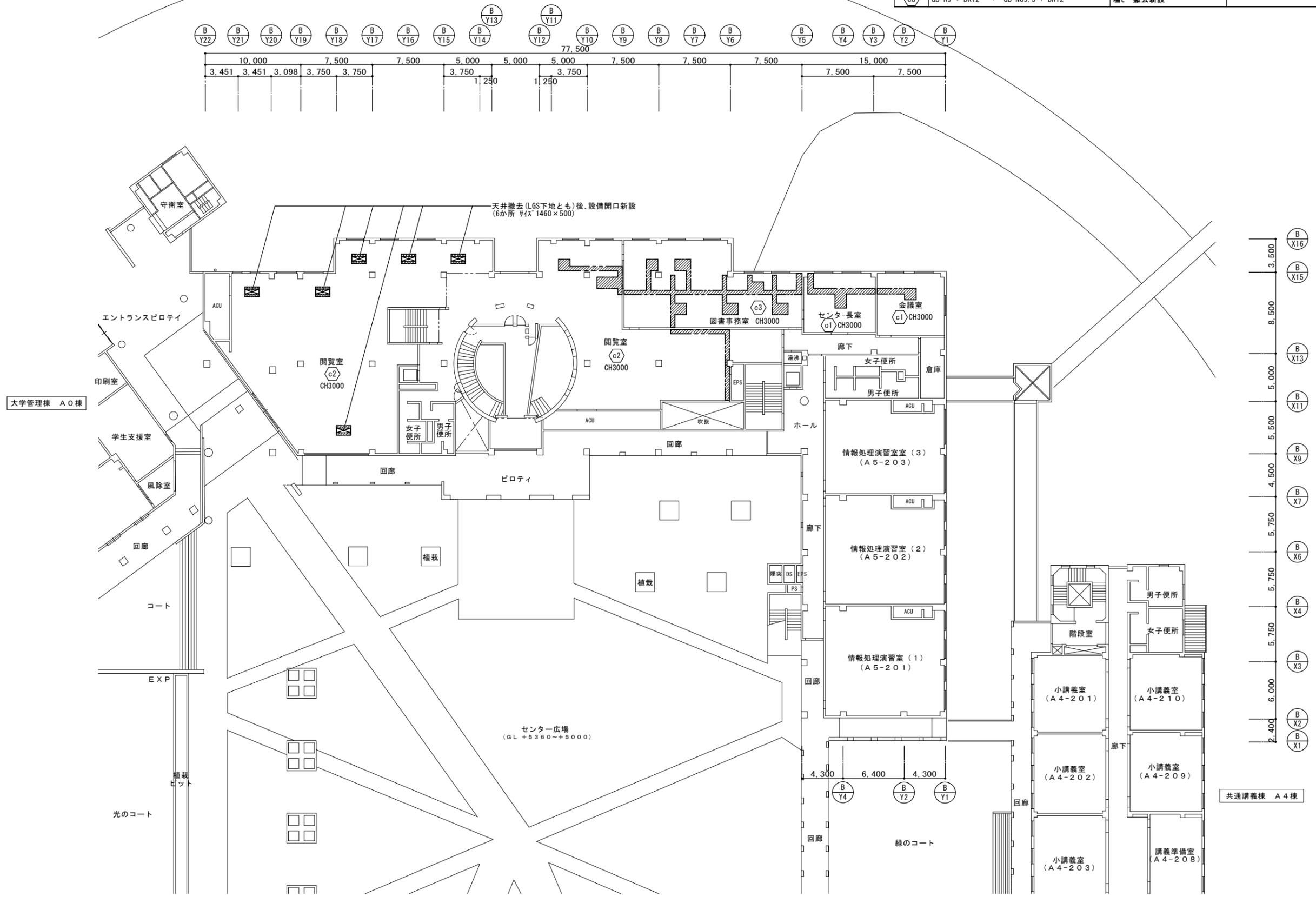
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
6 内装 改修 工事	1. 監督職員事務所	・ 設ける ・ 設けない ・ 構内 ・ 構外 規模 (・ 10m2 ・ 20m2 ・ 35m2 ・ 65m2 ・ 100m2) 程度 監督職員事務所の備品等 机、いす、書棚、白板、ゴム長靴、雨がっぱ、保護帽、安全带等、 衣類ロッカー、冷暖房機器、消火器等、監督職員の指示による。	6 内装 改修 工事	① 改修範囲	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ※図示による 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 ※図示による 既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修 ※既存のまま ※図示による	6 内装 改修 工事	10. 防虫処理	・ ・ ラワン材等 ※JAS1083-6(製材-第6部：広葉樹製材)に基づく保存処理性能区分K1の防虫処理を行う	6 内装 改修 工事	11. RC造等の内部間仕切組及び床組み	・ 間仕切組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※杉又は松 ・ 床組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※杉又は松
	2. 工用水	構内既存の施設 ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償) ・ 利用できない		② 既存床仕上材の撤去及び下地補修	改修範囲の既存床及び下地モルタルの浮き及び欠損の補修を行うこと。 ビニル床シート等の撤去 ※仕上げ材のみ (接着剤とも) ・ 仕上材の撤去範囲全て 合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目置し工法		12. 窓、出入口その他	・ 窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※吊元枠、水振りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉			
	③ 工用電力	構内既存の施設 ○利用できる (※ 有償 ○ 無償、ただし現場事務所を除く) ・ 利用できない		③ 施工一般	材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(ウ)(b)による		13. 床板張り	・ 縁甲板及び上がりかまちに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ひのき			
	4. 仮囲い等	図示による他、万能標、フェンスバリケード等の仮設計画を立案し、監督職員と協議する。		④ 製材	・ JAS 1083-5 製材・第5部に基づく下地用製材		14. 壁及び天井下地	・ 壁脚線、野縁受線、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※杉 ・ 松			
	5. 仮設間仕切り	仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ※図示 仮設間仕切りの種別と材質等 (・ A種 ・ B種 ・ C種) [表 2. 3. 1] 仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等 (※合板張り 木製)		⑤ JAS 1083-2 製材・第2部に基づく造作用製材	・ JAS 1083-6 製材・第6部に基づく広葉樹製材		⑥ 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 屋外 ※25形 ・ 19形 屋内 ※19形 ・ 25形 屋外形式及び寸法 野縁受、つりボルト及びインサートの間隔 ・ 図示による 周辺部の端からの間隔 ・ 図示による 野縁の間隔 ・ 図示による 既存の埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない あと施工アンカーの施工後の確認試験 ・ 行う 試験箇所数 ※施工の場合、当該階において3箇所 ・ ()箇所 引張試験にて確認する強度 ※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面構成部材等の 単位面積あたりの質量が20kg/m ² 以内の天井の場合は400mm程度) ・ ()N ・ 行わない ・ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※図示による ・ 天井のふとところが3.0mを超える場合 補強方法 ※図示による ・ 天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強方法 ※図示による 補強箇所 ・ 図示による ・ 屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強 補強方法 ※図示による 補強箇所 ・ 図示による			
	⑦ 足場等	「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。		⑥ JAS 1083-2 製材・第2部に基づく造作用製材	・ JAS 1083-6 製材・第6部に基づく広葉樹製材		16. 軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナーの種類 ・ [表6.7.11]によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ※図示による スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示による 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※[6.7.4(5)]による			
	7. 騒音・粉じんの対策	・ 防音パネル ・ 防音シート 防音パネル等を取り付ける足場等の設置位置		⑦ JAS 1083-2 製材・第2部に基づく造作用製材	・ JAS 1083-6 製材・第6部に基づく広葉樹製材		17. ビニルシート	[表 6. 8. 2、3] 種類の記号 色柄 厚さ(mm) 備考 ※FS ・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物 ※熱溶接工法			
	⑧ 既存部分の養生	養生方法等 ・ 既存部分 養生の方法 (※ビニルシート、合板等) ・ 既存家具、既存設備等 養生方法 (※ビニルシート等) ・ 既存ブラインド、カーテン等 養生方法 (・ ビニルシート等 ・ 保管場所 (・ 図示による) ・ 固定された備品、机、ロッカー等の移動 ・ 図示による 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。 溶接作業を行う場所については防炎シートを使用し防火対策を講ずる。		⑧ JAS 1083-2 製材・第2部に基づく造作用製材	・ JAS 1083-6 製材・第6部に基づく広葉樹製材		18. ビニル床タイル	[表 6. 8. 2] 種類の記号 色柄 寸法(mm) 厚さ(mm) 備考 ※KT(コトゾシヤンビ)床タイル ・ 無地 ・ 柄物 ・ 300×300 ※2.0 ・ 450×450 ・ 3.0 ・ TT(単層ビニル床タイル) ・ 無地 ・ 柄物 ・ 300×300 ・ 2.0 ・ 450×450 ・ ・ FT(複層ビニル床タイル) ・ 無地 ・ 柄物 ・ 300×300 ・ 2.0 ・ 450×450 ・ 2.5 ・ 3.0 ・ FOA(置き敷きビニル床タイル) ・ 無地 ・ 柄物 ・ 500×500 ・ 4.0 ・ FOB(薄型置き敷きビニル床タイル) ・ 無地 ・ 柄物 ・			
	9. 交通誘導員	・ 工事車両出入口等必要な箇所に配置すること (延べ ○○○ 人程度)		⑨ 5. 造作用集成材	・ 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材		19. 特殊機能床材	[表 6. 8. 2] 材料 シート・タイルの種類 種類 性能 厚さ、寸法、形状 (mm) ・ 帯電防止床シート 種類 性能 厚さ、寸法、形状 (mm) ・ 帯電防止床タイル 種類 性能 厚さ、寸法、形状 (mm) ・ 視覚障害者用床タイル 種類 性能 厚さ、寸法、形状 (mm) ・ 耐動荷重性床シート 種類 性能 厚さ、寸法、形状 (mm) ・ 防滑性床シート 種類 性能 厚さ、寸法、形状 (mm) ・ 防滑性床タイル 種類 性能 厚さ、寸法、形状 (mm)			
				⑩ 5. 造作用集成材	・ 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材		20. ビニル幅木	材質の種類 ・ 軟質 ・ 硬質 高さ(mm) ※60 ・ 75 ・ 100 厚さ(mm) ・ ※1.5以上			
		⑪ 5. 造作用集成材	・ 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材	21. ゴム床タイル	[表 6. 8. 2] 種類 ・ 単層品 ・ 積層品 色柄 () 厚さ(mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0 寸法(mm) ()						



章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																																																																																																									
6 内装 改修 工事	23. 合成樹脂塗床	<p>帯電性 ・適用する ・適用しない</p> <p>織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・つづり縫い</p> <p>下敷き材 ※反モフェルト (JIS L 3204) の第2種1号 呼び厚さ 8mm</p> <p>・タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>バイル形状</th> <th>バイル長さ(mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・カットバイル</td> <td>・5~7</td> <td>・全面接着工法</td> <td>・適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ループバイル</td> <td>・4~6</td> <td>・グリッパー工法</td> <td>・適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>下敷き材 (グリッパー工法の場合) ※反モフェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm</p> <p>○タイルカーペット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>バイルの形状</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ループバイル</td> <td>※第一種</td> <td>フッソ(ノット加工)</td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・第二種</td> <td>撤去あと</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カットバイル</td> <td>・第一種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・第二種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td>・第一種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・第二種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し 階段部分 ※模様流し ・市松敷き</p> <p>見切り、押え金物 材質 () 種類 () 形状等 ※図示による</p>	バイル形状	バイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考	・カットバイル	・5~7	・全面接着工法	・適用する		・ループバイル	・4~6	・グリッパー工法	・適用しない		・カット、ループ併用					バイルの形状	種類	施工箇所	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考	※ループバイル	※第一種	フッソ(ノット加工)	※500×500	※6.5			・第二種	撤去あと				・カットバイル	・第一種		※500×500	※6.5			・第二種					・カット、ループ併用	・第一種		※500×500	※6.5			・第二種					6 内装 改修 工事	23. 合成樹脂塗床	<p>[6. 10. 2、3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床</td> <td></td> <td>・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法</td> <td>・平滑仕上げ ・防汚仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・薄膜型塗床材</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ</td> </tr> </tbody> </table> <p>塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p>	種類	施工箇所	工法	仕上げの種類	・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ	・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防汚仕上げ	・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ	6 内装 改修 工事	24. フローリング張り	<p>[6. 11. 2~6]</p> <p>フローリングは JAS 1073 による工場塗品とする。 フローリングのホルムアルデヒドの放散量等 ※ [6. 11. 2(2)] による</p> <p>びわこ材の適用 ・適用する ・適用しない</p> <p>単層フローリング [6. 11. 2~5]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ、幅及び長さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・フローリングボード1等</td> <td>・釘留め工法 (根太張り)</td> <td></td> <td>※ (表19.5.1) による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・釘留め工法 (根太張り)</td> <td></td> <td>※ (表19.5.3) による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・接着工法</td> <td></td> <td>※ (表19.5.5) による</td> </tr> <tr> <td>・フローリングブロック1等</td> <td>・接着工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>複合フローリング [6. 11. 2~5]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ、幅及び長さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・複合フローリング (天然木化粧)</td> <td>・釘留め工法 (根太張り)</td> <td></td> <td>※ (表19.5.2) による ・A種 ・B種 ・C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・釘留め工法 (根太張り)</td> <td></td> <td>※ (表19.5.4) による ・A種 ・B種 ・C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・接着工法</td> <td></td> <td>※ (表19.5.6) による ・A種 ・B種 ・C種</td> </tr> </tbody> </table> <p>接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート</p> <p>・現場塗装仕上げ ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り</p>	種類	工法	樹種	厚さ、幅及び長さ	・フローリングボード1等	・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.1) による		・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.3) による		・接着工法		※ (表19.5.5) による	・フローリングブロック1等	・接着工法			種類	工法	樹種	厚さ、幅及び長さ	・複合フローリング (天然木化粧)	・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.2) による ・A種 ・B種 ・C種		・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.4) による ・A種 ・B種 ・C種		・接着工法		※ (表19.5.6) による ・A種 ・B種 ・C種	6 内装 改修 工事	24. フローリング張り	<p>[6. 12. 2] [表6. 12. 1]</p> <p>種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (D種の塗床: ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)</p> <p>下地の種類 ・ (表12.6.1) による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム) 衝撃緩和型塗 (塗表: ・C1 ・C2)</p> <p> MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※ [6. 13. 2 (2) (イ)] の(a)~(d)のいずれか 表面への化粧張り等の加工 ※図示による</p>	6 内装 改修 工事	25. 畳敷き	<p>[6. 13. 2、3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>JISの記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>規格等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・硬質木セメント板</td> <td>HW</td> <td>※図示による</td> <td>・15 ・20 ・25</td> </tr> <tr> <td>・中質木セメント板</td> <td>MW</td> <td>※図示による</td> <td>・15 ・20 ・25</td> </tr> <tr> <td>・普通木セメント板</td> <td>NW</td> <td>※図示による</td> <td>・15 ・20 ・25</td> </tr> <tr> <td>・硬質木片セメント板</td> <td>HF</td> <td>※図示による</td> <td>・12 ・15 ・18 ・21 ・30</td> </tr> <tr> <td>・普通木片セメント板</td> <td>NF</td> <td>※図示による</td> <td>・12 ・15 ・18 ・21 ・30</td> </tr> <tr> <td>・火山性ガラス質複層板</td> <td></td> <td>※図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類 ※図示による</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○けい酸カルシウム板 (7472)</td> <td>0.8FK</td> <td>・図示による</td> <td>○5 ・8</td> </tr> <tr> <td>○ロックウール化粧吸音板</td> <td>DR αDR(着色)</td> <td>○フラットタイプ(・9 (不燃) ○12 (不燃)) ○凹凸タイプ(・12 (不燃) ・15 (不燃))</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ロックウール吸音ボード1号</td> <td>RW-B</td> <td></td> <td>・25</td> </tr> <tr> <td>・グラスウール吸音ボード32K</td> <td>GW-B</td> <td>・25 (ガラスクロス色)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○せっこうボード</td> <td>GB-R</td> <td>○2.5 (不燃) ・15 (不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○不燃積層せっこうボード</td> <td>GB-NC</td> <td>○化粧無 (下地張り用) ・化粧有 (トラバーチン模様)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・セージンがせっこうボード</td> <td>GB-S</td> <td>12.5 (不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・強化せっこうボード</td> <td>GB-F</td> <td>・12.5 (不燃) ・15 (不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・せっこうラスボード</td> <td>GB-L</td> <td>9.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	JISの記号	厚さ(mm)	規格等	・硬質木セメント板	HW	※図示による	・15 ・20 ・25	・中質木セメント板	MW	※図示による	・15 ・20 ・25	・普通木セメント板	NW	※図示による	・15 ・20 ・25	・硬質木片セメント板	HF	※図示による	・12 ・15 ・18 ・21 ・30	・普通木片セメント板	NF	※図示による	・12 ・15 ・18 ・21 ・30	・火山性ガラス質複層板		※図示による		種類 ※図示による				○けい酸カルシウム板 (7472)	0.8FK	・図示による	○5 ・8	○ロックウール化粧吸音板	DR αDR(着色)	○フラットタイプ(・9 (不燃) ○12 (不燃)) ○凹凸タイプ(・12 (不燃) ・15 (不燃))		・ロックウール吸音ボード1号	RW-B		・25	・グラスウール吸音ボード32K	GW-B	・25 (ガラスクロス色)		○せっこうボード	GB-R	○2.5 (不燃) ・15 (不燃)		○不燃積層せっこうボード	GB-NC	○化粧無 (下地張り用) ・化粧有 (トラバーチン模様)		・セージンがせっこうボード	GB-S	12.5 (不燃)		・強化せっこうボード	GB-F	・12.5 (不燃) ・15 (不燃)		・せっこうラスボード	GB-L	9.5	
		バイル形状	バイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考																																																																																																																																																																																														
・カットバイル	・5~7	・全面接着工法	・適用する																																																																																																																																																																																																	
・ループバイル	・4~6	・グリッパー工法	・適用しない																																																																																																																																																																																																	
・カット、ループ併用																																																																																																																																																																																																				
バイルの形状	種類	施工箇所	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																																																															
※ループバイル	※第一種	フッソ(ノット加工)	※500×500	※6.5																																																																																																																																																																																																
	・第二種	撤去あと																																																																																																																																																																																																		
・カットバイル	・第一種		※500×500	※6.5																																																																																																																																																																																																
	・第二種																																																																																																																																																																																																			
・カット、ループ併用	・第一種		※500×500	※6.5																																																																																																																																																																																																
	・第二種																																																																																																																																																																																																			
種類	施工箇所	工法	仕上げの種類																																																																																																																																																																																																	
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ																																																																																																																																																																																																	
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防汚仕上げ																																																																																																																																																																																																	
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ																																																																																																																																																																																																	
種類	工法	樹種	厚さ、幅及び長さ																																																																																																																																																																																																	
・フローリングボード1等	・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.1) による																																																																																																																																																																																																	
	・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.3) による																																																																																																																																																																																																	
	・接着工法		※ (表19.5.5) による																																																																																																																																																																																																	
・フローリングブロック1等	・接着工法																																																																																																																																																																																																			
種類	工法	樹種	厚さ、幅及び長さ																																																																																																																																																																																																	
・複合フローリング (天然木化粧)	・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.2) による ・A種 ・B種 ・C種																																																																																																																																																																																																	
	・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.4) による ・A種 ・B種 ・C種																																																																																																																																																																																																	
	・接着工法		※ (表19.5.6) による ・A種 ・B種 ・C種																																																																																																																																																																																																	
種類	JISの記号	厚さ(mm)	規格等																																																																																																																																																																																																	
・硬質木セメント板	HW	※図示による	・15 ・20 ・25																																																																																																																																																																																																	
・中質木セメント板	MW	※図示による	・15 ・20 ・25																																																																																																																																																																																																	
・普通木セメント板	NW	※図示による	・15 ・20 ・25																																																																																																																																																																																																	
・硬質木片セメント板	HF	※図示による	・12 ・15 ・18 ・21 ・30																																																																																																																																																																																																	
・普通木片セメント板	NF	※図示による	・12 ・15 ・18 ・21 ・30																																																																																																																																																																																																	
・火山性ガラス質複層板		※図示による																																																																																																																																																																																																		
種類 ※図示による																																																																																																																																																																																																				
○けい酸カルシウム板 (7472)	0.8FK	・図示による	○5 ・8																																																																																																																																																																																																	
○ロックウール化粧吸音板	DR αDR(着色)	○フラットタイプ(・9 (不燃) ○12 (不燃)) ○凹凸タイプ(・12 (不燃) ・15 (不燃))																																																																																																																																																																																																		
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B		・25																																																																																																																																																																																																	
・グラスウール吸音ボード32K	GW-B	・25 (ガラスクロス色)																																																																																																																																																																																																		
○せっこうボード	GB-R	○2.5 (不燃) ・15 (不燃)																																																																																																																																																																																																		
○不燃積層せっこうボード	GB-NC	○化粧無 (下地張り用) ・化粧有 (トラバーチン模様)																																																																																																																																																																																																		
・セージンがせっこうボード	GB-S	12.5 (不燃)																																																																																																																																																																																																		
・強化せっこうボード	GB-F	・12.5 (不燃) ・15 (不燃)																																																																																																																																																																																																		
・せっこうラスボード	GB-L	9.5																																																																																																																																																																																																		
6 内装 改修 工事	23. 合成樹脂塗床	<p>[6. 10. 2、3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床</td> <td></td> <td>・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法</td> <td>・平滑仕上げ ・防汚仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・薄膜型塗床材</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ</td> </tr> </tbody> </table> <p>塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p>	種類	施工箇所	工法	仕上げの種類	・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ	・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防汚仕上げ	・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ	6 内装 改修 工事	24. フローリング張り	<p>[6. 11. 2~6]</p> <p>フローリングは JAS 1073 による工場塗品とする。 フローリングのホルムアルデヒドの放散量等 ※ [6. 11. 2(2)] による</p> <p>びわこ材の適用 ・適用する ・適用しない</p> <p>単層フローリング [6. 11. 2~5]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ、幅及び長さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・フローリングボード1等</td> <td>・釘留め工法 (根太張り)</td> <td></td> <td>※ (表19.5.1) による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・釘留め工法 (根太張り)</td> <td></td> <td>※ (表19.5.3) による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・接着工法</td> <td></td> <td>※ (表19.5.5) による</td> </tr> <tr> <td>・フローリングブロック1等</td> <td>・接着工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>複合フローリング [6. 11. 2~5]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ、幅及び長さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・複合フローリング (天然木化粧)</td> <td>・釘留め工法 (根太張り)</td> <td></td> <td>※ (表19.5.2) による ・A種 ・B種 ・C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・釘留め工法 (根太張り)</td> <td></td> <td>※ (表19.5.4) による ・A種 ・B種 ・C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・接着工法</td> <td></td> <td>※ (表19.5.6) による ・A種 ・B種 ・C種</td> </tr> </tbody> </table> <p>接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート</p> <p>・現場塗装仕上げ ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り</p>	種類	工法	樹種	厚さ、幅及び長さ	・フローリングボード1等	・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.1) による		・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.3) による		・接着工法		※ (表19.5.5) による	・フローリングブロック1等	・接着工法			種類	工法	樹種	厚さ、幅及び長さ	・複合フローリング (天然木化粧)	・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.2) による ・A種 ・B種 ・C種		・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.4) による ・A種 ・B種 ・C種		・接着工法		※ (表19.5.6) による ・A種 ・B種 ・C種	6 内装 改修 工事	25. 畳敷き	<p>[6. 12. 2] [表6. 12. 1]</p> <p>種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (D種の塗床: ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)</p> <p>下地の種類 ・ (表12.6.1) による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム) 衝撃緩和型塗 (塗表: ・C1 ・C2)</p> <p> MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※ [6. 13. 2 (2) (イ)] の(a)~(d)のいずれか 表面への化粧張り等の加工 ※図示による</p>																																																																																																																																								
		種類	施工箇所	工法	仕上げの種類																																																																																																																																																																																															
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ																																																																																																																																																																																																	
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防汚仕上げ																																																																																																																																																																																																	
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ																																																																																																																																																																																																	
種類	工法	樹種	厚さ、幅及び長さ																																																																																																																																																																																																	
・フローリングボード1等	・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.1) による																																																																																																																																																																																																	
	・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.3) による																																																																																																																																																																																																	
	・接着工法		※ (表19.5.5) による																																																																																																																																																																																																	
・フローリングブロック1等	・接着工法																																																																																																																																																																																																			
種類	工法	樹種	厚さ、幅及び長さ																																																																																																																																																																																																	
・複合フローリング (天然木化粧)	・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.2) による ・A種 ・B種 ・C種																																																																																																																																																																																																	
	・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.4) による ・A種 ・B種 ・C種																																																																																																																																																																																																	
	・接着工法		※ (表19.5.6) による ・A種 ・B種 ・C種																																																																																																																																																																																																	
6 内装 改修 工事	23. 合成樹脂塗床	<p>[6. 10. 2、3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床</td> <td></td> <td>・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法</td> <td>・平滑仕上げ ・防汚仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・薄膜型塗床材</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ</td> </tr> </tbody> </table> <p>塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p>	種類	施工箇所	工法	仕上げの種類	・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ	・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防汚仕上げ	・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ	6 内装 改修 工事	24. フローリング張り	<p>[6. 11. 2~6]</p> <p>フローリングは JAS 1073 による工場塗品とする。 フローリングのホルムアルデヒドの放散量等 ※ [6. 11. 2(2)] による</p> <p>びわこ材の適用 ・適用する ・適用しない</p> <p>単層フローリング [6. 11. 2~5]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ、幅及び長さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・フローリングボード1等</td> <td>・釘留め工法 (根太張り)</td> <td></td> <td>※ (表19.5.1) による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・釘留め工法 (根太張り)</td> <td></td> <td>※ (表19.5.3) による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・接着工法</td> <td></td> <td>※ (表19.5.5) による</td> </tr> <tr> <td>・フローリングブロック1等</td> <td>・接着工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>複合フローリング [6. 11. 2~5]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ、幅及び長さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・複合フローリング (天然木化粧)</td> <td>・釘留め工法 (根太張り)</td> <td></td> <td>※ (表19.5.2) による ・A種 ・B種 ・C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・釘留め工法 (根太張り)</td> <td></td> <td>※ (表19.5.4) による ・A種 ・B種 ・C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・接着工法</td> <td></td> <td>※ (表19.5.6) による ・A種 ・B種 ・C種</td> </tr> </tbody> </table> <p>接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート</p> <p>・現場塗装仕上げ ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り</p>	種類	工法	樹種	厚さ、幅及び長さ	・フローリングボード1等	・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.1) による		・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.3) による		・接着工法		※ (表19.5.5) による	・フローリングブロック1等	・接着工法			種類	工法	樹種	厚さ、幅及び長さ	・複合フローリング (天然木化粧)	・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.2) による ・A種 ・B種 ・C種		・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.4) による ・A種 ・B種 ・C種		・接着工法		※ (表19.5.6) による ・A種 ・B種 ・C種	6 内装 改修 工事	25. 畳敷き	<p>[6. 12. 2] [表6. 12. 1]</p> <p>種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (D種の塗床: ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)</p> <p>下地の種類 ・ (表12.6.1) による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム) 衝撃緩和型塗 (塗表: ・C1 ・C2)</p> <p> MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※ [6. 13. 2 (2) (イ)] の(a)~(d)のいずれか 表面への化粧張り等の加工 ※図示による</p>																																																																																																																																								
		種類	施工箇所	工法	仕上げの種類																																																																																																																																																																																															
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ																																																																																																																																																																																																	
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防汚仕上げ																																																																																																																																																																																																	
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ																																																																																																																																																																																																	
種類	工法	樹種	厚さ、幅及び長さ																																																																																																																																																																																																	
・フローリングボード1等	・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.1) による																																																																																																																																																																																																	
	・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.3) による																																																																																																																																																																																																	
	・接着工法		※ (表19.5.5) による																																																																																																																																																																																																	
・フローリングブロック1等	・接着工法																																																																																																																																																																																																			
種類	工法	樹種	厚さ、幅及び長さ																																																																																																																																																																																																	
・複合フローリング (天然木化粧)	・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.2) による ・A種 ・B種 ・C種																																																																																																																																																																																																	
	・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.4) による ・A種 ・B種 ・C種																																																																																																																																																																																																	
	・接着工法		※ (表19.5.6) による ・A種 ・B種 ・C種																																																																																																																																																																																																	
6 内装 改修 工事	23. 合成樹脂塗床	<p>[6. 10. 2、3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床</td> <td></td> <td>・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法</td> <td>・平滑仕上げ ・防汚仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・薄膜型塗床材</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ</td> </tr> </tbody> </table> <p>塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p>	種類	施工箇所	工法	仕上げの種類	・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ	・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防汚仕上げ	・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ	6 内装 改修 工事	24. フローリング張り	<p>[6. 11. 2~6]</p> <p>フローリングは JAS 1073 による工場塗品とする。 フローリングのホルムアルデヒドの放散量等 ※ [6. 11. 2(2)] による</p> <p>びわこ材の適用 ・適用する ・適用しない</p> <p>単層フローリング [6. 11. 2~5]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ、幅及び長さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・フローリングボード1等</td> <td>・釘留め工法 (根太張り)</td> <td></td> <td>※ (表19.5.1) による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・釘留め工法 (根太張り)</td> <td></td> <td>※ (表19.5.3) による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・接着工法</td> <td></td> <td>※ (表19.5.5) による</td> </tr> <tr> <td>・フローリングブロック1等</td> <td>・接着工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>複合フローリング [6. 11. 2~5]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ、幅及び長さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・複合フローリング (天然木化粧)</td> <td>・釘留め工法 (根太張り)</td> <td></td> <td>※ (表19.5.2) による ・A種 ・B種 ・C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・釘留め工法 (根太張り)</td> <td></td> <td>※ (表19.5.4) による ・A種 ・B種 ・C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・接着工法</td> <td></td> <td>※ (表19.5.6) による ・A種 ・B種 ・C種</td> </tr> </tbody> </table> <p>接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート</p> <p>・現場塗装仕上げ ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り</p>	種類	工法	樹種	厚さ、幅及び長さ	・フローリングボード1等	・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.1) による		・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.3) による		・接着工法		※ (表19.5.5) による	・フローリングブロック1等	・接着工法			種類	工法	樹種	厚さ、幅及び長さ	・複合フローリング (天然木化粧)	・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.2) による ・A種 ・B種 ・C種		・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.4) による ・A種 ・B種 ・C種		・接着工法		※ (表19.5.6) による ・A種 ・B種 ・C種	6 内装 改修 工事	25. 畳敷き	<p>[6. 12. 2] [表6. 12. 1]</p> <p>種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (D種の塗床: ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)</p> <p>下地の種類 ・ (表12.6.1) による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム) 衝撃緩和型塗 (塗表: ・C1 ・C2)</p> <p> MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 合板のホルムアルデヒド放散量 ※ [6. 13. 2 (2) (イ)] の(a)~(d)のいずれか 表面への化粧張り等の加工 ※図示による</p>																																																																																																																																								
		種類	施工箇所	工法	仕上げの種類																																																																																																																																																																																															
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ																																																																																																																																																																																																	
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防汚仕上げ																																																																																																																																																																																																	
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ																																																																																																																																																																																																	
種類	工法	樹種	厚さ、幅及び長さ																																																																																																																																																																																																	
・フローリングボード1等	・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.1) による																																																																																																																																																																																																	
	・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.3) による																																																																																																																																																																																																	
	・接着工法		※ (表19.5.5) による																																																																																																																																																																																																	
・フローリングブロック1等	・接着工法																																																																																																																																																																																																			
種類	工法	樹種	厚さ、幅及び長さ																																																																																																																																																																																																	
・複合フローリング (天然木化粧)	・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.2) による ・A種 ・B種 ・C種																																																																																																																																																																																																	
	・釘留め工法 (根太張り)		※ (表19.5.4) による ・A種 ・B種 ・C種																																																																																																																																																																																																	
	・接着工法		※ (表19.5.6) による ・A種 ・B種 ・C種																																																																																																																																																																																																	

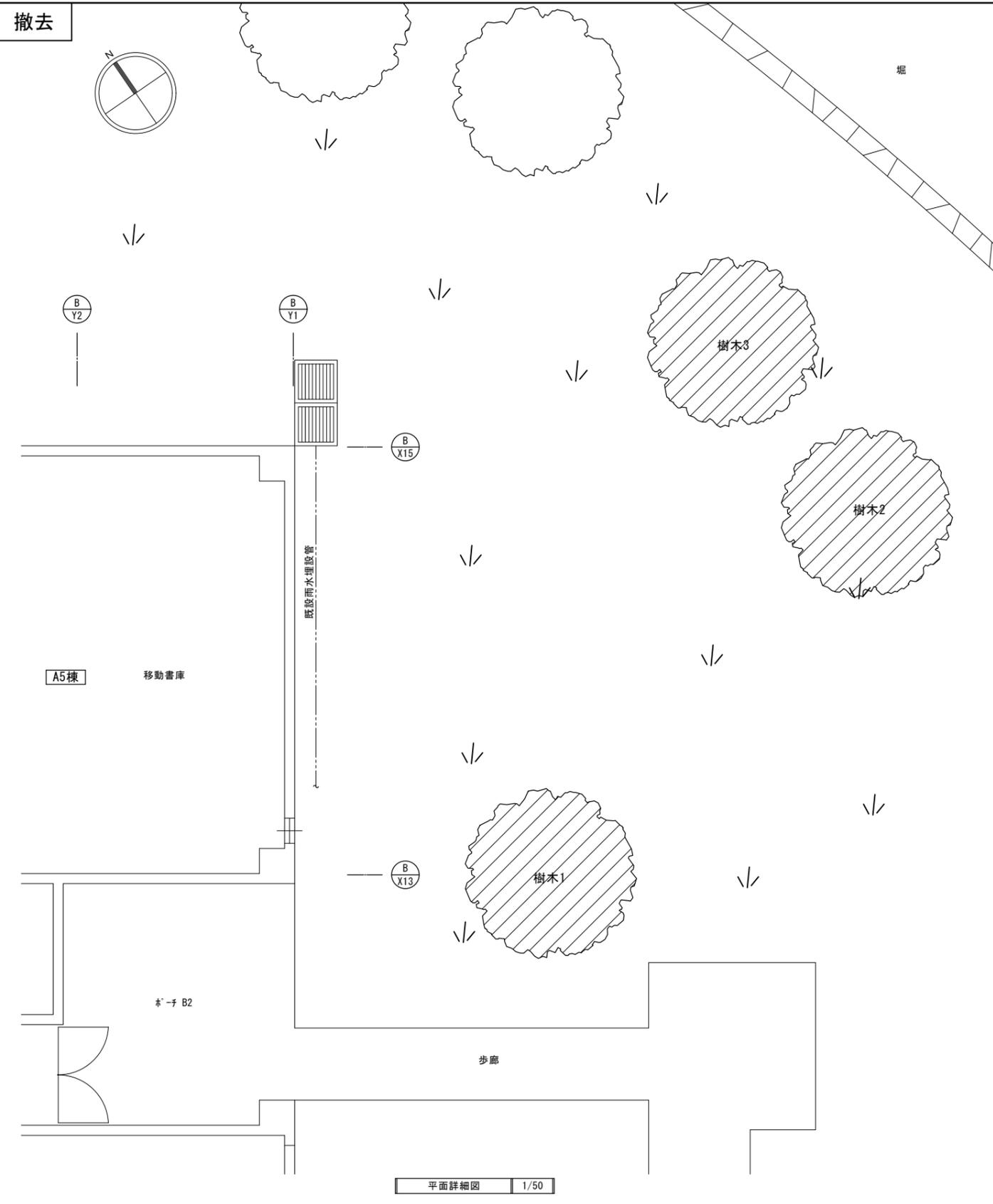


天井改修範囲 (軽鉄骨天井下地は既設のまま。改修範囲内の既設天井点検口は既設のまま)			
記号	仕上(撤去→新設)	廻縁	備考
c1	GB-R9 + cDR12 → GB-NC9.5 + cDR12	塩ビ 撤去新設	
c2	GB-R12 + cDR12 → GB-R12.5 + cDR12	塩ビ 撤去新設	
c3	GB-R9 + DR12 → GB-NC9.5 + DR12	塩ビ 撤去新設	



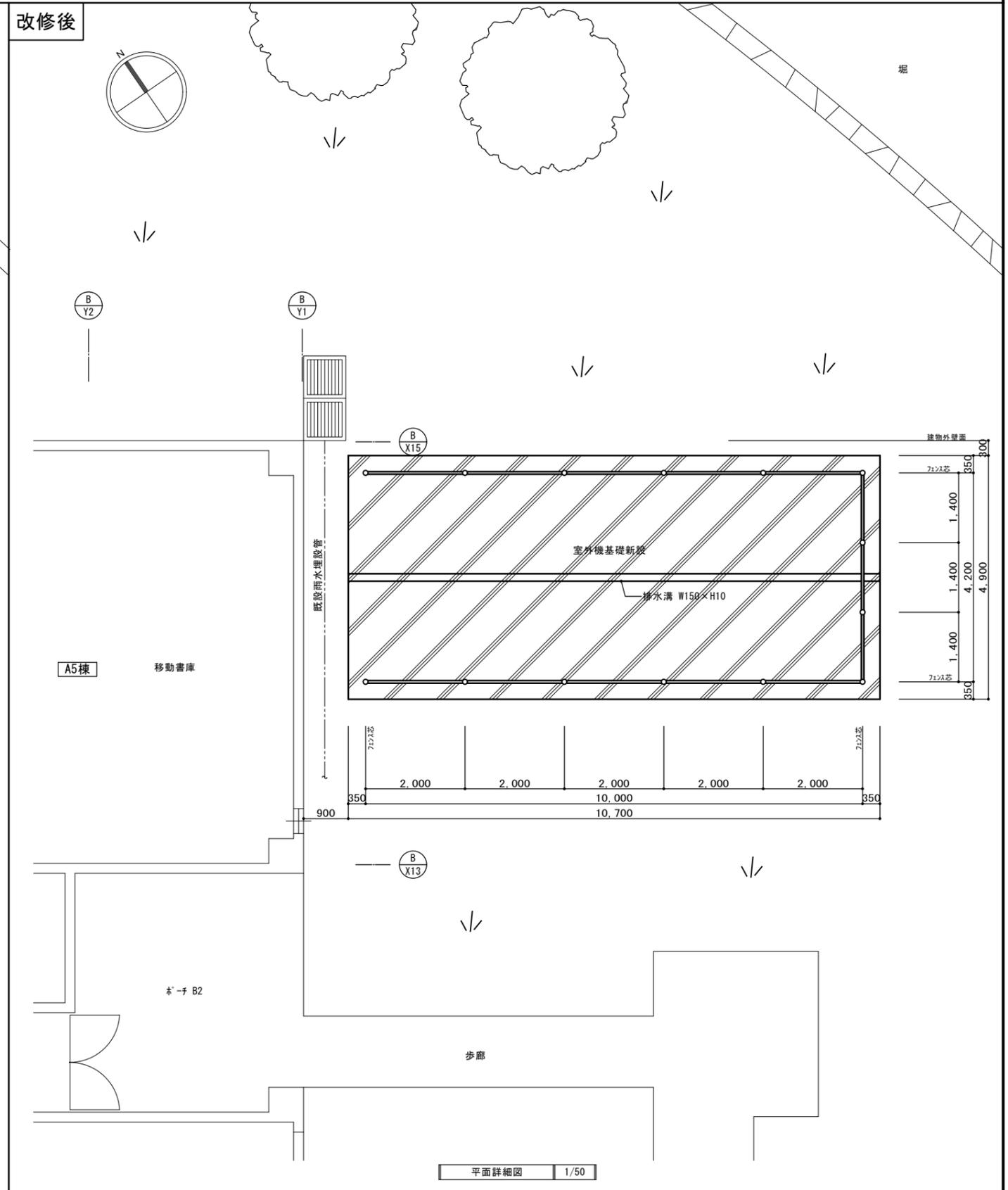
天井伏図 1/200

撤去



平面詳細図 1/50

改修後



平面詳細図 1/50

キープラン



記号凡例	撤去			改修後		
	↓ ↓	土		↓ ↓	土	
	樹木 既設のまま				既設樹木	
	樹木撤去(伐採伐根)				新設コンクリート基礎	
					新設目隠しフェンス H2000	
				※樹木伐根跡は整地		
				樹木1	樹木2	樹木3
	樹高	3500	2000	6000		
	枝張	3000	2000	5000		
	幹径	Φ200	Φ150	Φ400		

令和6年3月 日

滋賀県立大学財務課

TORI 株式会社 TORI設備計画
〒542-0081 大阪市中央区南船場2の7の14 (大阪写真会館)

工事名称 滋賀県立大学 A5棟空調設備改修工事
図面名称 部分詳細図 1

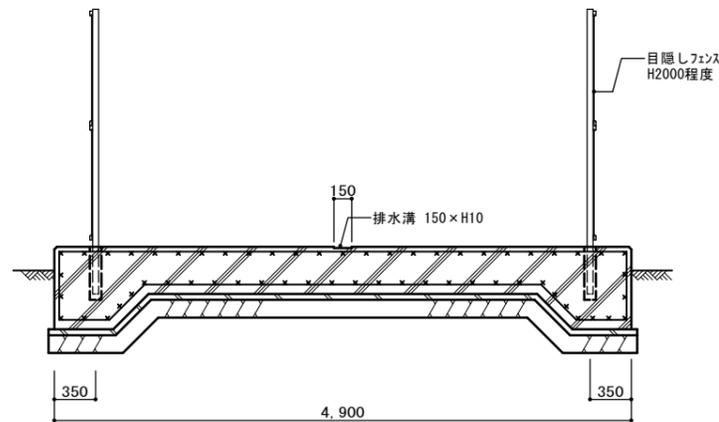
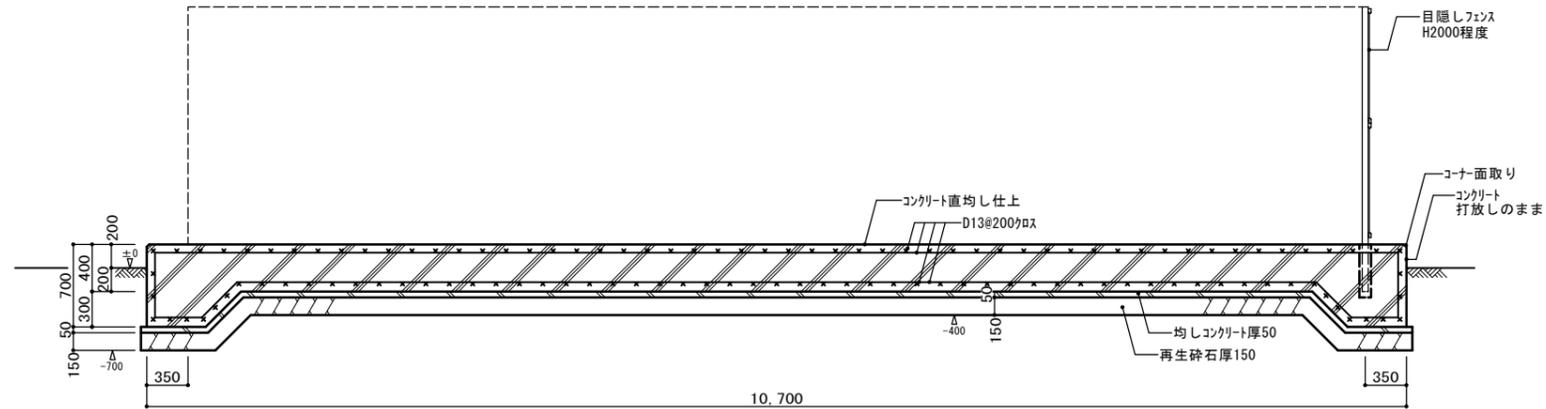
図面No. A08
設計日 2024年3月

S=1/50

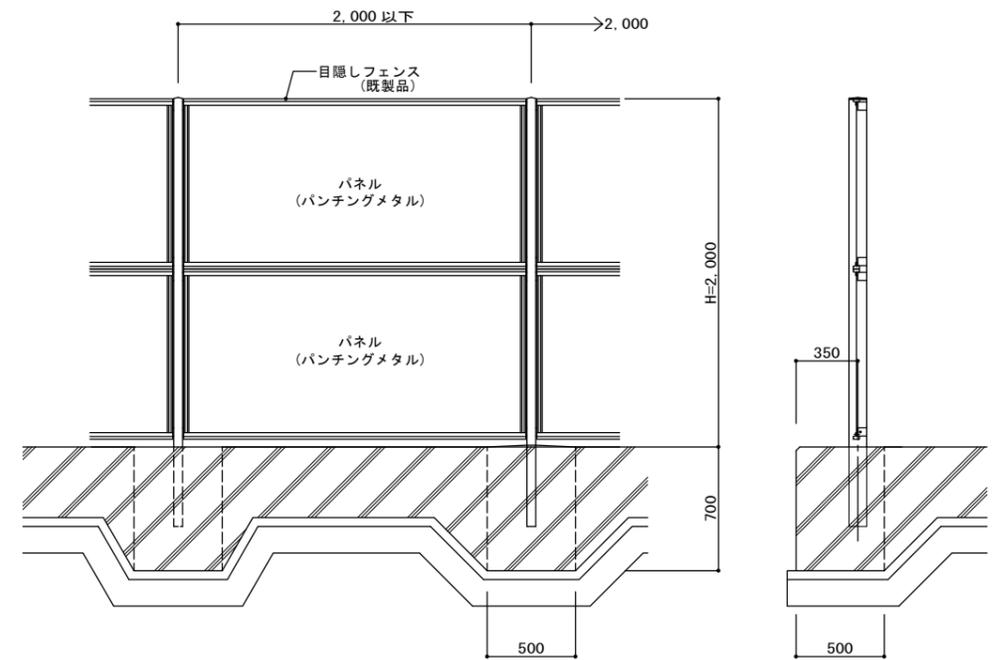
室外機基礎詳細図2

縮尺：図示

基礎コンクリート:Fc18N/mm² S=15cm
 均しコンクリート:呼び強度18N/mm² S=15cm
 鉄筋:SD295A



断面詳細図 1/30



姿図

断面図

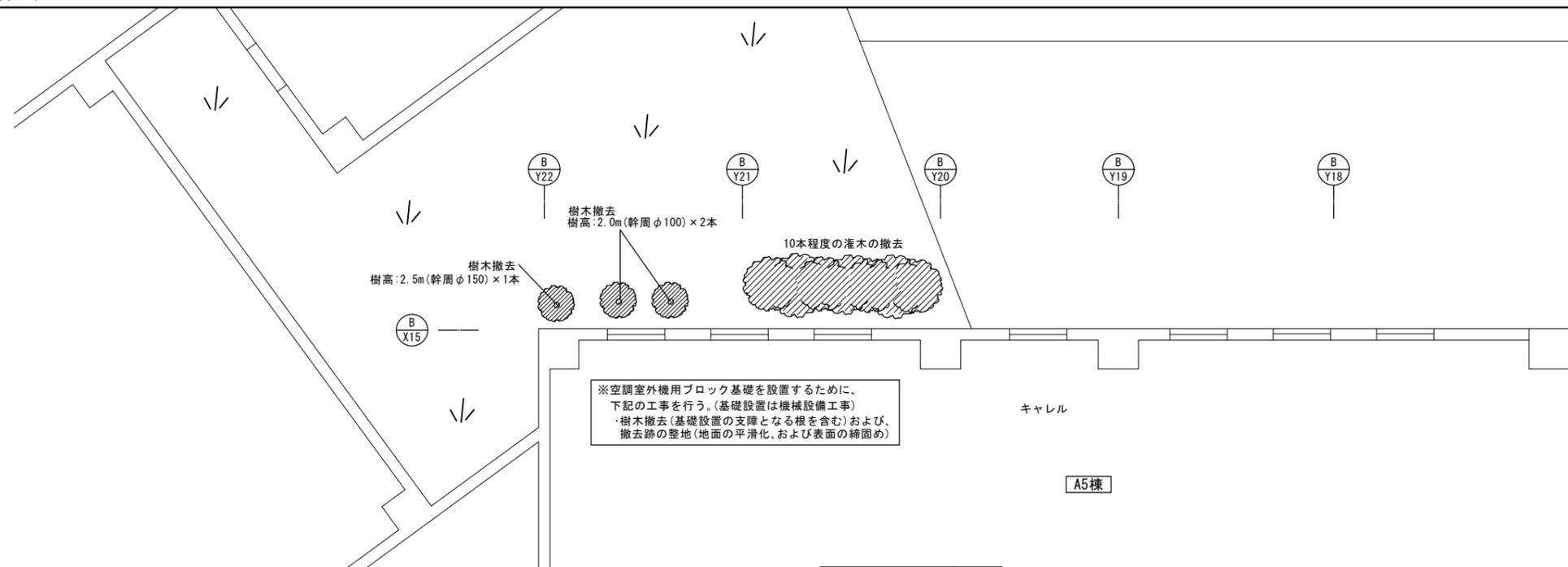
※支柱:鋼製φ50×50×3.2 亜鉛メッキ+静電粉体塗装
 ※パネル:アルミ・樹脂積層複合板 パンチングパネル
 ※めかくし塀P型パンチングメタルタイプ(積水樹脂)同等品以上

目隠しフェンス詳細図 1/20

屋外整地詳細図

縮尺：1/50

キープラン



平面詳細図 1/50

令和6年3月 日

滋賀県立大学財務課

TORI 株式会社 TORI設備計画

〒542-0081 大阪市中央区南船場2の7の14 (大阪写真会館)

工事名称 滋賀県立大学 A5棟空調設備改修工事

図面名称 部分詳細図2

S=1/50 1/30 1/20

図面No. A09

設計日 2024年3月